個 別 施 設 計 画 （ 個 票 ）

番　号	1	策定年月	令和３年３月	最終更新	令和３年３月
施設名	中央家畜保健衛生所			財産区分	行政財産
所在地	滝沢市砂込389番５号			敷地面積	6,427.25 ㎡

都市計画区域	都市計画区域外	防火地域	指定なし	用途地域	指定なし

設置目的 業務概要等	家畜の防疫対策、生産性向上対策を推進するほか、動物用医薬品、飼料の適正使用等について監視・指導することで、畜産経営の安定と発展並びに消費者への安全・安心な畜産物の安定供給に寄与することを目的として設置。

１　施設内建物の概要

番号：名称		1：庁舎・事務所		2：作業室・解剖棟		3：車庫	
構　造		鉄筋コンクリート　造		鉄筋コンクリート　造		鉄骨　造	
階　数		地上　2　階　地下　－　階		地上　1　階　地下　－　階		地上　1　階　地下　－　階	
竣工年		西暦　2002　年　3　月		西暦　2002　年　3　月		西暦　2002　年　3　月	
建築：延床		1,146.23 ㎡	2,223.92 ㎡	157.03 ㎡	130.00 ㎡	224.00 ㎡	240.00 ㎡
主な設備		受変電設備（屋外形：ｷｭｰﾋﾞｸﾙ式） 電灯設備 自動火災報知設備 非常警報設備 構内交換設備 弱電設備（拡声、ﾃﾚﾋﾞ共同受信） 冷暖房設備（中央式冷暖房） 熱源設備（油吸収冷温水器、冷却塔（開放式）） 空調機器（ﾌｧﾝｺｲﾙﾕﾆｯﾄ） 自動制御設備（中央式監視制御） 給水設備（加圧送水方式） 排水設備（浄化槽） 給湯設備（中央式：真空式温水発生器） ｶﾞｽ設備（液化石油ｶﾞｽ） 消火設備（屋内消火器）		受変電設備（屋外形：ｷｭｰﾋﾞｸﾙ式） 電灯設備 自動火災報知設備 非常警報設備 構内交換設備 冷暖房設備（中央式冷暖房） 熱源設備（油吸収冷温水器、冷却塔（開放式）） 空調機器（ﾌｧﾝｺｲﾙﾕﾆｯﾄ） 自動制御設備（中央式監視制御） 給水設備（加圧送水方式） 排水設備（浄化槽） 給湯設備（中央式：真空式温水発生器） ｶﾞｽ設備（液化石油ｶﾞｽ） 消火設備（屋内消火器）		電灯設備	
主な用途		事務室		解剖室		車庫	
老朽化の状況	劣化度調査	舗装路面ひび割れ		焼却炉点検口蓋ﾈｼﾞ劣化		屋根、壁等の劣化	
	定期点検	水抜き管ﾊﾞﾙﾌﾞ破損、電気設備部品更新必要他		指摘なし		屋根、壁等の修繕必要	
	修繕工事	舗装整備、空調機		外壁、空調設備、焼却炉		－	
	特記						
優先度	建物性能	高		高		高	
	劣化：年数	高：Ａ異常無	高	高：Ａ異常無	高	高：Ａ異常無	高
	利用度	高		高		高	
	１次評価	維持管理		維持管理		維持管理	
	重要性	90：設置義務あり		90：設置義務あり		90：代替施設なし	
	見通し	△15：多目的利用の可能性なし		△15：多目的利用の可能性なし		△15：多目的利用の可能性なし	
	２次評価	Ⅰ（60点以上）		Ⅰ（60点以上）		Ⅰ（60点以上）	
総合判定		維持管理	優先度３	維持管理	優先度３	維持管理	優先度３
	評価結果	計画的な維持管理により、施設機能を維持。		計画的な維持管理により、施設機能を維持。		計画的な維持管理により、施設機能を維持。	

２　対応方針

(1)　**基本的な方針**

家畜保健衛生所法に基づく施設であり、適切な維持管理により施設機能を維持していく。

(2)　**社会経済情勢等の変化への対応**

家畜保健衛生所法に基づく施設であり、家畜防疫上の問題への対応や国の方針に即した機能維持を目的とした管理を行う。

(3)　**公共施設の有効活用**

有効活用について検討していない。
また、法令に基づく施設であることから、他用途・多目的の利用には適さない。

３　長寿命化等対策の内容と実施時期

(1)　長寿命化等対策の方向性

庁舎の新設後15年以上が経過しており、施設等の経年劣化による破損、脱落がみられる他、各設備も部品等の更新時期を経過し、年々、修繕、交換等が増加している状況である。今後とも定期点検や日常点検等により施設の劣化状況の把握に努め、計画的な維持管理により、コスト縮減・財政負担の平準化を図りながら長寿命化を図る。

(2)　対策の内容

区　分	令和２年度 (2020年度)	令和３年度 (2021年度)	令和４年度 (2022年度)	令和５年度 (2023年度)	令和６年度 (2024年度)
1:庁舎・事務所	維持管理（劣化状況の把握）→				
2:作業室・解剖棟	維持管理（劣化状況の把握）→				
3:車庫	維持管理（劣化状況の把握）→				

４　概算額

９百万円

【概算費用内訳(令和２年度（2020年度）～令和６年度（2024年度））】

	概算額	内　訳
R2	3,146千円	その他維持補修
R3	1,271千円	その他維持補修
R4	1,271千円	その他維持補修
R5	1,271千円	その他維持補修
R6	1,271千円	その他維持補修

※　試算の一例であること。

個　別　施　設　計　画　（個　票）

番　号	2	策定年月	令和３年３月	最終更新	令和３年３月
施設名	旧盛岡家畜保健衛生所			財産区分	行政財産
所在地	滝沢市砂込389番７号			敷地面積	11,668.53　㎡

都市計画区域	都市計画区域外	防火地域	指定なし	用途地域	指定なし

設置目的業務概要等	県央地域を管轄として、家畜の病気（主に伝染病）未然防止、生産性の向上を目的に設置。 2002年３月に中央家畜保健衛生所が完成後、現在は、一般社団法人岩手県畜産協会及び盛岡畜産農業協同組合に使用許可し、県の業務である人工授精用精液の配布に関する事務及び牛乳検査業務を行っている。

１　施設内建物の概要

番号：名称		1：庁舎・事務所		2：飼料分析室	
構造		鉄筋コンクリート　造		鉄筋コンクリート　造	
階数		地上　2　階　地下　－　階		地上　1　階　地下　－　階	
竣工年		西暦　1972　年　3　月		西暦　1985　年　3　月	
建築：延床		499.14　㎡	926.65　㎡	200.40　㎡	200.40　㎡
主な設備		受変電設備(屋外形：ｷｭｰﾋﾞｸﾙ式) 電灯設備 構内交換設備 冷暖房設備(FFｽﾄｰﾌﾞ・ｴｱｺﾝ等) 給水設備(加圧送水方式) 排水設備(浄化槽) 給湯設備(局所式:ｶﾞｽ湯沸器) ｶﾞｽ設備(液化石油ｶﾞｽ) 消火設備(消火器)		電灯設備 冷暖房設備(FFｽﾄｰﾌﾞ、ｴｱｺﾝ等) 熱源設備(その他) 給水設備(加圧送水方式) 排水設備(浄化槽) 給湯設備(局所式:ｶﾞｽ湯沸器) ｶﾞｽ設備(液化石油ｶﾞｽ)	
主な用途		事務室		事務室、倉庫	
老朽化の状況	劣化度調査	建物破損・浸水、照明点灯不良、受水槽破損他		外壁一部破損、玄関ﾛﾀｲﾙ割れ、照明不具合他	
	定期点検	受水槽破損		指摘なし	
	修繕工事	舗装、変圧器、高圧気中開閉器、網戸、外灯、玄関ﾎﾟｰﾁ照明		－	
	特記				
優先度	建物性能	高一		高	
	劣化：年数	高：Ａ異常無	中	高：Ａ異常無	高
	利用度	高		高	
	１次評価	維持管理		維持管理	
	重要性	75：代替施設なし		65：代替施設なし	
	見通し	△15：公民連携等の可能性あり		△15：公民連携等の可能性あり	
	２次評価	Ⅰ(60点以上)		Ⅱ(60～50点)	
総合判定		維持管理	優先度３	維持管理	優先度４
	評価結果	使用許可を行っている建物であり、許可先と協議のうえ必要な維持管理を行う。		使用許可を行っている建物であり、許可先と協議のうえ必要な維持管理を行う。	

２　対応方針

(1)　**基本的な方針**

（一社）岩手県畜産協会が岩手県（畜産研究所）の業務の一部を実施するため、県が同協会に使用許可している建物であり、業務の状況を踏まえた維持管理を行う。

(2)　**社会経済情勢等の変化への対応**

岩手県（畜産研究所）の業務の一部（家畜の人工授精用精液の配布に関する事務及び牛乳検査業務）を担わせており、業務の状況を踏まえ、機能維持を目的とした管理を行う。

(3)　**公共施設の有効活用**

（一社）岩手県畜産協会及び盛岡畜産農業協同組合に使用許可を行っている。
「県未利用資産等活用・処分方針」に基づく売却、貸付その他の有効活用について検討していく。

３　長寿命化等対策の内容と実施時期

(1)　長寿命化等対策の方向性

庁舎は建築から40年以上経過し劣化が著しいが、使用許可している物件であるため、許可先との協議を踏まえながら、必要な維持管理を行う。

(2)　対策の内容

区　分	令和２年度 (2020年度)	令和３年度 (2021年度)	令和４年度 (2022年度)	令和５年度 (2023年度)	令和６年度 (2024年度)
1:庁舎・事務所	維持管理（劣化状況の把握）→				
2:飼料分析室	維持管理（劣化状況の把握）→				

４　概算額

11百万円

【概算費用内訳（令和２年度（2020年度）～令和６年度（2024年度））】

	概算額	内　訳
R2	8,286千円	その他維持補修
R3	552千円	その他維持補修
R4	552千円	その他維持補修
R5	552千円	その他維持補修
R6	552千円	その他維持補修

※　試算の一例であること。

個 別 施 設 計 画 （ 個 票 ）

番 号	3	策定年月	令和３年３月	最終更新	令和３年３月
施設名	県南家畜保健衛生所			財産区分	行政財産
所在地	奥州市水沢佐倉河字東舘41番１			敷地面積	5,725.79 ㎡

都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	指定なし	用途地域	指定なし

設置目的 業務概要 等	家畜の伝染性疾病の発生予防やまん延防止に取り組むとともに、飼養者が行う家畜の生産性向上による収益性の確保と安全な畜産物の生産に向けた取組みを支援し、安定した畜産経営の展開と畜産物の供給に寄与することを目的に設置。 保冷保管庫は、岩手県南へい獣処理協議会（構成員：県、市町村及び農業協同組合）で運営する組織で管理している。

１ 施設内建物の概要

番号：名称		1：庁舎・事務所		2：車庫棟		3：保冷保管庫	
構造		鉄筋コンクリート 造		鉄骨 造		鉄骨 造	
階数		地上 2 階 地下 － 階		地上 1 階 地下 － 階		地上 1 階 地下 － 階	
竣工年		西暦 2000 年 3 月		西暦 2001 年 3 月		西暦 2017 年 3 月	
建築：延床		836.63 ㎡	1,361.50 ㎡	262.50 ㎡	262.50 ㎡	197.36 ㎡	197.36 ㎡
主な設備		受変電設備(屋外形:ｷｭｰﾋﾞｸﾙ式) 電灯設備 自動火災報知設備、非常警報設備 構内交換設備 冷暖房設備(中央式冷暖房) 熱源設備(冷却塔(密閉式)) 空調機器(ﾌｧﾝｺｲﾙﾕﾆｯﾄ) 自動制御設備(個別制御) 給水設備(加圧送水方式) 排水設備(浄化槽) 給湯設備(中央式:真空式温水発生器) ｶﾞｽ設備(液化石油ｶﾞｽ) 消火設備(粉末消火)		受変電設備(屋外形:ｷｭｰﾋﾞｸﾙ式) 電灯設備 消火設備(粉末消火)		受変電設備(屋外形:ｷｭｰﾋﾞｸﾙ式) 電灯設備 自動火災報知設備 非常警報設備 弱電設備(ﾃﾚﾋﾞ共同受信) 冷蔵ﾕﾆｯﾄｸｰﾗｰ 脱臭装置 給水設備(水道直結方式) 排水設備(浄化槽) 給湯設備(中央式:ｶﾞｽ湯沸器) ｶﾞｽ設備(液化石油ｶﾞｽ)	
主な用途		事務室		車庫		BSE検査施設 地域保管施設 事務室 荷捌室	
老朽化の状況	劣化度調査	計画的な補修が必要(屋根、床等)		目立った劣化は見られない		目立った劣化は見られない	
	定期点検	指摘なし		外壁ｼｰﾘﾝｸﾞ材割れ		指摘なし	
	修繕工事	し尿浄化槽、動物用焼却炉、家畜解剖実験処理槽、冷温水発生機他		―		―	
	特記	―		―			
優先度	建物性能	高		高		高	
	劣化：年数	高：Ａ異常無	高	高：Ａ異常無	高	高：Ａ異常無	高
	利用度	高		高		高	
	１次評価	維持管理		維持管理		維持管理	
	重要性	85：設置義務あり		85：代替施設なし		85：代替施設なし	
	見通し	△15：多目的利用の可能性なし		△15：多目的利用の可能性なし		△15：多目的利用の可能性なし	
	２次評価	Ⅰ(60点以上)		Ⅰ(60点以上)		Ⅰ(60点以上)	
総合判定		維持管理	優先度３	維持管理	優先度３	維持管理	優先度３
	評価結果	計画的な維持管理により、施設機能を維持。		計画的な維持管理により、施設機能を維持。		計画的な維持管理により、施設機能を維持。	

２　対応方針

(1)　基本的な方針

家畜保健衛生所法に基づく施設であり、適切な維持管理により施設機能を維持していく。

(2)　社会経済情勢等の変化への対応

家畜保健衛生所法に基づく施設であり、家畜防疫上の問題への対応や国の方針に即した機能維持を目的とした管理を行う。

(3)　公共施設の有効活用

有効活用について検討していない。
また、法令に基づく施設であることから、他用途・多目的の利用には適さない。

３　長寿命化等対策の内容と実施時期

(1)　長寿命化等対策の方向性

現時点において大きな故障等は見られないが、築20年が経過していることから、定期点検や日常点検等により施設の劣化状況の把握に努め、計画的な維持管理により、コスト縮減・財政負担の平準化を図りながら長寿命化を図る。

(2)　対策の内容

区　分	令和２年度(2020年度)	令和３年度(2021年度)	令和４年度(2022年度)	令和５年度(2023年度)	令和６年度(2024年度)
1:庁舎・事務所	維持管理（劣化状況の把握）				
2:車庫	維持管理（劣化状況の把握）				
3:保冷保管庫	維持管理（劣化状況の把握）				

４　概算額

５百万円

【概算費用内訳(令和２年度（2020年度）～令和６年度（2024年度））】

	概算額	内　訳
R2	1,289千円	その他維持補修
R3	892千円	その他維持補修
R4	892千円	その他維持補修
R5	892千円	その他維持補修
R6	892千円	その他維持補修

※　試算の一例であること。

個別施設計画（個票）

番号	4	策定年月	令和３年３月	最終更新	令和３年３月
施設名	県北家畜保健衛生所			財産区分	行政財産
所在地	軽米町大字山内23地割９番１			敷地面積	6,411.96 ㎡

都市計画区域	都市計画区域外	防火地域	指定なし	用途地域	指定なし

設置目的業務概要等	県北地域の畜産経営体が安全で高品質な畜産物の生産により安定した経営が展開できるよう、最新の家畜衛生の知識と専門技術を駆使し、家畜の伝染性疾病予防と生産性向上対策を支援する。

1　施設内建物の概要

番号：名称		1：庁舎		2：死体保冷保管施設	
構造		鉄筋コンクリート　造		鉄筋コンクリート　造	
階数		地上　2　階　地下　－　階		地上　1　階　地下　－　階	
竣工年		西暦　2003　年　3　月		西暦　2003　年　12　月	
建築：延床		432.33 ㎡	779.50 ㎡	173.30 ㎡	173.30 ㎡
主な設備		受変電設備（屋外形） 電灯設備 自動火災報知設備、非常警報設備 構内交換設備 弱電設備（ﾃﾚﾋﾞ共同受信） 冷暖房設備（中央式冷暖房・ｴｱｺﾝ等） 熱源設備（直吸収冷温水機、冷却塔（開放式）） 空調機器（ﾕﾆｯﾄ形） 自動制御設備（中央式監視制御） 給水設備（水道直結方式） 排水設備（公共下水道、浄化槽） 給湯設備（中央式・局所式：真空式温水発生器・ｶﾞｽ湯沸器） 消火設備（粉末消火）		受変電設備（ｷｭｰﾋﾞｸﾙ式） 電灯設備 非常警報設備 冷暖房設備（ｴｱｺﾝ等） 空調機器（ﾕﾆｯﾄ形） 自動制御設備（個別制御） 給水設備（高置水槽方式） 排水設備（浄化槽） 給湯設備（局所式：ｶﾞｽ湯沸器） 消火設備（粉末消火）	
主な用途		事務室		保冷保管庫	
老朽化の状況	劣化度調査	玄関ﾀｲﾙ破損、浄化制御棟劣化、ｱｽﾌｧﾙﾄ窪み・ひび割れ		敷地ｱｽﾌｧﾙﾄ窪み・ひび割れ、外部階段変形	
	定期点検	冷暖房操作盤（経年劣化）		高圧気中開閉器交換、ｷｭｰﾋﾞｸﾙ補修	
	修繕工事	冷温水器		ﾕﾆｯﾄｸｰﾗｰ、高架軌条ﾚｰﾙ、ｼｬｯｸﾙﾄﾛﾘｰ、ﾓｰﾄﾙﾌﾞﾛｯｸ	
	特記				
優先度	建物性能	高		高	
	劣化：年数	高：Ａ異常無	高	高：Ａ異常無	高
	利用度	高		高	
	１次評価	維持管理		維持管理	
	重要性	75：設置義務あり		75：設置義務あり	
	見通し	△15：多目的利用の可能性なし		△10：多目的利用の可能性なし	
	２次評価	Ⅰ（60点以上）		Ⅰ（60点以上）	
総合判定		維持管理	優先度３	維持管理	優先度３
	方針	計画的な維持管理により、施設機能を維持。		計画的な維持管理により、施設機能を維持。	

２　対応方針

(1)　**基本的な方針**

家畜保健衛生所法に基づき設置され、海外悪性伝染病などの早期診断や確実な緊急防疫対応に中枢的役割を果たすための必要不可欠な施設であることから、適切な維持管理による施設機能の維持を図っていく。

(2)　**社会経済情勢等の変化への対応**

畜産業は地域の重要な産業でありグローバル化に伴う国内外の家畜伝染性疾病の侵入防止、国際競争力を高めるための生産性向上、消費者への安全な畜産物の提供等の取組が今後も重要となる。

(3)　**公共施設の有効活用**

病原体を扱う施設であり、その拡散を防ぐため、一般市民の他用途・多目的使用は今後も制限する。

３　長寿命化等対策の内容と実施時期

(1)　長寿命化等対策の方向性

現時点において大きな故障等は見られないが、築15年以上が経過していることから、定期点検や日常点検等により施設の劣化状況の把握に努め、計画的な維持管理により、コスト縮減・財政負担の平準化を図りながら長寿命化を図る。

(2)　対策の内容

区　分	令和２年度(2020年度)	令和３年度(2021年度)	令和４年度(2022年度)	令和５年度(2023年度)	令和６年度(2024年度)
1:庁舎	維持管理（劣化状況の把握）				
2:死体保冷保管施設	維持管理（劣化状況の把握）				

４　概算額

４百万円

【概算費用内訳(令和２年度（2020年度）～令和６年度（2024年度））】

	概算額	内　訳
R2	1,465千円	その他維持補修
R3	467千円	その他維持補修
R4	467千円	その他維持補修
R5	467千円	その他維持補修
R6	467千円	その他維持補修

※　試算の一例であること。

個 別 施 設 計 画 （ 個 票 ）

番 号	5	策定年月	令和３年３月	最終更新	令和３年３月
施設名	生物工学研究所			財産区分	行政財産
所在地	北上市成田22地割174番地４			敷地面積	4,810.64 ㎡
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	指定なし	用途地域	指定なし
設置目的 業務概要等	岩手県設置の専門試験研究機関のバイオテクノロジー応用研究を支援促進するため、農林水産業・食品工業等に共通するバイオテクノロジー基礎的研究を行う。（研究の実施は公益財団法人岩手生物工学研究センター）				

1　施設内建物の概要

番号：名称	1：本館・動力棟	2：ガラス温室	3：ガラス温室(非閉鎖系2・閉鎖系6)
構造	鉄筋コンクリート　造	鉄骨　造	鉄骨　造
階数	地上 2 階 地下 － 階	地上 1 階 地下 － 階	地上 1 階 地下 － 階
竣工年	西暦 1992 年 12 月	西暦 1992 年 12 月	西暦 1992 年 12 月
建築：延床	1,938.75 ㎡ ／ 3,347.38 ㎡	106.65 ㎡ ／ 106.65 ㎡	240.00 ㎡ ／ 240.00 ㎡
主な設備	受変電設備(屋内形:ｷｭｰﾋﾞｸﾙ式) 発電設備(ﾃﾞｨｰｾﾞﾙ)、電灯設備 自動火災報知設備、非常警報設備 構内交換設備 弱電設備(電気時計、拡声、ﾃﾚﾋﾞ共同受信) ｴﾚﾍﾞｰﾀｰ設備(乗用EV) 冷暖房設備(中央式冷暖房・ｴｱｺﾝ等) 熱源設備(直吸収冷温水機、ﾁﾘﾝｸﾞﾕﾆｯﾄ、冷却塔(開放式)) 空調機器(ﾕﾆｯﾄ形、ﾊﾟｯｹｰｼﾞ形、ﾌｧﾝｺｲﾙﾕﾆｯﾄ) 自動制御設備(中央式監視制御) 給水設備(加圧送水方式) 排水設備(浄化槽) 給湯設備(中央・局所式:真空式温水発生器・ｶﾞｽ湯沸器) ｶﾞｽ設備(液化石油ｶﾞｽ) 消火設備(粉末消火)	電灯設備 冷暖房設備(FFｽﾄｰﾌﾞ、ｴｱｺﾝ等) 空調機器(ﾕﾆｯﾄ形) 自動制御設備(個別制御) 給水設備 排水設備(浄化槽) 消火設備(粉末消火)	受変電設備(ｷｭｰﾋﾞｸﾙ式) 電灯設備 冷暖房設備(温水方式・ｴｱｺﾝ等) 熱源設備(小型貫流ﾎﾞｲﾗｰ) 自動制御設備(個別制御) 給水設備(加圧送水方式) 排水設備(浄化槽) 給湯設備(局所式:無圧式温水発生器、ｶﾞｽ湯沸器) ｶﾞｽ設備(液化石油ｶﾞｽ) 消火設備(粉末消火)
主な用途	事務室 研究室	温室	温室
老朽化の状況：劣化度調査	結露によるシミ、給水管破損 研究員室窓ｺｰｷﾝｸﾞ劣化 玄関自動ﾄﾞｱ駆動部品劣化	目立った劣化は見られない	屋根劣化、ﾎﾞｲﾗｰ着火不良 ﾎﾞｲﾗｰﾀﾝｸ水漏れ
老朽化の状況：定期点検	空調・電気設備・自家発電装置更新推奨、防火ﾄﾞｱ不動作　他	指摘なし	ﾎﾞｲﾗｰﾀﾝｸ水漏れ
老朽化の状況：修繕工事	空調設備、非常用発電装置、給水ﾎﾟﾝﾌﾟ、高圧ｹｰﾌﾞﾙ等	ｶﾞﾗｽ	ｶﾞﾗｽ
老朽化の状況：特記			
優先度：建物性能	高	高	高
優先度：劣化：年数	高：Ａ異常無 ／ 高	高：Ａ異常無 ／ 高	高：Ａ異常無 ／ 高
優先度：利用度	高	高	高
優先度：１次評価	維持管理	維持管理	維持管理
優先度：重要性	80：代替施設なし	80：代替施設なし	80：代替施設なし
優先度：見通し	△15：多目的利用の可能性なし	△15：多目的利用の可能性なし	△15：多目的利用の可能性なし
優先度：２次評価	Ⅰ(60点以上)	Ⅰ(60点以上)	Ⅰ(60点以上)
総合判定	修繕・改修 ／ 優先度３	維持管理 ／ 優先度３	維持管理 ／ 優先度３
評価結果	計画的な大規模修繕等より、施設機能を維持。	計画的な維持管理により、施設機能を維持。	計画的な維持管理により、施設機能を維持。

個別施設計画（個票）

番号	5	策定年月	令和３年３月	最終更新	令和３年３月
施設名	生物工学研究所			財産区分	行政財産

１　施設内建物の概要(続き)

		4: 実験棟		5: ガラス温室(非閉鎖系4)	
番号：名称		4: 実験棟		5: ガラス温室(非閉鎖系4)	
構造		鉄筋コンクリート　造		鉄骨　造	
階数		地上　1　階 地下　－　階		地上　1　階 地下　－　階	
竣工年		西暦　1996　年　3　月		西暦　1996　年　3　月	
建築：延床		479.25　㎡	479.25　㎡	240.00　㎡	240.00　㎡
主な設備		電灯設備 自動火災報知設備、非常警報設備 冷暖房設備(中央式冷暖房・ｴｱｺﾝ等) 熱源設備(真空式温水発生機、ﾁﾘﾝｸﾞﾕﾆｯﾄ、冷却塔(開放式)) 空調機器(ﾕﾆｯﾄ形、ﾊﾟｯｹｰｼﾞ形) 自動制御設備(個別制御) 給水設備(加圧送水方式) 排水設備(浄化槽) 給湯設備(局所式:ｶﾞｽ湯沸器) ｶﾞｽ設備(液化石油ｶﾞｽ) 消火設備(粉末消火)		電灯設備 冷暖房設備(温水方式・ｴｱｺﾝ等) 熱源設備(小型貫流ﾎﾞｲﾗｰ) 自動制御設備(個別制御) 給水設備(加圧送水方式) 排水設備(浄化槽) 給湯設備(局所式:ｶﾞｽ湯沸器) ｶﾞｽ設備(液化石油ｶﾞｽ) 消火設備(粉末消火)	
主な用途		実験室		温室	
老朽化の状況	劣化度調査	外装剥離、地下ｵｲﾙﾀﾝｸ計量器故障		目立った劣化は見られない	
	定期点検	空調・温室設備部品交換		指摘なし	
	修繕工事	―		ｶﾞﾗｽ屋根	
	特記				
優先度	建物性能	高		高	
	劣化：年数	高：Ａ異常無	高	高：Ａ異常無	高
	利用度	高		高	
	１次評価	維持管理		維持管理	
	重要性	80: 代替施設なし		80: 代替施設なし	
	見通し	△15: 多目的利用の可能性なし		△15: 多目的利用の可能性なし	
	２次評価	Ⅰ(60点以上)		Ⅰ(60点以上)	
総合判定		維持管理	優先度３	維持管理	優先度３
	評価結果	計画的な維持管理により、施設機能を維持。		計画的な維持管理により、施設機能を維持。	

２　対応方針

(1)　基本的な方針

計画的に更新整備することにより、施設全体としての長寿命化を図り、安全かつ安定的に施設を運営する。

(2)　社会経済情勢等の変化への対応

岩手県の農林水産業、食品工業等の産業振興に寄与するため、適切な維持管理を行っていく。

(3)　公共施設の有効活用

有効活用について検討していない。
また、試験研究機関という特殊性から、他用途・多目的の利用には適さない。

３　長寿命化等対策の内容と実施時期

(1)　長寿命化等対策の方向性

経年劣化が見られる箇所のうち、緊急性が高く故障による影響が大きい電気・空調設備の更新を優先し対策を図る。
建築後25年以上が経過していることから、定期点検や日常点検等により施設の劣化状況の把握に努め、計画的な維持管理により、コスト縮減・財政負担の平準化を図りながら長寿命化を図る。

(2)　対策の内容

区　分	令和２年度(2020年度)	令和３年度(2021年度)	令和４年度(2022年度)	令和５年度(2023年度)	令和６年度(2024年度)
1:本館・動力ＲＩ処理棟	電気設備更新工事 培養室空調機器更新 種子保存庫増設	電気設備工事設計 人工気象室改修 空調機冷却コイル交換	電気設備工事（令和４年度～令和６年度） 排水滅菌処理装置更 ｸﾘｰﾝﾍﾞﾝﾁﾌｨﾙﾀｰ交換	冷温水発生機交換整備	空調中央監視盤更新 恒温恒湿室改修 電話回線交換
2:ガラス温室	維持管理（劣化状況の把握）→				
3:ガラス温室(非閉鎖系2・閉鎖系6)	維持管理（劣化状況の把握）→				
4:実験棟	維持管理（劣化状況の把握）→				
5:ガラス温室(非閉鎖系4)	維持管理（劣化状況の把握）→				

４　概算額

199百万円

【概算費用内訳(令和２年度（2020年度）～令和６年度（2024年度））】

	概算額	内　訳
R2	41,967千円	電気設備更新工事及び種子保存庫増設（22,255千円） 電気設備更新設計（1,221千円） 菌茸棟菌茸培養室空調機器更新（1,980千円） その他維持補修（16,511千円）
R3	24,264千円	電気設備工事設計（4,488千円） 人工気象室改修（15,021千円） 閉鎖温室系統空調機冷却コイル交換（2,592千円） その他維持補修（2,163千円）
R4	35,453千円	電気設備工事（22,964千円） 閉鎖系温室排水滅菌処理装置更新（7,315千円） クリーンベンチフィルター交換（3,011千円） その他維持補修（2,163千円）
R5	54,210千円	電気設備工事（22,853千円） 動力棟冷温水発生機チューブ交換分解整備（29,194千円） その他維持補修（2,163千円）
R6	42,405千円	電気設備工事（23,300千円） 非閉鎖系恒温恒湿室改修（2,045千円） 空調中央監視盤更新（11,066千円） 電話回線交換（3,831千円） その他維持補修（2,163千円）

※　試算の一例であること。

個 別 施 設 計 画 （ 個 票 ）

<table>
<tr><td>番号</td><td>6</td><td>策定年月</td><td>令和３年３月</td><td>最終更新</td><td>令和３年３月</td></tr>
<tr><td>施設名</td><td colspan="3">農業研究センター</td><td>財産区分</td><td>行政財産</td></tr>
<tr><td>所在地</td><td colspan="3">北上市成田20地割１番</td><td>敷地面積</td><td>172,616.72 ㎡</td></tr>
<tr><td>都市計画区域</td><td>都市計画区域外</td><td>防火地域</td><td>指定なし</td><td>用途地域</td><td>指定なし</td></tr>
<tr><td>設置目的
業務概要
等</td><td colspan="5">新たな試験研究に対する要望や地域課題への適切な対応、試験研究の効率化とともに、時代を先取りした試験研究を推進し、岩手県農業を確立していくしていくための先進的役割を果たすために再編整備された施設である。</td></tr>
</table>

１　施設内建物の概要

<table>
<tr><td colspan="2">番号：名称</td><td colspan="2">1: 原種調整低温貯蔵庫</td><td colspan="2">2: バイテク順化育成制御温室</td><td colspan="2">3: 農具庫兼休憩室</td></tr>
<tr><td colspan="2">構造</td><td colspan="2">鉄筋コンクリート　造</td><td colspan="2">鉄骨　造</td><td colspan="2">鉄骨　造</td></tr>
<tr><td colspan="2">階数</td><td colspan="2">地上　1　階　地下　－　階</td><td colspan="2">地上　1　階　地下　－　階</td><td colspan="2">地上　1　階　地下　－　階</td></tr>
<tr><td colspan="2">竣工年</td><td colspan="2">西暦　1989　年　3　月</td><td colspan="2">西暦　1991　年　3　月</td><td colspan="2">西暦　1997　年　3　月</td></tr>
<tr><td colspan="2">建築：延床</td><td>286.00 ㎡</td><td>286.00 ㎡</td><td>213.60 ㎡</td><td>213.60 ㎡</td><td>466.66 ㎡</td><td>389.66 ㎡</td></tr>
<tr><td colspan="2">主な設備</td><td colspan="2"></td><td colspan="2">受変電設備(ｷｭｰﾋﾞｸﾙ式)
冷暖房設備（温風暖房機方式）
給水設備（水道直結方式）
排水設備（浄化槽）</td><td colspan="2">受変電設備(ｷｭｰﾋﾞｸﾙ式)
自動火災報知設備
弱電設備(拡声)
冷暖房設備(FFｽﾄｰﾌﾞ等)
給水設備(水道直結方式)
排水設備(浄化槽)
給湯設備(局所式:ｶﾞｽ湯沸器)
ｶﾞｽ設備(液化石油ｶﾞｽ)</td></tr>
<tr><td colspan="2">主な用途</td><td colspan="2">貯蔵庫</td><td colspan="2">温室</td><td colspan="2">農具庫</td></tr>
<tr><td rowspan="4">老朽化の状況</td><td>劣化度調査</td><td colspan="2">目立った劣化は見られない</td><td colspan="2">屋根・壁ｶﾞﾗｽ張替</td><td colspan="2">屋根葺替</td></tr>
<tr><td>定期点検</td><td colspan="2">対象外</td><td colspan="2">対象外</td><td colspan="2">指摘なし</td></tr>
<tr><td>修繕工事</td><td colspan="2">―</td><td colspan="2">―</td><td colspan="2">―</td></tr>
<tr><td>特記</td><td colspan="2"></td><td colspan="2"></td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td rowspan="7">優先度</td><td>建物性能</td><td colspan="2">高</td><td colspan="2">高</td><td colspan="2">高</td></tr>
<tr><td>劣化：年数</td><td>高：Ａ異常無</td><td>高</td><td>高：Ａ異常無</td><td>高</td><td>高：Ａ異常無</td><td>高</td></tr>
<tr><td>利用度</td><td colspan="2">低</td><td colspan="2">高</td><td colspan="2">高</td></tr>
<tr><td>１次評価</td><td colspan="2">転用・複合化</td><td colspan="2">維持管理</td><td colspan="2">維持管理</td></tr>
<tr><td>重要性</td><td colspan="2">40: 需要なし</td><td colspan="2">75: 代替施設なし</td><td colspan="2">75: 代替施設なし</td></tr>
<tr><td>見通し</td><td colspan="2">0: 多目的利用の可能性なし</td><td colspan="2">△15: 多目的利用の可能性なし</td><td colspan="2">△15: 多目的利用の可能性なし</td></tr>
<tr><td>２次評価</td><td colspan="2">Ⅲ(50～40点)</td><td colspan="2">Ⅰ(60点以上)</td><td colspan="2">Ⅰ(60点以上)</td></tr>
<tr><td colspan="2">総合判定</td><td>用途廃止</td><td>優先度５</td><td>維持管理</td><td>優先度３</td><td>維持管理</td><td>優先度３</td></tr>
<tr><td></td><td>評価結果</td><td colspan="2">耐用年数満了をもって用途廃止。</td><td colspan="2">計画的な維持管理により、施設機能を維持。</td><td colspan="2">計画的な維持管理により、施設機能を維持。</td></tr>
</table>

個　別　施　設　計　画　（個　票）

番　号	6	策定年月	令和３年３月	最終更新	令和３年３月
施設名	農業研究センター			財産区分	行政財産

１　施設内建物の概要（続き）

番号：名称		4：水稲育苗ファイロンハウス		5：堆肥舎１		6：交配室棟	
構　造		鉄骨　造		鉄骨　造		鉄骨　造	
階　数		地上　1　階　地下　－　階		地上　1　階　地下　－　階		地上　1　階　地下　－　階	
竣工年		西暦　1997　年　3　月		西暦　1997　年　3　月		西暦　1997　年　3　月	
建築：延床		324.00　㎡	324.00　㎡	220.00　㎡	200.00　㎡	142.00　㎡	142.00　㎡
主な設備		受変電設備（ｷｭｰﾋﾞｸﾙ式） 給湯設備（水道直結方式） 排水設備（浄化槽）		給水設備（水道直結方式） 排水設備（浄化槽）		受変電設設備（ｷｭｰﾋﾞｸﾙ式） 自動火災報知設備 弱電設備（拡声） 冷暖房設備（温水方式・ｴｱｺﾝ等） 給水設備（水道直結方式） 排水設備（浄化槽） 給湯設備（局所式） ｶﾞｽ設備（液化石油ｶﾞｽ）	
主な用途		種苗生産		堆肥舎		種苗生産	
老朽化の状況	劣化度調査	目立った劣化は見られない		目立った劣化は見られない		屋根葺き替え、屋根ｶﾞﾗｽ	
	定期点検	温室設備ﾌｨﾙﾑほつれ、天窓・側窓部品破損　他		対象外		温室設備ｹｰﾌﾞﾙ劣化、側窓減速機動作不良	
	修繕工事	―		―		―	
	特記						
優先度	建物性能	高		高		高	
	劣化：年数	高：Ａ異常無	高	高：Ａ異常無	高	高：Ａ異常無	高
	利用度	高		高		高	
	１次評価	維持管理		維持管理		維持管理	
	重要性	75：代替施設なし		75：代替施設なし		75：代替施設なし	
	見通し	△15：多目的利用の可能性なし		△15：多目的利用の可能性なし		△15：多目的利用の可能性なし	
	２次評価	Ⅰ（60点以上）		Ⅰ（60点以上）		Ⅰ（60点以上）	
総合判定		維持管理	優先度３	維持管理	優先度３	維持管理	優先度３
	評価結果	計画的な維持管理により、施設機能を維持。		計画的な維持管理により、施設機能を維持。		計画的な維持管理により、施設機能を維持。	

個 別 施 設 計 画 （個 票）

番 号	6	策定年月	令和３年３月	最終更新	令和３年３月
施設名	農業研究センター			財産区分	行政財産

１　施設内建物の概要（続き）

		7：水稲育種調査棟		8：養蚕飼育調査棟		9：作物調査実験棟	
番号：名称		7：水稲育種調査棟		8：養蚕飼育調査棟		9：作物調査実験棟	
構 造		鉄骨 造		鉄骨 造		鉄骨 造	
階 数		地上 1 階 地下 － 階		地上 1 階 地下 － 階		地上 1 階 地下 － 階	
竣工年		西暦 1997 年 3 月		西暦 1997 年 3 月		西暦 1997 年 3 月	
建築：延床		413.28 ㎡	413.28 ㎡	340.20 ㎡	340.20 ㎡	790.38 ㎡	715.91 ㎡
主な設備		受変電設備（ｷｭｰﾋﾞｸﾙ式） 自動火災報知設備 弱電設備（拡声） 冷暖房設備（FFｽﾄｰﾌﾞ等） 給水設備（水道直結方式） 排水設備（浄化槽） 給湯設備（ｶﾞｽ湯沸器） ｶﾞｽ設備（液化石油ｶﾞｽ）		受変電設備（ｷｭｰﾋﾞｸﾙ式） 自動火災報知設備 弱電設備（拡声） 冷暖房設備（FFｽﾄｰﾌﾞ・ｴｱｺﾝ等） 給水設備（水道直結方式） 排水設備（浄化槽） 給湯設備（ｶﾞｽ湯沸器） ｶﾞｽ設備（液化石油ｶﾞｽ）		受変電設備（ｷｭｰﾋﾞｸﾙ式） 自動火災報知設備 弱電設備（拡声） 冷暖房方式（FFｽﾄｰﾌﾞ等） 給水設備（水道直結方式） 排水設備（浄化槽） 給湯設備（ｶﾞｽ湯沸器） ｶﾞｽ設備（液化石油ｶﾞｽ）	
主な用途		種苗生産		実験室		実験室	
老朽化の状況	劣化度調査	屋根葺き替え		屋根葺き替え		屋根葺き替え、屋外排水詰まり	
	定期点検	ｶﾞｽ漏れ警報器期限切れ		ｶﾞｽ漏れ警報器期限切れ		ｶﾞｽ漏れ警報器期限切れ	
	修繕工事	―		―		―	
	特記						
優先度	建物性能	高		高		高	
	劣化：年数	高：Ａ異常無	高	高：Ａ異常無	高	高：Ａ異常無	高
	利用度	高		高		高	
	１次評価	維持管理		維持管理		維持管理	
	重要性	75：代替施設なし		75：代替施設なし		75：代替施設なし	
	見通し	△15：多目的利用の可能性なし		△20：多目的利用の可能性なし		△15：多目的利用の可能性なし	
	２次評価	Ⅰ（60点以上）		Ⅱ（60～50点）		Ⅰ（60点以上）	
総合判定		維持管理	優先度３	維持管理	優先度４	維持管理	優先度３
	評価結果	計画的な維持管理により、施設機能を維持。		計画的な維持管理により、施設機能を維持。		計画的な維持管理により、施設機能を維持。	

個　別　施　設　計　画　（個　票）

番　号	6	策定年月	令和３年３月	最終更新	令和３年３月
施設名	農業研究センター			財産区分	行政財産

1　施設内建物の概要（続き）

番号：名称		10：育種ガラス温室		11：初期世代養生温室		12：穀物乾燥原種調製調査棟	
構　造		鉄骨　造		鉄骨　造		鉄骨　造	
階　数		地上　1　階　地下　－　階		地上　1　階　地下　－　階		地上　1　階　地下　－　階	
竣工年		西暦　1997　年　3　月		西暦　1997　年　3　月		西暦　1997　年　3　月	
建築：延床		991.80　㎡	991.80　㎡	658.70　㎡	658.70　㎡	891.00　㎡	860.00　㎡
主な設備		受変電設備(ｷｭｰﾋﾞｸﾙ式) 自動火災報知設備 弱電設備(拡声) 冷暖房設備(温水方式) 給水設備(水道直結方式) 排水設備(浄化槽)		受変電設備(ｷｭｰﾋﾞｸﾙ式) 自動火災報知設備 弱電設備(拡声) 冷暖房設備(温水方式) 給水設備(水道直結方式) 排水設備(浄化槽) 給湯設備(中央式:暖房ﾎﾞｲﾗ兼用)		受変電設備(ｷｭｰﾋﾞｸﾙ式) 自動火災報知設備 弱電設備(拡声) 給水設備(水道直結方式) 排水設備(その他) 給湯設備(ｶﾞｽ湯沸器) ｶﾞｽ設備(液化石油ｶﾞｽ)	
主な用途		温室		温室		貯蔵庫	
老朽化の状況	劣化度調査	屋根・壁ｶﾞﾗｽ張替		屋根・壁ｶﾞﾗｽ張替		屋根葺き替え	
	定期点検	複合環境制御装置不具合　他		温室設備一部破損　他		指摘なし	
	修繕工事	－		－		間仕切り、空調・換気・給水・排水設備、ﾌﾟﾗﾝﾄ設備	
	特記						
優先度	建物性能	高		高		高	
	劣化：年数	高：Ａ異常無	高	高：Ａ異常無	高	高：Ａ異常無	高
	利用度	高		高		高	
	１次評価	維持管理		維持管理		維持管理	
	重要性	75：代替施設なし		75：代替施設なし		75：代替施設なし	
	見通し	△15：多目的利用の可能性なし		△15：多目的利用の可能性なし		△15：多目的利用の可能性なし	
	２次評価	Ⅰ（60点以上）		Ⅰ（60点以上）		Ⅰ（60点以上）	
総合判定		維持管理	優先度３	維持管理	優先度３	維持管理	優先度３
	評価結果	計画的な維持管理により、施設機能を維持。		計画的な維持管理により、施設機能を維持。		計画的な維持管理により、施設機能を維持。	

個　別　施　設　計　画　（個　票）

番　号	6	策定年月	令和３年３月	最終更新	令和３年３月
施設名	農業研究センター			財産区分	行政財産

１　施設内建物の概要（続き）

番号：名称		13：機械格納庫１		14：機械格納庫２		15：車庫	
構　造		鉄骨　造		鉄骨　造		鉄骨　造	
階　数		地上　1　階　地下　－　階		地上　1　階　地下　－　階		地上　1　階　地下　－　階	
竣工年		西暦　1997　年　3　月		西暦　1997　年　3　月		西暦　1996　年　7　月	
建築：延床		686.40　㎡	629.20　㎡	686.40　㎡	629.20　㎡	584.93　㎡	504.25　㎡
主な設備		受変電設備(ｷｭｰﾋﾞｸﾙ式) 自動火災報知設備 弱電設備(拡声) 給水設備(水道直結方式) 排水設備(浄化槽) 給湯設備(局所式:ｶﾞｽ湯沸器) ｶﾞｽ設備(液化石油ｶﾞｽ)		受変電設備(ｷｭｰﾋﾞｸﾙ式) 自動火災報知設備 給水設備(水道直結方式) 排水設備(浄化槽)		受変電設備(ｷｭｰﾋﾞｸﾙ式) 自動火災報知設備 弱電設備(拡声) 給水設備(水道直結方式) 排水設備(浄化槽)	
主な用途		農機具格納庫		農機具格納庫		車庫	
老朽化の状況	劣化度調査	屋根葺き替え		屋根葺き替え		屋根葺き替え	
	定期点検	ｶﾞｽ漏れ警報器期限切れ		指摘なし		指摘なし	
	修繕工事	—		—		—	
	特記						
優先度	建物性能	高		高		高	
	劣化：年数	高：Ａ異常無	高	高：Ａ異常無	高	高：Ａ異常無	高
	利用度	高		高		高	
	１次評価	維持管理		維持管理		維持管理	
	重要性	75：代替施設なし		75：代替施設なし		75：代替施設なし	
	見通し	△15：多目的利用の可能性なし		△15：多目的利用の可能性なし		△15：多目的利用の可能性なし	
	２次評価	Ⅰ（60点以上）		Ⅰ（60点以上）		Ⅰ（60点以上）	
総合判定		維持管理	優先度３	維持管理	優先度３	維持管理	優先度３
	評価結果	計画的な維持管理により、施設機能を維持。		計画的な維持管理により、施設機能を維持。		計画的な維持管理により、施設機能を維持。	

個　別　施　設　計　画　（個　票）

番　号	6	策定年月	令和３年３月	最終更新	令和３年３月
施設名	農業研究センター			財産区分	行政財産

１　施設内建物の概要（続き）

番号：名称		16：園芸作物調査棟		17：収納舎		18：流通実験、遺伝資源保存庫棟	
構造		鉄骨　造		鉄骨　造		鉄骨　造	
階数		地上 2 階 地下 － 階		地上 2 階 地下 － 階		地上 1 階 地下 － 階	
竣工年		西暦 1996 年 7 月		西暦 1996 年 7 月		西暦 1996 年 11 月	
建築：延床		612.70 ㎡	715.60 ㎡	645.00 ㎡	774.00 ㎡	586.50 ㎡	552.00 ㎡
主な設備		受変電設備(ｷｭｰﾋﾞｸﾙ式) 自動火災報知設備 弱電設備(拡声) 冷暖房設備(FFｽﾄｰﾌﾞ等) 給水設備(水道直結方式) 排水設備(浄化槽) 給湯設備(局所式:ｶﾞｽ湯沸器) ｶﾞｽ設備(液化石油ｶﾞｽ)		受変電設備(ｷｭｰﾋﾞｸﾙ式) 自動火災報知設備 弱電設備(拡声) 冷暖房設備(FFｽﾄｰﾌﾞ等) 給水設備(水道直結方式) 排水設備(浄化槽) 給湯設備(局所式:ｶﾞｽ湯沸器)		受変電設備(ｷｭｰﾋﾞｸﾙ式) 自動火災報知設備 弱電設備(拡声) 冷暖房設備(FFｽﾄｰﾌﾞ等) 給水設備(水道直結方式) 排水設備(浄化槽) 給湯設備(ｶﾞｽ湯沸器) ｶﾞｽ設備(液化石油ｶﾞｽ)	
主な用途		実験室		収納舎		貯蔵庫	
老朽化の状況	劣化度調査	屋根葺き替え		屋根葺き替え		屋根葺き替え、冷蔵庫設備	
	定期点検	ｶﾞｽ漏れ警報器期限切れ		ｶﾞｽ漏れ警報器期限切れ		指摘なし	
	修繕工事	—		—		—	
	特記						
優先度	建物性能	高		高		高	
	劣化：年数	高：Ａ異常無	高	高：Ａ異常無	高	高：Ａ異常無	高
	利用度	高		高		高	
	１次評価	維持管理		維持管理		維持管理	
	重要性	75：代替施設なし		75：代替施設なし		75：代替施設なし	
	見通し	△15：多目的利用の可能性なし		△15：多目的利用の可能性なし		△15：多目的利用の可能性なし	
	２次評価	Ⅰ（60点以上）		Ⅰ（60点以上）		Ⅰ（60点以上）	
総合判定		維持管理	優先度３	維持管理	優先度３	維持管理	優先度３
	評価結果	計画的な維持管理により、施設機能を維持。		計画的な維持管理により、施設機能を維持。		計画的な維持管理により、施設機能を維持。	

個　別　施　設　計　画　（個　票）

番　号	6	策定年月	令和３年３月	最終更新	令和３年３月
施設名	農業研究センター			財産区分	行政財産

１　施設内建物の概要（続き）

番号：名称	19：管理棟		20：機械棟		21：実験研究棟	
構　造	鉄筋コンクリート　造		鉄筋コンクリート　造		鉄筋コンクリート　造	
階　数	地上　2　階 地下　－　階		地上　1　階 地下　－　階		地上　3　階 地下　－　階	
竣工年	西暦　1997　年　3　月		西暦　1996　年　12　月		西暦　1996　年　12　月	
建築：延床	1,801.21 ㎡	2,911.17 ㎡	412.18 ㎡	412.18 ㎡	1,730.25 ㎡	5,056.92 ㎡
主な設備	受変電設備（屋内形） 自動火災報知設備、非常警報設備 構内交換設備 弱電設備（電気時計、拡声、ﾃﾚﾋﾞ共同受信） ｴﾚﾍﾞｰﾀｰ設備（乗用EV） 冷暖房設備（中央式冷暖房） 空調機器（ﾌｧﾝｺｲﾙﾕﾆｯﾄ） 自動制御設備（中央式監視制御） 給水設備（水道直結方式） 排水設備（浄化槽） 給湯設備（中央式） ｶﾞｽ設備（液化石油ｶﾞｽ） 消火設備（屋内消火栓、屋外消火栓）		受変電設備（屋内形） 弱電設備（拡声他） 冷暖房設備（中央式冷暖房） 給水設備（水道直結方式） 排水設備（浄化槽） 給湯設備（中央式） ｶﾞｽ設備（液化石油ｶﾞｽ） 消火設備（屋内消火栓、屋外消火栓）		受変電設備（屋内形） 自動火災報知設備 構内交換設備 弱電設備（電気時計、拡声、ﾃﾚﾋﾞ共同受信） 冷暖房設備（中央式冷暖房） 給水設備（水道直結方式） 排水設備（浄化槽） ｶﾞｽ設備（液化石油ｶﾞｽ） 消火設備（屋内消火栓、屋外消火栓）	
主な用途	事務所		機械室		事務所	
老朽化の状況：劣化度調査	屋根葺き替え		屋上防水ｼｰﾄ張替		屋上防水ｼｰﾄ張替	
老朽化の状況：定期点検	空調設備異音		自家発電用蓄電池有効期限切れ、空調設備部品等劣化　他		ｶﾞｽ漏れ警報機有効期限切れ、空調設備部品等劣化　他	
老朽化の状況：修繕工事	複合防災盤・屋内消火栓呼水槽		吸収冷温水発生機		天井張替	
老朽化の状況：特記						
優先度：建物性能	高		高		高	
優先度：劣化：年数	高：Ａ異常無	高	高：Ａ異常無	高	高：Ａ異常無	高
優先度：利用度	高		高		高	
優先度：１次評価	維持管理		維持管理		維持管理	
優先度：重要性	80：代替施設なし		80：代替施設なし		80：代替施設なし	
優先度：見通し	20：多目的利用の可能性なし		20：多目的利用の可能性なし		20：多目的利用の可能性なし	
優先度：２次評価	Ⅰ（60点以上）		Ⅰ（60点以上）		Ⅰ（60点以上）	
総合判定	修繕・改修	優先度３	修繕・改修	優先度３	修繕・改修	優先度３
評価結果	計画的な大規模修繕等により、施設機能を維持。		計画的な大規模修繕等により、施設機能を維持。		計画的な大規模修繕等により、施設機能を維持。	

個　別　施　設　計　画　（個　票）

番　号	6	策定年月	令和３年３月	最終更新	令和３年３月
施設名	農業研究センター			財産区分	行政財産

1　施設内建物の概要（続き）

番号：名称		22：果樹ウイルスフリー化施設		23：ポット試験網室		24：病害虫隔離温室	
構　造		鉄骨　造		鉄骨　造		鉄骨　造	
階　数		地上　1　階　地下　－　階		地上　1　階　地下　－　階		地上　1　階　地下　－　階	
竣工年		西暦　1997　年　11　月		西暦　1997　年　11　月		西暦　1997　年　11　月	
建築：延床		180.00　㎡	180.00　㎡	125.10　㎡	125.10　㎡	200.70　㎡	200.70　㎡
主な設備		受変電設備（ｷｭｰﾋﾞｸﾙ式） 自動火災報知設備 弱電設備（拡声） 冷暖房設備（FFｽﾄｰﾌﾞ等） オイルタンク 給水設備（水道直結方式） 排水設備（浄化槽）		給水設備（水道直結方式） 排水設備（浄化槽）		受変電設備（ｷｭｰﾋﾞｸﾙ式） 自動火災報知設備 弱電設備（拡声） 冷暖房設備（温水方式）	
主な用途		実験室		実験室		温室	
老朽化の状況	劣化度調査	屋根・壁ｶﾞﾗｽ張替		目立った劣化は見られない		屋根・壁ｶﾞﾗｽ張替	
	定期点検	指摘なし		対象外		指摘なし	
	修繕工事	―		―		温水ﾎﾞｲﾗｰ煙突	
	特記						
優先度	建物性能	高		高		高	
	劣化：年数	高：Ａ異常無	高	高：Ａ異常無	高	高：Ａ異常無	高
	利用度	高		高		高	
	１次評価	維持管理		維持管理		維持管理	
	重要性	75：代替施設なし		75：代替施設なし		75：代替施設なし	
	見通し	△15：多目的利用の可能性なし		0：多目的利用の可能性なし		△15：多目的利用の可能性なし	
	２次評価	Ⅰ（60点以上）		Ⅰ（60点以上）		Ⅰ（60点以上）	
総合判定		維持管理	優先度３	維持管理	優先度３	維持管理	優先度３
	評価結果	計画的な維持管理により、施設機能を維持。		計画的な維持管理により、施設機能を維持。		計画的な維持管理により、施設機能を維持。	

個 別 施 設 計 画 （個 票）

番 号	6	策定年月	令和３年３月	最終更新	令和３年３月
施設名	農業研究センター			財産区分	行政財産

１ 施設内建物の概要（続き）

番号：名称		25：生産環境調査棟		26：ドレンベッドハウス		27：栽培環境制御型温室	
構 造		鉄筋コンクリート 造		鉄骨 造		鉄骨 造	
階 数		地上 1 階 地下 － 階		地上 1 階 地下 － 階		地上 1 階 地下 － 階	
竣工年		西暦 1997 年 12 月		西暦 2000 年 3 月		西暦 2018 年 3 月	
建築：延床		608.00 ㎡	608.00 ㎡	388.80 ㎡	388.80 ㎡	648.00 ㎡	648.00 ㎡
主な設備		受変電設備（ｷｭｰﾋﾞｸﾙ式） 自動火災報知設備 弱電設備（拡声） 冷暖房設備（FFｽﾄｰﾌﾞ等） 給水設備（水道直結方式） 排水設備（浄化槽） 給湯設備（局所式：ｶﾞｽ湯沸器） ｶﾞｽ設備（液化石油ｶﾞｽ）		受変電設備（ｷｭｰﾋﾞｸﾙ式）		受変電設備（ｷｭｰﾋﾞｸﾙ式） 冷暖房設備（温風方式） 排水設備（浄化槽）	
主な用途		実験室		温室		温室	
老朽化の状況	劣化度調査	屋根葺き替え		目立った劣化はみられない		目立った劣化は見られない	
	定期点検	ｶﾞｽ漏れ警報器有効期限切れ		対象外		対象外	
	修繕工事	－		ﾌｨﾙﾑ張替		－	
	特 記						
優先度	建物性能	高		高		高	
	劣化：年数	高：Ａ異常無	高	高：Ａ異常無	高	高：Ａ異常無	高
	利用度	高		高		高	
	１次評価	維持管理		維持管理		維持管理	
	重要性	75：代替施設なし		75：代替施設なし		80：代替施設なし	
	見通し	△15：多目的利用の可能性なし		△15：多目的利用の可能性なし		0：多目的利用の可能性なし	
	２次評価	Ⅰ（60点以上）		Ⅰ（60点以上）		Ⅰ（60点以上）	
総合判定		維持管理	優先度３	維持管理	優先度３	維持管理	優先度３
	評価結果	計画的な維持管理により、施設機能を維持。		計画的な維持管理により、施設機能を維持。		計画的な維持管理により、施設機能を維持。	

２　対応方針

(1)　基本的な方針
計画的な大規模修繕等により長寿命化を図り、施設機能を維持する。

(2)　社会経済情勢等の変化への対応
岩手県の農林水産業、食品工業等の産業振興に寄与するため、適切な維持管理を行っていく。

(3)　公共施設の有効活用
有効活用について検討していない。
また、試験研究機関という特殊性から、他用途・多目的の利用には適さない。

３　長寿命化等対策の内容と実施時期

(1)　長寿命化等対策の方向性

経年劣化が見られる箇所のうち、緊急性が高く故障による影響が大きい電気・空調設備の更新を優先し対策を図る。
建築後20年以上が経過していることから、定期点検や日常点検等により施設の劣化状況の把握に努め、計画的な維持管理により、コスト縮減・財政負担の平準化を図りながら長寿命化を図る。

(2)　対策の内容

区　分	令和２年度 (2020年度)	令和３年度 (2021年度)	令和４年度 (2022年度)	令和５年度 (2023年度)	令和６年度 (2024年度)
1:原種調整低温貯蔵庫	維持管理（劣化状況の把握）→				
2:ﾊﾞｲﾃｸ順化育成制御温室	維持管理（劣化状況の把握）→				
3:農具庫兼休憩室	維持管理（劣化状況の把握）→				
4:水稲育苗ﾌｧｲﾛﾝﾊｳｽ	維持管理（劣化状況の把握）→				
5:堆肥舎１	維持管理（劣化状況の把握）→				
6:交配室棟	維持管理（劣化状況の把握）→				
7:水稲育種調査棟	維持管理（劣化状況の把握）→				
8:養蚕飼育調査棟	維持管理（劣化状況の把握）→				
9:作物調査実験棟	維持管理（劣化状況の把握）→				
10:育種ｶﾞﾗｽ温室	維持管理（劣化状況の把握）→				
11:初期世代養生温室	維持管理（劣化状況の把握）→				
12:穀物乾燥原種調製調査棟	維持管理（劣化状況の把握）→				
13･14:機械格納庫1、2	維持管理（劣化状況の把握）→				
15:車庫	維持管理（劣化状況の把握）→				
16:園芸作物調査棟	維持管理（劣化状況の把握）→				
17:収納舎	維持管理（劣化状況の把握）→				

(2)　対策の内容　続き

区　分	令和２年度(2020年度)	令和３年度(2021年度)	令和４年度(2022年度)	令和５年度(2023年度)	令和６年度(2024年度)
18:流通実験、遺伝資源保存庫棟	維持管理（劣化状況の把握）				
19:管理棟			キュービクル設備交換修繕 中央監視等設備機器交換 特殊空調設備交換 冷凍庫棟設備機器交換 温室設備機器交換		
20:機械棟					
21:実験研究棟					
22:果樹ｳｲﾙｽﾌﾘｰ化施設	維持管理（劣化状況の把握）				
23:ポット試験網室	維持管理（劣化状況の把握）				
24:病害虫隔離温室	維持管理（劣化状況の把握）				
25:生産環境調査棟	維持管理（劣化状況の把握）				
26:ドレンベッドハウス	維持管理（劣化状況の把握）				
27:栽培環境制御型温室	維持管理（劣化状況の把握）				

４　概算額

248百万円

【概算費用内訳(令和２年度（2020年度）～令和６年度（2024年度））】

	概算額	内　訳
R2	24,631千円	その他維持補修
R3	9,596千円	その他維持補修
R4	124,596千円	旧銘柄米開発研究室取壊（76,000千円） キュービクル設備交換（13,000千円） 中央監視等設備機器交換（8,000千円） 特殊空調設備交換（2,000千円） 温室設備機器交換（5,000千円） 冷蔵庫棟設備機器交換（11,000千円） その他維持補修（9,596千円）
R5	44,596千円	キュービクル設備交換（10,000千円） 中央監視等設備機器交換（8,000千円） 特殊空調設備交換（2,000千円） 温室設備機器交換（5,000千円） 冷蔵庫棟設備機器交換（10,000千円） その他維持補修（9,596千円）
R6	43,596千円	キュービクル設備交換（7,000千円） 中央監視等設備機器交換（8,000千円） 特殊空調設備交換（2,000千円） 温室設備機器交換（5,000千円） 冷蔵庫棟設備機器交換（12,000千円） その他維持補修（9,596千円）

※　試算の一例であること。

個　別　施　設　計　画　（個　票）

番　号	7	策定年月	令和３年３月	最終更新	令和３年３月
施設名	農業研究センター南部園芸研究室			財産区分	行政財産
所在地	陸前高田市米崎町字川崎238－４			敷地面積	4,993.58　㎡
都市計画区域	都市計画区域外	防火地域	指定なし	用途地域	指定なし
設置目的 業務概要 等	沿岸南部地域の気象条件を活用した産地育成のため、施設園芸の栽培技術の開発を目的として設置。 ※東日本大震災津波により被災し、平成25年に再建。				

１　施設内建物の概要

	番号：名称	1：本館		2：圃場管理・農機具庫棟		3：軽量鉄骨ハウス１	
	構　造	木　造		木　造		鉄骨　造	
	階　数	地上　2　階　地下　－　階		地上　1　階　地下　－　階		地上　1　階　地下　－　階	
	竣工年	西暦　2013　年　3　月		西暦　2013　年　12　月		西暦　2013　年　12　月	
	建築：延床	216.13　㎡	329.16　㎡	397.81　㎡	397.81　㎡	194.40　㎡	194.40　㎡
	主な設備	受変電設備（ｷｭｰﾋﾞｸﾙ式） 自動火災報知設備 弱電設備（拡声他） 冷暖房設備（FFｽﾄｰﾌﾞ・ｴｱｺﾝ等） 空調機器（ﾌｧﾝｺｲﾙﾕﾆｯﾄ） 給水設備（加圧送水方式） 排水設備（浄化槽） 給湯設備（ｶﾞｽ湯沸器） ｶﾞｽ設備（液化石油ｶﾞｽ）		受変電設備（ｷｭｰﾋﾞｸﾙ式） 弱電設備（拡声他） 冷暖房設備（FFｽﾄｰﾌﾞ・ｴｱｺﾝ等） 空調機器（ﾌｧﾝｺｲﾙﾕﾆｯﾄ） 給水設備（加圧送水方式） 排水設備（浄化槽） 給湯設備（ｶﾞｽ湯沸器） ｶﾞｽ設備（液化石油ｶﾞｽ）		受変電設備（ｷｭｰﾋﾞｸﾙ式） 給水設備（加圧送水方式） 排水設備（受水槽）	
	主な用途	事務所		農機具格納庫		種苗生産	
老朽化の状況	劣化度調査	受水槽から注水音あり		目立った劣化は見られない		目立った劣化は見られない	
	定期点検	指摘なし		指摘なし		指摘なし	
	修繕工事	―		―		―	
	特記						
優先度	建物性能	高		高		高	
	劣化：年数	高：Ａ異常無	高	高：Ａ異常無	高	高：Ａ異常無	高
	利用度	高		高		高	
	１次評価	維持管理		維持管理		維持管理	
	重要性	75：代替施設なし		75：代替施設なし		75：代替施設なし	
	見通し	△15：多目的利用の可能性なし		△15：多目的利用の可能性なし		△15：多目的利用の可能性なし	
	２次評価	Ⅰ（60点以上）		Ⅰ（60点以上）		Ⅰ（60点以上）	
総合判定		維持管理	優先度３	維持管理	優先度３	維持管理	優先度３
	評価結果	計画的な維持管理により、施設機能を維持。		計画的な維持管理により、施設機能を維持。		計画的な維持管理により、施設機能を維持。	

個別施設計画（個票）

番号	7	策定年月	令和３年３月	最終更新	令和３年３月
施設名	農業研究センター南部園芸研究室			財産区分	行政財産

１　施設内建物の概要（続き）

番号：名称		4：軽量鉄骨ハウス２		5：軽量鉄骨ハウス３		6：軽量鉄骨ハウス４	
構造		鉄骨　造		鉄骨　造		鉄骨　造	
階数		地上　1　階　地下　－　階		地上　1　階　地下　－　階		地上　1　階　地下　－　階	
竣工年		西暦　2013　年　12　月		西暦　2013　年　12　月		西暦　2013　年　12　月	
建築：延床		194.40　㎡	194.40　㎡	194.40　㎡	194.40　㎡	194.40　㎡	194.40　㎡
主な設備		受変電設備(ｷｭｰﾋﾞｸﾙ式) 給水設備(加圧送水方式) 排水設備(浄化槽)		受変電設備(ｷｭｰﾋﾞｸﾙ式) 給水設備(加圧送水方式) 排水設備(浄化槽)		受変電設備(ｷｭｰﾋﾞｸﾙ式) 給水設備(加圧送水方式) 排水設備(浄化槽)	
主な用途		種苗生産		種苗生産		種苗生産	
老朽化の状況	劣化度調査	目立った劣化は見られない		目立った劣化は見られない		目立った劣化は見られない	
	定期点検	指摘なし		指摘なし		指摘なし	
	修繕工事	―		―		―	
	特記						
優先度	建物性能	高		高		高	
	劣化：年数	高：Ａ異常無	高	高：Ａ異常無	高	高：Ａ異常無	高
	利用度	高		高		高	
	１次評価	維持管理		維持管理		維持管理	
	重要性	75：代替施設なし		75：代替施設なし		75：代替施設なし	
	見通し	△15：多目的利用の可能性なし		△15：多目的利用の可能性なし		△15：多目的利用の可能性なし	
	２次評価	Ⅰ(60点以上)		Ⅰ(60点以上)		Ⅰ(60点以上)	
総合判定		維持管理	優先度３	維持管理	優先度３	維持管理	優先度３
	評価結果	計画的な維持管理により、施設機能を維持。		計画的な維持管理により、施設機能を維持。		計画的な維持管理により、施設機能を維持。	

個　別　施　設　計　画　（個　票）

番　号	7	策定年月	令和３年３月	最終更新	令和３年３月
施設名	農業研究センター南部園芸研究室			財産区分	行政財産

1　施設内建物の概要（続き）

		7：軽量鉄骨ハウス５		8：パイプハウス	
番号：名称		7：軽量鉄骨ハウス５		8：パイプハウス	
構　造		鉄骨　造		鉄骨　造	
階　数		地上　1　階　地下　－　階		地上　1　階　地下　－　階	
竣工年		西暦　2013　年　12　月		西暦　2013　年　12　月	
建築：延床		194.40　㎡	194.40　㎡	142.56　㎡	142.56　㎡
主な設備		受変電設備(ｷｭｰﾋﾞｸﾙ式) 給水設備(加圧送水方式) 排水設備(浄化槽)		受変電設備(ｷｭｰﾋﾞｸﾙ式) 給水設備(加圧送水方式) 排水設備(浄化槽)	
主な用途		種苗生産		種苗生産	
老朽化の状況	劣化度調査	目立った劣化は見られない		目立った劣化は見られない	
	定期点検	指摘なし		指摘なし	
	修繕工事	－		－	
	特記				
優先度	建物性能	高		高	
	劣化：年数	高：Ａ異常無	高	高：Ａ異常無	高
	利用度	高		高	
	１次評価	維持管理		維持管理	
	重要性	75：代替施設なし		75：代替施設なし	
	見通し	△15：多目的利用の可能性なし		△15：多目的利用の可能性なし	
	２次評価	Ⅰ（60点以上）		Ⅰ（60点以上）	
総合判定		維持管理	優先度３	維持管理	優先度３
	評価結果	計画的な維持管理により、施設機能を維持。		計画的な維持管理により、施設機能を維持。	

２　対応方針

(1)　**基本的な方針**

計画的な維持管理により長寿命化を図る。

(2)　**社会経済情勢等の変化への対応**

岩手県の農林水産業、食品工業等の産業振興に寄与するため、適切な維持管理を行っていく。

(3)　**公共施設の有効活用**

有効活用について検討していない。
また、試験研究機関という特殊性から、他用途・多目的の利用には適さない。

３　長寿命化等対策の内容と実施時期

(1)　長寿命化等対策の方向性

現時点において大きな故障等は見られないが、定期点検や日常点検等により施設の劣化状況の把握に努め、計画的な維持管理により、コスト縮減・財政負担の平準化を図りながら長寿命化を図る。

(2)　対策の内容

区　分	令和２年度 (2020年度)	令和３年度 (2021年度)	令和４年度 (2022年度)	令和５年度 (2023年度)	令和６年度 (2024年度)
1:本館	維持管理（劣化状況の把握）				
2:圃場管理・農機具庫棟	維持管理（劣化状況の把握）				
3:軽量鉄骨ﾊｳｽ1	維持管理（劣化状況の把握）				
4:軽量鉄骨ﾊｳｽ2	維持管理（劣化状況の把握）				
5:軽量鉄骨ﾊｳｽ3	維持管理（劣化状況の把握）				
6:軽量鉄骨ﾊｳｽ4	維持管理（劣化状況の把握）				
7:軽量鉄骨ﾊｳｽ5	維持管理（劣化状況の把握）				
8:ﾊﾟｲﾌﾟﾊｳｽ	維持管理（劣化状況の把握）				

４　概算額

４百万円

【概算費用内訳(令和２年度（2020年度）～令和６年度（2024年度））】

	概算額	内　訳
R2	－千円	
R3	897千円	その他維持補修
R4	897千円	その他維持補修
R5	897千円	その他維持補修
R6	897千円	その他維持補修

※　試算の一例であること。

個　別　施　設　計　画　（個　票）

番　号	8	策定年月	令和３年３月	最終更新	令和３年３月
施設名	農業研究センター県北農業研究所			財産区分	行政財産
所在地	軽米町大字山内第23地割権現林９番１			敷地面積	48,936.00 ㎡
都市計画区域	都市計画区域外	防火地域	指定なし	用途地域	指定なし
設置目的 業務概要等	中山間地域における生産性・収益性の高い営農の実現に向け、水稲・雑穀の高付加価値化を図る品種育成、地域の立地特性を活用した野菜の安定生産技術及び省力化技術の確立、中山間地域及び水田農業への土地利用型作目の導入に関する研究及び特産作物（雑穀、薬用作物等）の安定生産技術開発等を行っている。				

１　施設内建物の概要

番号：名称	1：本館	2：車庫	3：作物収納舎
構　造	鉄筋コンクリート　造	鉄骨　造	鉄骨　造
階　数	地上　3　階 地下　－　階	地上　1　階 地下　－　階	地上　1　階 地下　－　階
竣工年	西暦　1997　年　3　月	西暦　1997　年　3　月	西暦　1997　年　3　月
建築：延床	1,448.44 ㎡ ： 2,795.52 ㎡	223.34 ㎡ ： 223.34 ㎡	693.16 ㎡ ： 687.06 ㎡
主な設備	受変電設備(屋外形:ｷｭｰﾋﾞｸﾙ式) 発電設備(ﾃﾞｨｰｾﾞﾙ)、電灯設備 自動火災報知設備、非常警報設備 構内交換設備 弱電設備(電気時計、拡声、ﾃﾚﾋﾞ共同受信他) ｴﾚﾍﾞｰﾀｰ設備(乗用EV) 冷暖房方式(中央式冷暖房、ｴｱｺﾝ等) 熱源設備(直吸収冷温水機、冷却塔(開放式)) 空調機器(ﾕﾆｯﾄ形、ﾌｧﾝｺｲﾙﾕﾆｯﾄ) 自動制御設備(中央式監視制御) 給水設備(高置水槽方式) 排水設備(浄化槽) 給湯設備(中央式:真空式温水発生器、ｶﾞｽ湯沸器) ｶﾞｽ設備(液化石油ｶﾞｽ) 消火設備(屋内消火栓、粉末消火)	電灯設備 自動火災報知設備 非常警報設備 弱電設備(拡声) 給水設備(高置水槽方式) 消火設備(粉末消火)	電灯設備 自動火災報知設備 非常警報設備 弱電設備(拡声) 冷暖房設備(FFｽﾄｰﾌﾞ等) 給水設備(加圧送水方式) 給湯設備(局所式:ｶﾞｽ湯沸器) ｶﾞｽ設備(液化石油ｶﾞｽ) 消火設備 (粉末消火)
主な用途	庁舎・事務所	車庫 バン・トラック　７台	収納舎
老朽化の状況：劣化度調査	自動火災報知設備・非常用放送設備劣化	ｵｰﾊﾞｰｽﾗｲﾀﾞｰ動作不良、屋根経年劣化他	屋根経年劣化、壁・床ひび割れ等
老朽化の状況：定期点検	冷温水発生機部品要交換	指摘なし	指摘なし
老朽化の状況：修繕工事	―	―	―
老朽化の状況：特記			
優先度：建物性能	高	高	高
優先度：劣化：年数	高：Ａ異常無 ： 高	高：Ａ異常無 ： 高	高：Ａ異常無 ： 高
優先度：利用度	高	高	高
優先度：１次評価	維持管理	維持管理	維持管理
優先度：重要性	55：代替施設なし	55：代替施設なし	55：代替施設なし
優先度：見通し	10：多目的利用の可能性なし	△15：多目的利用の可能性なし	△15：多目的利用の可能性なし
優先度：２次評価	Ⅰ(60点以上)	Ⅲ(50～40点)	Ⅲ(50～40点)
総合判定	修繕・改修 ： 優先度３	修繕・改修 ： 優先度５	修繕・改修 ： 優先度５
評価結果	計画的な大規模修繕等により、施設機能を維持。	計画的な大規模修繕等により、施設機能を維持。	計画的な大規模修繕等により、施設機能を維持。

個　別　施　設　計　画　（個　票）

番　号	8	策定年月	令和３年３月	最終更新	令和３年３月
施設名	農業研究センター県北農業研究所			財産区分	行政財産

１　施設内建物の概要（続き）

番号：名称		4：園芸収納舎		5：穀物乾燥・作物調査棟		6：蚕飼育棟	
構造		鉄骨　造		鉄骨　造		鉄骨　造	
階数		地上　2　階　地下　－　階		地上　2　階　地下　－　階		地上　1　階　地下　－　階	
竣工年		西暦　1997　年　3　月		西暦　1997　年　3　月		西暦　1997　年　3　月	
建築：延床		392.82　㎡	392.82　㎡	740.25　㎡	740.25　㎡	297.65　㎡	297.65　㎡
主な設備		電灯設備 自動火災報知設備 非常警報設備 弱電設備(拡声) 冷暖房設備(FFｽﾄｰﾌﾞ等) 給水設備(加圧送水方式) 給湯設備(局所式) ｶﾞｽ設備(液化石油ｶﾞｽ) 消火設備(粉末消火)		電灯設備 自動火災報知設備 非常警報設備 弱電設備(拡声) 冷暖房設備(FFｽﾄｰﾌﾞ等) 給水設備(加圧送水方式) 消火設備(粉末消火)		電灯設備 自動火災報知設備 非常警報設備 弱電設備(拡声) 冷暖房方式(FFｽﾄｰﾌﾞ等) 給水設備(加圧送水方式) 給湯設備(局所式:ｶﾞｽ湯沸器) ｶﾞｽ設備(液化石油ｶﾞｽ) 消火設備(粉末消火)	
主な用途		収納舎		倉庫		蚕室	
老朽化の状況	劣化度調査	屋根経年劣化、壁・床ひび割れ他		雨樋一部破損、壁・床ひび割れ他		屋根経年劣化、壁・床ひび割れ他	
	定期点検	指摘なし		外壁材破損、外部階段ｻﾋﾞ、ｶﾞﾗｽひび割れ、換気扇目詰まり　他		対象外	
	修繕工事	―		―		―	
	特記						
優先度	建物性能	高		高		高	
	劣化：年数	高：Ａ異常無	高	高：Ａ異常無	高	高：Ａ異常無	高
	利用度	高		高		高	
	１次評価	維持管理		維持管理		維持管理	
	重要性	55：代替施設なし		55：代替施設なし		55：代替施設なし	
	見通し	△15：多目的利用の可能性なし		△15：多目的利用の可能性なし		△15：多目的利用の可能性なし	
	２次評価	Ⅲ(50～40点)		Ⅲ(50～40点)		Ⅲ(50～40点)	
総合判定		修繕・改修	優先度５	修繕・改修	優先度５	修繕・改修	優先度５
	評価結果	計画的な大規模修繕等により、施設機能を維持。		計画的な大規模修繕等により、施設機能を維持。		計画的な大規模修繕等により、施設機能を維持。	

個 別 施 設 計 画 （個 票）

番 号	8	策定年月	令和３年３月	最終更新	令和３年３月
施 設 名	農業研究センター県北農業研究所			財産区分	行政財産

１　施設内建物の概要（続き）

		7: 肥料・農薬・農具庫		8: 機械格納庫		9: 種苗ハウス	
番号：名称		7: 肥料・農薬・農具庫		8: 機械格納庫		9: 種苗ハウス	
構 造		鉄骨 造		鉄骨 造		鉄骨 造	
階 数		地上 1 階 地下 － 階		地上 1 階 地下 － 階		地上 1 階 地下 － 階	
竣 工 年		西暦 1997 年 3 月		西暦 1997 年 3 月		西暦 1997 年 3 月	
建築：延床		273.68 ㎡	253.68 ㎡	732.63 ㎡	732.63 ㎡	206.88 ㎡	206.88 ㎡
主な設備		電灯設備 自動火災報知設備 非常警報設備 弱電設備（拡声） 給水設備（加圧送水方式） 消火設備（粉末消火）		電灯設備 自動火災報知設備 非常警報設備 弱電設備（拡声） 給水設備（加圧送水方式） 消火設備（粉末消火）		電灯設備 給水設備（加圧送水方式）	
主な用途		農業試験研究用肥料の保管 農薬・農具の保管		農機具格納庫		種苗生産	
老朽化の状況	劣化度調査	屋根経年劣化、壁・床ひび割れ他		屋根経年劣化、壁・床ひび割れ他		屋根経年劣化、壁ひび割れ、網戸一部剥がれ	
	定期点検	庇の柱・桁ｻﾋﾞ		外部鉄骨柱ｻﾋﾞ		指摘なし	
	修繕工事	―		―		―	
	特記						
優先度	建物性能	高		高		高	
	劣化：年数	高：Ａ異常無	高	高：Ａ異常無	高	高：Ａ異常無	高
	利用度	高		高		高	
	１次評価	維持管理		維持管理		維持管理	
	重要性	55: 代替施設なし		55: 代替施設なし		55: 代替施設なし	
	見通し	△15: 多目的利用の可能性なし		△15: 多目的利用の可能性なし		△15: 多目的利用の可能性なし	
	２次評価	Ⅲ（50～40点）		Ⅲ（50～40点）		Ⅲ（50～40点）	
総合判定		修繕・改修	優先度５	修繕・改修	優先度５	修繕・改修	優先度５
	評価結果	計画的な大規模修繕等により、施設機能を維持。		計画的な大規模修繕等により、施設機能を維持。		計画的な大規模修繕等により、施設機能を維持。	

個　別　施　設　計　画　（個　票）

番　号	8	策定年月	令和３年３月	最終更新	令和３年３月
施設名	農業研究センター県北農業研究所			財産区分	行政財産

１　施設内建物の概要（続き）

番号：名称		10：育苗ガラス温室		11：堆肥舎		12：吹抜け小屋	
構　造		鉄骨　造		鉄骨　造		木　造	
階　数		地上　1　階　地下　－　階		地上　1　階　地下　－　階		地上　1　階　地下　－　階	
竣工年		西暦　1997　年　3　月		西暦　1997　年　3　月		西暦　1997　年　3　月	
建築：延床		121.98　㎡	121.98　㎡	108.00　㎡	102.00　㎡	122.50　㎡	122.50　㎡
主な設備		電灯設備 冷暖房設備（温水方式） 給水設備（加圧送水方式） 消火設備（粉末消火）				電灯設備	
主な用途		温室		圃場散布用堆肥を常時保管		作業室	
老朽化の状況	劣化度調査	屋根経年劣化、壁ひび割れ、網戸一部剥がれ		外内壁にひび割れ、梁等にｻﾋﾞ		外壁に穴、梁等にｻﾋﾞ、屋根経年劣化	
	定期点検	温室設備不具合他		対象外		対象外	
	修繕工事	—		—		—	
	特記						
優先度	建物性能	高		高		高	
	劣化：年数	高：Ａ異常無	高	高：Ａ異常無	高	高：Ａ異常無	高
	利用度	高		中		高	
	１次評価	維持管理		維持管理		維持管理	
	重要性	55：代替施設なし		55：代替施設なし		55：代替施設なし	
	見通し	△15：多目的利用の可能性なし		△15：多目的利用の可能性なし		△15：多目的利用の可能性なし	
	２次評価	Ⅲ（50～40点）		Ⅲ（50～40点）		Ⅲ（50～40点）	
総合判定		修繕・改修	優先度５	維持管理	優先度５	修繕・改修	優先度５
	評価結果	計画的な大規模修繕等により、施設機能を維持。		計画的な維持管理により、施設機能を維持。		計画的な大規模修繕等により、施設機能を維持。	

個 別 施 設 計 画 （個 票）

番　号	8	策定年月	令和３年３月	最終更新	令和３年３月
施 設 名	農業研究センター県北農業研究所			財産区分	行政財産

１　施設内建物の概要(続き)

番号：名称		13：公舎		14：堆肥舎	
構　造		鉄筋コンクリート　造		木　造	
階　数		地上　3　階 地下　－　階		地上　1　階 地下　－　階	
竣工年		西暦　1998　年　3　月		西暦　2011　年　12　月	
建築：延床		600.58 ㎡	1,366.32 ㎡	254.73 ㎡	254.73 ㎡
主な設備		電灯設備 自動火災報知設備 弱電設備(ﾃﾚﾋﾞ共同受信) 給水設備(加圧送水方式) 排水設備(公共下水道) 給湯設備(局所式:ｶﾞｽ湯沸器) ｶﾞｽ設備(液化石油ｶﾞｽ) 消火設備(粉末消火)			
主な用途		世帯用7/9戸　入居中 単身用8/9戸　入居中		圃場散布用堆肥を常時保管	
老朽化の状況	劣化度調査	フード付きガラリダンパー劣化		外内壁ｸﾗｯｸ	
	定期点検	梁ｸﾗｯｸ、非常用照明不良　他		対象外	
	修繕工事	－		－	
	特記				
優先度	建物性能	高		高	
	劣化：年数	高：Ａ異常無	高	高：Ａ異常無	高
	利用度	高		中	
	１次評価	維持管理		維持管理	
	重要性	25：代替施設あり		55：代替施設なし	
	見通し	△15：代替施設あり		△15：多目的利用の可能性なし	
	２次評価	Ⅳ(40点未満)		Ⅲ(50～40点)	
総合判定		修繕・改修	優先度６	維持管理	優先度５
	評価結果	へき地勤務職員の住居確保のため、施設機能を維持。		計画的な維持管理により、施設機能を維持。	

２　対応方針

(1)　**基本的な方針**

計画的な大規模修繕等により長寿命化を図り、施設機能を維持する必要がある。

(2)　**社会経済情勢等の変化への対応**

県北、中山間地域における技術開発及び経営支援並びに北いわての農業を担う人材育成の拠点施設として、適切な維持管理を行っていく。

(3)　**公共施設の有効活用**

有効活用について検討していない。
また、試験研究機関という特殊性から、他用途・多目的の利用には適さない。

３　長寿命化等対策の内容と実施時期

(1)　長寿命化等対策の方向性

経年劣化が見られる箇所のうち、故障等による影響が大きい屋根の補修・塗装、電話交換設備の更新を優先し対策を図る。
建築後20年以上が経過していることから、定期点検や日常点検等により施設の劣化状況の把握に努め、計画的な維持管理により、コスト縮減・財政負担の平準化を図りながら長寿命化を図る。

(2)　対策の内容

区　分	令和２年度(2020年度)	令和３年度(2021年度)	令和４年度(2022年度)	令和５年度(2023年度)	令和６年度(2024年度)
1:本館			屋根補修・塗替		ﾃﾞｼﾞﾀﾙ電話交換機更新
2:車庫			屋根補修・塗替		
3:作物収納舎				屋根補修・塗替	
4:園芸収納舎				屋根補修・塗替	
5:穀物乾燥・作物調査棟				屋根補修・塗替	
6:蚕飼育棟				屋根補修・塗替	
7:肥料・農薬・農具庫					屋根補修・塗替
8:機械格納庫					屋根補修・塗替
9:種苗ﾊｳｽ					屋根補修・塗替
10:種苗ｶﾞﾗｽ温室					屋根補修・塗替
11:堆肥舎	維持管理（劣化状況の把握）→	→	→	→	→
12:吹抜け小屋					屋根補修・塗替
13:公舎		給水ポンプ更新	維持管理（劣化状況の把握）→	→	→
14:堆肥舎	維持管理（劣化状況の把握）→	→	→	→	→

５　概算額

59百万円

【概算費用内訳(令和２年度（2020年度）～令和６年度（2024年度））】

	概算額	内　訳
R2	9,362千円	その他維持補修
R3	4,046千円	その他維持補修
R4	13,046千円	屋根の塗装剥離、錆補修(塗替)等（9,000千円） その他維持補修（4,046千円）
R5	16,046千円	屋根の塗装剥離、錆補修(塗替)等（12,000千円） その他維持補修（4,046千円）
R6	16,046千円	屋根の塗装剥離、錆補修(塗替)等（12,000千円） その他維持補修（4,046千円）

※　試算の一例であること。

個別施設計画（個票）

番号	9	策定年月	令和３年３月	最終更新	令和３年３月
施設名	農業研究センター畜産研究所			財産区分	行政財産
所在地	滝沢市砂込737番１			敷地面積	8,251.47 ㎡

都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	指定なし	用途地域	指定なし

設置目的業務概要等	本県農業生産額の過半を占める畜産業の振興及び畜産農家所得向上のため、効率的な家畜飼養技術の開発に直結する試験研究を行うことを目的に設置。 試験研究に用いる乳牛、肉牛、豚、鶏の飼養管理、家畜に給与する牧草サイレージ用の飼料生産、家畜糞尿の堆肥化処理を実施。

１　施設内建物の概要

番号：名称		１：大型機械格納庫		２：農業機械格納庫		３：育苗室	
構造		鉄骨造		鉄骨造		鉄骨造	
階数		地上 1 階 地下 － 階		地上 1 階 地下 － 階		地上 1 階 地下 － 階	
竣工年		西暦 1968 年 12 月		西暦 1984 年 8 月		西暦 1986 年 2 月	
建築：延床		210.54 ㎡	210.54 ㎡	567.96 ㎡	567.96 ㎡	103.68 ㎡	103.68 ㎡
主な設備		電灯設備 給水設備(水道直結方式)		電灯設備		電灯設備	
主な用途		農機具格納庫		農機具格納庫		種苗生産	
老朽化の状況	劣化度調査	支柱基部腐蝕、一部ｽｲｯﾁ不良		支柱基部腐蝕、一部ｽｲｯﾁ不良		目立った劣化は見られない	
	定期点検	壁仕上材にｸﾗｯｸ		外壁ｼｰﾙ劣化、仕上材破損		対象外	
	修繕工事	－		－		－	
	特記						
優先度	建物性能	中		高		高	
	劣化：年数	高：Ａ異常無	低	高：Ａ異常無	高	高：Ａ異常無	高
	利用度	高		高		高	
	１次評価	維持管理		維持管理		維持管理	
	重要性	75：代替施設なし		75：代替施設なし		75：代替施設なし	
	見通し	△15：多目的利用の可能性なし		△15：多目的利用の可能性なし		△15：多目的利用の可能性なし	
	２次評価	Ⅰ(60点以上)		Ⅰ(60点以上)		Ⅰ(60点以上)	
総合判定		維持管理	優先度２	維持管理	優先度３	維持管理	優先度３
	評価結果	計画的な維持管理により、施設機能を維持。		計画的な維持管理により、施設機能を維持。		計画的な維持管理により、施設機能を維持。	

個別施設計画（個票）

番号	9	策定年月	令和３年３月	最終更新	令和３年３月
施設名	農業研究センター畜産研究所			財産区分	行政財産

1　施設内建物の概要(続き)

番号：名称		4：原種原々種収納舎		5：乳牛舎		6：種苗生産棟	
構造		鉄骨　造		木　造		鉄骨　造	
階数		地上 2 階 地下 － 階		地上 1 階 地下 － 階		地上 1 階 地下 － 階	
竣工年		西暦 1986 年 3 月		西暦 1985 年 9 月		西暦 1987 年 3 月	
建築：延床		749.00 ㎡	899.60 ㎡	661.09 ㎡	661.09 ㎡	124.74 ㎡	124.74 ㎡
主な設備		電灯設備		電灯設備 給水設備(水道直結方式)		電灯設備	
主な用途		収納舎		畜舎		種苗生産	
老朽化の状況	劣化度調査	目立った劣化は見られない		支柱基部腐蝕、一部ｽｲｯﾁ不良		目立った劣化は見られない	
	定期点検	換気扇ｶﾊﾞｰ腐蝕、防水ｼｰﾙ劣化		対象外		指摘なし	
	修繕工事	－		－		－	
	特記						
優先度	建物性能	高		高		高	
	劣化：年数	高：Ａ異常無	高	高：Ａ異常無	高	高：Ａ異常無	高
	利用度	高		高		高	
	１次評価	維持管理		維持管理		維持管理	
	重要性	75：代替施設なし		75：代替施設なし		75：代替施設なし	
	見通し	△15：多目的利用の可能性なし		△15：多目的利用の可能性なし		△15：多目的利用の可能性なし	
	２次評価	Ⅰ(60点以上)		Ⅰ(60点以上)		Ⅰ(60点以上)	
総合判定		維持管理	優先度３	修繕・改修	優先度３	維持管理	優先度３
	評価結果	計画的な維持管理により、施設機能を維持。		建築当時に比べ乳牛の体形が大型化しているため、修繕・改修が必要。		計画的な維持管理により、施設機能を維持。	

個 別 施 設 計 画 （個 票）

番 号	9	策定年月	令和３年３月	最終更新	令和３年３月
施設名	農業研究センター畜産研究所			財産区分	行政財産

１　施設内建物の概要（続き）

		7：成分育種実験棟		8：変異拡大実験棟		9：搾乳牛舎	
番号：名称		7：成分育種実験棟		8：変異拡大実験棟		9：搾乳牛舎	
構 造		鉄骨　造		鉄骨　造		木　造	
階 数		地上 1 階 地下 － 階		地上 1 階 地下 － 階		地上 1 階 地下 － 階	
竣工年		西暦 1992 年 3 月		西暦 1992 年 3 月		西暦 1993 年 3 月	
建築：延床		202.00 ㎡	202.00 ㎡	153.50 ㎡	153.50 ㎡	247.32 ㎡	247.32 ㎡
主な設備		電灯設備		電灯設備		電灯設備 弱電設備 給水設備（水道直結方式） 排水設備（浄化槽） 消火設備（屋内消火栓）	
主な用途		実験室		実験室		畜舎	
老朽化の状況	劣化度調査	目立った劣化は見られない		目立った劣化は見られない		支柱基部腐蝕、一部ｽｲｯﾁ不良、ﾊﾞｰﾝｸﾘｰﾅｰ摩耗	
	定期点検	対象外		対象外		対象外	
	修繕工事	—		—		—	
	特記						
優先度	建物性能	高		高		高	
	劣化：年数	高：Ａ異常無	高	高：Ａ異常無	高	高：Ａ異常無	高
	利用度	高		高		高	
	１次評価	維持管理		維持管理		維持管理	
	重要性	75：代替施設なし		75：代替施設なし		75：代替施設なし	
	見通し	△15：多目的利用の可能性なし		△15：多目的利用の可能性なし		△15：多目的利用の可能性なし	
	２次評価	Ⅰ（60点以上）		Ⅰ（60点以上）		Ⅰ（60点以上）	
総合判定		維持管理	優先度３	維持管理	優先度３	修繕・改修	優先度３
	評価結果	計画的な維持管理により、施設機能を維持。		計画的な維持管理により、施設機能を維持。		建築当時に比べ乳牛の体形が大型化しているため、修繕・改修が必要。	

個　別　施　設　計　画　（個　票）

番　号	9	策定年月	令和３年３月	最終更新	令和３年３月
施設名	農業研究センター畜産研究所			財産区分	行政財産

１　施設内建物の概要（続き）

番号：名称		10：フリーストール牛舎		11：フリーストール牛舎		12：新実験棟	
構　造		木　造		木　造		鉄筋コンクリート　造	
階　数		地上　1　階　地下　－　階		地上　1　階　地下　－　階		地上　1　階　地下　－　階	
竣工年		西暦　1993　年　3　月		西暦　1993　年　3　月		西暦　1993　年　3　月	
建築：延床		299.70　㎡	294.52　㎡	299.70　㎡	294.52　㎡	306.07　㎡	285.76　㎡
主な設備		電灯設備 給水設備(水道直結方式) 消火設備		電灯設備 給水設備(水道直結方式)		電灯設備 冷暖房設備(ｴｱｺﾝ等) 給水設備(水道直結方式) 排水設備(浄化槽) 給湯設備(局所式:ｶﾞｽ湯沸器) ｶﾞｽ設備(液化石油ｶﾞｽ) 消火設備(粉末消火)	
主な用途		畜舎		畜舎		実験室	
老朽化の状況	劣化度調査	支柱基盤腐蝕、一部ｽｲｯﾁ不良		支柱基盤腐蝕、一部ｽｲｯﾁ不良		目立った劣化は見られない	
	定期点検	対象外		対象外		対象外	
	修繕工事	―		―		屋根張替	
	特記						
優先度	建物性能	高		高		高	
	劣化：年数	高：Ａ異常無	高	高：Ａ異常無	高	高：Ａ異常無	高
	利用度	高		高		高	
	１次評価	維持管理		維持管理		維持管理	
	重要性	75：代替施設なし		75：代替施設なし		75：代替施設なし	
	見通し	△15：多目的利用の可能性なし		△15：多目的利用の可能性なし		△15：多目的利用の可能性なし	
	２次評価	Ⅰ(60点以上)		Ⅰ(60点以上)		Ⅰ(60点以上)	
総合判定		修繕・改修	優先度３	修繕・改修	優先度３	修繕・改修	優先度３
	評価結果	建築当時に比べ乳牛の体形が大型化しているため、修繕・改修が必要。		建築当時に比べ乳牛の体形が大型化しているため、修繕・改修が必要。		計画的な大規模修繕等により、施設機能を維持。	

個別施設計画（個票）

番号	9	策定年月	令和３年３月	最終更新	令和３年３月
施設名	農業研究センター畜産研究所			財産区分	行政財産

１　施設内建物の概要（続き）

番号：名称		13：後期世代検定試験棟		14：農機具格納庫		15：隔離豚舎	
構造		鉄骨　造		鉄骨　造		鉄骨　造	
階数		地上 1 階 地下 － 階		地上 1 階 地下 － 階		地上 1 階 地下 － 階	
竣工年		西暦 1993 年 2 月		西暦 1993 年 12 月		西暦 1995 年 9 月	
建築：延床		340.00 ㎡	340.00 ㎡	149.04 ㎡	149.04 ㎡	564.24 ㎡	564.24 ㎡
主な設備		電灯設備 消火設備				受変電設備(屋内形) 電灯設備 給水設備(加圧送水方式) 給湯設備(ｶﾞｽ湯沸器) 消火設備(粉末消火)	
主な用途		実験室		農機具格納庫		畜舎	
老朽化の状況	劣化度調査	目立った劣化は見られない		支柱基部腐蝕、一部ｽｲｯﾁ不良		目立った劣化は見られない	
	定期点検	対象外		屋根裏下地木毛版に漏水ｼﾐ		対象外	
	修繕工事	－		－		－	
	特記						
優先度	建物性能	高		高		高	
	劣化：年数	高：Ａ異常無	高	高：Ａ異常無	高	高：Ａ異常無	高
	利用度	高		高		高	
	１次評価	維持管理		維持管理		維持管理	
	重要性	75：代替施設なし		75：代替施設なし		75：代替施設なし	
	見通し	△15：多目的利用の可能性なし		△15：多目的利用の可能性なし		△15：多目的利用の可能性なし	
	２次評価	Ⅰ(60点以上)		Ⅰ(60点以上)		Ⅰ(60点以上)	
総合判定		維持管理	優先度３	維持管理	優先度３	維持管理	優先度３
	評価結果	計画的な維持管理により、施設機能を維持。		計画的な維持管理により、施設機能を維持。		計画的な維持管理により、施設機能を維持。	

個別施設計画（個票）

番号	9	策定年月	令和３年３月	最終更新	令和３年３月
施設名	農業研究センター畜産研究所			財産区分	行政財産

1　施設内建物の概要（続き）

番号：名称		16: 収納舎飼料庫		17: 肉牛部管理棟		18: 養鶏施設管理棟	
構造		鉄骨　造		鉄骨　造		鉄骨　造	
階数		地上 1 階 地下 － 階		地上 1 階 地下 － 階		地上 1 階 地下 － 階	
竣工年		西暦 1995 年 12 月		西暦 1995 年 12 月		西暦 1995 年 12 月	
建築：延床		194.40 ㎡	194.40 ㎡	125.32 ㎡	116.64 ㎡	264.95 ㎡	257.75 ㎡
主な設備		電灯設備 消火設備（粉末消火）		受変電設備（屋内形） 電灯設備 冷暖房設備（FFｽﾄｰﾌﾞ等） 自動制御設備（個別制御） 給水設備（加圧送水方式） 排水設備（浄化槽） 給湯設備（局所式:ｶﾞｽ湯沸器） ｶﾞｽ設備（液化石油ｶﾞｽ） 消火設備（粉末消火）		受変電設備（屋内形:その他） 電灯設備 冷暖房設備（FFｽﾄｰﾌﾞ・ｴｱｺﾝ等） 給水設備（加圧送水方式） 排水設備（浄化槽） 給湯設備（局所式:ｶﾞｽ湯沸器） ｶﾞｽ設備（液化石油ｶﾞｽ） 消火設備（粉末消火）	
主な用途		収納舎		事務室		事務室	
老朽化の状況	劣化度調査	目立った劣化は見られない		FF式ｽﾄｰﾌﾞ劣化		目立った劣化は見られない	
	定期点検	ｵｰﾊﾞｰｽﾗｲﾀﾞｰ一部破損、内装仕上材一部破損		対象外		対象外	
	修繕工事	―		浴室ﾎﾞｲﾗｰ、室内照明LED化		―	
	特記						
優先度	建物性能	高		高		高	
	劣化：年数	高：A異常無	高	高：A異常無	高	高：A異常無	高
	利用度	高		高		高	
	１次評価	維持管理		維持管理		維持管理	
	重要性	75: 代替施設なし		75: 代替施設なし		75: 代替施設なし	
	見通し	△15: 多目的利用の可能性なし		△15: 多目的利用の可能性なし		△5: 多目的利用の可能性なし	
	２次評価	Ⅰ（60点以上）		Ⅰ（60点以上）		Ⅰ（60点以上）	
総合判定		維持管理	優先度３	維持管理	優先度３	維持管理	優先度３
	評価結果	計画的な維持管理により、施設機能を維持。		計画的な維持管理により、施設機能を維持。		計画的な維持管理により、施設機能を維持。	

個 別 施 設 計 画 （個 票）

番 号	9	策定年月	令和３年３月	最終更新	令和３年３月
施 設 名	農業研究センター畜産研究所			財産区分	行政財産

１　施設内建物の概要(続き)

番号：名称		19：養鶏施設環境育種研究棟		20：養鶏施設育雛研究棟		21：養鶏施設肉卵調査棟	
構 造		鉄骨 造		鉄骨 造		鉄骨 造	
階 数		地上 1 階 地下 － 階		地上 1 階 地下 － 階		地上 1 階 地下 － 階	
竣 工 年		西暦 1995 年 12 月		西暦 1995 年 12 月		西暦 1995 年 12 月	
建築：延床		843.96 ㎡	843.96 ㎡	764.46 ㎡	764.46 ㎡	115.05 ㎡	111.51 ㎡
主な設備		受変電設備(屋内形:その他) 電灯設備 冷暖房設備(ｴｱｺﾝ等) 給水設備(加圧送水方式) 消火設備(粉末消火)		受変電設備(屋内形:その他) 電灯設備 空調・放熱機器 給水設備(加圧送水方式) 給湯設備(局所式) ｶﾞｽ設備(液化石油ｶﾞｽ) 消火設備(粉末消火)		受変電設備(屋内形:その他) 電灯設備 冷暖房設備(FFｽﾄｰﾌﾞ・ｴｱｺﾝ等) 給水設備(加圧送水方式) ｶﾞｽ設備(液化石油ｶﾞｽ) 消火設備(粉末消火)	
主な用途		畜舎		畜舎		実験室	
老朽化の状況	劣化度調査	目立った劣化は見られない		目立った劣化は見られない		目立った劣化は見られない	
	定期点検	対象外		対象外		対象外	
	修繕工事	―		―		―	
	特 記						
優先度	建物性能	高		高		高	
	劣化：年数	高：A異常無	高	高：A異常無	高	高：A異常無	高
	利用度	高		高		高	
	１次評価	維持管理		維持管理		維持管理	
	重要性	75：代替施設なし		75：代替施設なし		75：代替施設なし	
	見通し	△5：多目的利用の可能性なし		△5：多目的利用の可能性なし		△5：多目的利用の可能性なし	
	２次評価	Ⅰ(60点以上)		Ⅰ(60点以上)		Ⅰ(60点以上)	
総合判定		修繕・改修	優先度３	維持管理	優先度３	維持管理	優先度３
	評価結果	計画的な大規模修繕等により、施設機能を維持。		計画的な維持管理により、施設機能を維持。		計画的な維持管理により、施設機能を維持。	

個別施設計画（個票）

番号	9	策定年月	令和３年３月	最終更新	令和３年３月
施設名	農業研究センター畜産研究所			財産区分	行政財産

１　施設内建物の概要(続き)

番号：名称		22：資材庫		23：養鶏施設種鶏研究棟		24：養豚施設分娩哺育舎	
構造		鉄骨　造		鉄骨　造		鉄骨　造	
階数		地上　1　階 地下　－　階		地上　1　階 地下　－　階		地上　1　階 地下　－　階	
竣工年		西暦　1995　年　12　月		西暦　1995　年　12　月		西暦　1995　年　12　月	
建築：延床		114.48　㎡	110.95　㎡	996.19　㎡	996.19　㎡	659.36　㎡	659.36　㎡
主な設備		受変電設備(屋内形:その他) 電灯設備 消火設備(粉末消火)		受変電設備(屋内形:その他) 電灯設備 給水設備(加圧送水方式) 消火設備(粉末消火)		受変電設備(屋内形:ｷｭｰﾋﾞｸﾙ式) 電灯設備 冷暖房設備(FFｽﾄｰﾌﾞ等) 熱源設備(その他) 給水設備(水道直結方式) 排水設備(浄化槽)	
主な用途		収納舎		畜舎		畜舎（分娩・哺育に使用） 最大60頭収容	
老朽化の状況	劣化度調査	目立った劣化は見られない		目立った劣化は見られない		金属壁面一部腐蝕、照明器具一部故障他	
	定期点検	軒下金属ﾊﾟﾈﾙから漏水あり		対象外		対象外	
	修繕工事	－		－		－	
	特記						
優先度	建物性能	高		高		高－	
	劣化：年数	高：Ａ異常無	高	高：Ａ異常無	高	中：Ｂ異常有(経過観察)	高
	利用度	高		高		高	
	１次評価	維持管理		維持管理		維持管理	
	重要性	75：代替施設なし		75：代替施設なし		75：代替施設なし	
	見通し	△5：多目的利用の可能性なし		△5：多目的利用の可能性なし		△15：多目的利用の可能性なし	
	２次評価	Ⅰ(60点以上)		Ⅰ(60点以上)		Ⅰ(60点以上)	
総合判定		維持管理	優先度３	修繕・改修	優先度３	修繕・改修	優先度３
	評価結果	計画的な維持管理により、施設機能を維持。		計画的な大規模修繕等により、施設機能を維持。		計画的な大規模修繕等により、施設機能を維持。	

個 別 施 設 計 画 （個 票）

番　号	9	策定年月	令和３年３月	最終更新	令和３年３月
施 設 名	農業研究センター畜産研究所			財産区分	行政財産

１　施設内建物の概要（続き）

		25：養豚施設環境哺育舎	26：交配豚舎	27：養豚施設雄産肉検定舎
番号：名称		25：養豚施設環境哺育舎	26：交配豚舎	27：養豚施設雄産肉検定舎
構　造		鉄骨　造	鉄骨　造	鉄骨　造
階　数		地上 1 階 地下 － 階	地上 1 階 地下 － 階	地上 1 階 地下 － 階
竣工年		西暦 1995 年 12 月	西暦 1995 年 12 月	西暦 1995 年 12 月
建築：延床		326.48 ㎡ / 326.48 ㎡	318.08 ㎡ / 318.08 ㎡	856.37 ㎡ / 856.37 ㎡
主な設備		受変電設備（屋内形：ｷｭｰﾋﾞｸﾙ式） 電灯設備 冷暖房設備（FFｽﾄｰﾌﾞ等） 熱源設備（その他） 給水設備（水道直結方式） 排水設備（浄化槽）	受変電設備（屋内形：ｷｭｰﾋﾞｸﾙ式） 電灯設備 給水設備（水道直結方式） 排水設備（浄化槽）	受変電設備（屋内形：ｷｭｰﾋﾞｸﾙ式） 電灯設備 冷暖房設備（FFｽﾄｰﾌﾞ等） 熱源設備（その他） 給水設備（水道直結方式） 排水設備（浄化槽） ｶﾞｽ設備（液化石油ｶﾞｽ）
主な用途		畜舎（分娩・哺育に使用） 最大20頭収容 ※2020.2現在　倉庫として使用	畜舎（繁養に使用） 約10頭収容	畜舎（育成・肥育豚繁養に使用） 最大200頭収容
老朽化の状況	劣化度調査	金属壁面一部腐蝕、照明器具一部故障他	金属壁面一部腐蝕、照明器具一部故障他	金属壁面一部腐蝕、照明器具一部故障他
	定期点検	対象外	対象外	対象外
	修繕工事	―	―	―
	特　記			
優先度	建物性能	高ー	高ー	高ー
	劣化：年数	中：Ｂ異常有（経過観察） / 高	中：Ｂ異常有（経過観察） / 高	中：Ｂ異常有（経過観察） / 高
	利用度	高	高	高
	１次評価	維持管理	維持管理	維持管理
	重要性	75：代替施設なし	75：代替施設なし	75：代替施設なし
	見通し	△15：多目的利用の可能性なし	△15：多目的利用の可能性なし	△15：多目的利用の可能性なし
	２次評価	Ⅰ（60点以上）	Ⅰ（60点以上）	Ⅰ（60点以上）
総合判定		維持管理 / 優先度３	維持管理 / 優先度３	維持管理 / 優先度３
	評価結果	計画的な維持管理により、施設機能を維持。	計画的な維持管理により、施設機能を維持。	計画的な維持管理により、施設機能を維持。

個 別 施 設 計 画 （個 票）

番 号	9	策定年月	令和３年３月	最終更新	令和３年３月
施 設 名	農業研究センター畜産研究所			財産区分	行政財産

１　施設内建物の概要(続き)

番号：名称		28：養豚施設雌検定舎		29：円形発酵槽棟		30：堆肥熟成場	
構 造		鉄骨 造		鉄骨 造		鉄骨 造	
階 数		地上 1 階 地下 － 階		地上 1 階 地下 － 階		地上 1 階 地下 － 階	
竣 工 年		西暦 1995 年 12 月		西暦 1996 年 3 月		西暦 1996 年 3 月	
建築：延床		573.39 ㎡	573.39 ㎡	540.00 ㎡	540.00 ㎡	400.00 ㎡	400.00 ㎡
主な設備		受変電設備(屋内形:ｷｭｰﾋﾞｸﾙ式) 電灯設備 冷暖房設備(FFｽﾄｰﾌﾞ等) 熱源設備(その他) 給水設備(水道直結方式) 排水設備(浄化槽) ｶﾞｽ設備(液化石油ｶﾞｽ)					
主な用途		畜舎(育成・繁養に使用) 最大150頭収容		堆肥処理施設		堆肥舎	
老朽化の状況	劣化度調査	金属壁面一部腐蝕、照明器具一部故障他		支柱基部腐蝕、一部ｽｲｯﾁ不良他		支柱基部腐蝕、一部ｽｲｯﾁ不良	
	定期点検	対象外		対象外		対象外	
	修繕工事	―		車輪、撹拌ﾊﾞｰ、ﾁｪｰﾝ・ｷﾞｱ		―	
	特記						
優先度	建物性能	高－		高		高	
	劣化：年数	中：Ｂ異常有(経過観察)	高	高：Ａ異常無	高	高：Ａ異常無	高
	利用度	高		高		高	
	１次評価	維持管理		維持管理		維持管理	
	重要性	75：代替施設なし		75：代替施設なし		75：代替施設なし	
	見通し	△15：多目的利用の可能性なし		△15：多目的利用の可能性なし		△15：多目的利用の可能性なし	
	２次評価	Ⅰ(60点以上)		Ⅰ(60点以上)		Ⅰ(60点以上)	
総合判定		維持管理	優先度３	修繕・改修	優先度３	修繕・改修	優先度３
	評価結果	計画的な維持管理により、施設機能を維持。		堆肥処理過程で異音の発生が見られ、修繕・改修が必要。		糞尿から発生するアンモニア等による腐食が見られ、修繕・改修が必要。	

個　別　施　設　計　画　（個　票）

番　号	9	策定年月	令和３年３月	最終更新	令和３年３月
施設名	農業研究センター畜産研究所			財産区分	行政財産

1　施設内建物の概要（続き）

番号：名称		31：製品置場		32：肉質調査棟（養豚）		33：種雄牛舎	
構　造		鉄骨　造		鉄骨　造		木　造	
階　数		地上 1 階 地下 － 階		地上 1 階 地下 － 階		地上 1 階 地下 － 階	
竣工年		西暦 1996 年 3 月		西暦 1996 年 3 月		西暦 1995 年 9 月	
建築：延床		400.00 ㎡	400.00 ㎡	169.10 ㎡	169.10 ㎡	449.80 ㎡	430.92 ㎡
主な設備				受変電設備（屋内形：ｷｭｰﾋﾞｸﾙ式） 電灯設備 冷暖房設備（FFｽﾄｰﾌﾞ・ｴｱｺﾝ等） 空調機器（ﾕﾆｯﾄ形） 給水設備（水道直結方式） 排水設備（浄化槽） 給湯設備（局所式：ｶﾞｽ湯沸器）		受変電設備（屋内形） 電灯設備 給湯設備（加圧送水方式） 給湯設備（ｶﾞｽ湯沸器） ｶﾞｽ設備（液化石油ｶﾞｽ） 消火設備（粉末消火）	
主な用途		貯蔵庫（堆肥）		作業室（豚の枝肉調査に使用）		畜舎	
老朽化の状況	劣化度調査	支柱基部腐蝕、一部ｽｲｯﾁ不良		目立った劣化は見られない		ｼｬｯﾀｰ不具合	
	定期点検	鉄骨柱ｸﾗｯｸ、軒天上仕上材及び外壁に剥離		対象外		ｼｬｯﾀｰ不具合	
	修繕工事	－		－		－	
	特記						
優先度	建物性能	高		高－		高－	
	劣化：年数	高：Ａ異常無	高	中：Ｂ異常有（経過観察）	高	中：Ｂ異常有（経過観察）	高
	利用度	高		高		高	
	１次評価	維持管理		維持管理		維持管理	
	重要性	75：代替施設なし		75：代替施設なし		75：代替施設なし	
	見通し	△15：多目的利用の可能性なし		△15：多目的利用の可能性なし		△15：多目的利用の可能性なし	
	２次評価	Ⅰ（60点以上）		Ⅰ（60点以上）		Ⅰ（60点以上）	
総合判定		修繕・改修	優先度３	維持管理	優先度３	維持管理	優先度３
	評価結果	糞尿から発生するアンモニア等による腐食が見られ、修繕・改修が必要。		計画的な維持管理により、施設機能を維持。		計画的な維持管理により、施設機能を維持。	

個 別 施 設 計 画 （個 票）

番 号	9	策定年月	令和３年３月	最終更新	令和３年３月
施設名	農業研究センター畜産研究所			財産区分	行政財産

１　施設内建物の概要(続き)

番号：名称	34: 直接検定牛舎		35: 間接検定牛舎		36: 多胎妊娠牛舎	
構　造	木　造		木　造		木　造	
階　数	地上 1 階 地下 － 階		地上 1 階 地下 － 階		地上 1 階 地下 － 階	
竣工年	西暦 1995 年 12 月		西暦 1995 年 9 月		西暦 1995 年 12 月	
建築：延床	698.56 ㎡	673.92 ㎡	805.45 ㎡	777.24 ㎡	412.72 ㎡	393.66 ㎡
主な設備	受変電設備(屋内形) 電灯設備 給水設備(加圧送水方式) 消火設備(粉末消火)		受変電設備(屋内形) 電灯設備 給水設備(加圧送水方式) 消火設備(粉末消火)		電灯設備 冷暖房設備(FFｽﾄｰﾌﾞ等) 給水設備(加圧送水方式) 給湯設備(ｶﾞｽ湯沸器) ｶﾞｽ設備(液化石油ｶﾞｽ) 消火設備(粉末消火)	
主な用途	畜舎		畜舎		畜舎	
老朽化の状況：劣化度調査	目立った劣化は見られない		排水ﾗｲﾝ漏水、排水つまり		目立った劣化は見られない	
老朽化の状況：定期点検	対象外		漏水、排水つまり		対象外	
老朽化の状況：修繕工事	—		—		—	
老朽化の状況：特記						
優先度：建物性能	高		高		高	
優先度：劣化：年数	高：Ａ異常無	高	高：Ａ異常無	高	高：Ａ異常無	高
優先度：利用度	高		高		高	
優先度：１次評価	維持管理		維持管理		維持管理	
優先度：重要性	75: 代替施設なし		75: 代替施設なし		75: 代替施設なし	
優先度：見通し	△15: 多目的利用の可能性なし		△15: 多目的利用の可能性なし		△5: 多目的利用の可能性なし	
優先度：２次評価	Ⅰ(60点以上)		Ⅰ(60点以上)		Ⅰ(60点以上)	
総合判定	維持管理	優先度３	維持管理	優先度３	維持管理	優先度３
評価結果	計画的な維持管理により、施設機能を維持。		計画的な維持管理により、施設機能を維持。		計画的な維持管理により、施設機能を維持。	

個　別　施　設　計　画　（個　票）

番　号	9	策定年月	令和３年３月	最終更新	令和３年３月
施設名	農業研究センター畜産研究所			財産区分	行政財産

１　施設内建物の概要(続き)

番号：名称		37：哺育育成牛舎		38：肥育試験牛舎		39：育成試験牛舎	
構　造		木　造		木　造		木　造	
階　数		地上　1　階 地下　－　階		地上　1　階 地下　－　階		地上　1　階 地下　－　階	
竣工年		西暦　1995　年　12　月		西暦　1995　年　12　月		西暦　1995　年　9　月	
建築：延床		312.82　㎡	296.46　㎡	730.24　㎡	699.84　㎡	695.68　㎡	667.44　㎡
主な設備		電灯設備 給水設備(加圧送水方式) 消火設備(粉末消火)		受変電設備(屋内形) 電灯設備 給水設備(加圧送水方式) 給湯設備(局所式：無圧式温水発生器) 消火設備(粉末消火)		受変電設備(屋内形) 電灯設備 給水設備(加圧送水方式) 消火設備(粉末消火)	
主な用途		畜舎		畜舎		畜舎	
老朽化の状況	劣化度調査	目立った劣化は見られない		ﾊﾟﾄﾞｯｸ屋根倒壊		漏水	
	定期点検	対象外		対象外		対象外	
	修繕工事	—		—		ｳｫｰﾀｰｶｯﾌﾟ	
	特記						
優先度	建物性能	高		高		高	
	劣化：年数	高：Ａ異常無	高	高：Ａ異常無	高	高：Ａ異常無	高
	利用度	高		高		高	
	１次評価	維持管理		維持管理		維持管理	
	重要性	75：代替施設なし		75：代替施設なし		75：代替施設なし	
	見通し	△5：多目的利用の可能性なし		△15：多目的利用の可能性なし		△15：多目的利用の可能性なし	
	２次評価	Ⅰ(60点以上)		Ⅰ(60点以上)		Ⅰ(60点以上)	
総合判定		維持管理	優先度３	修繕・改修	優先度３	維持管理	優先度３
	評価結果	計画的な維持管理により、施設機能を維持。		計画的な大規模修繕等により、施設機能を維持。		計画的な維持管理により、施設機能を維持。	

個 別 施 設 計 画 （個 票）

番 号	9	策定年月	令和３年３月	最終更新	令和３年３月
施設名	農業研究センター畜産研究所			財産区分	行政財産

１　施設内建物の概要（続き）

番号：名称		40：西公舎16・17号		41：西公舎18・19号		42：西公舎20・21号	
構　造		木　造		木　造		木　造	
階　数		地上 1 階 地下 － 階		地上 1 階 地下 － 階		地上 1 階 地下 － 階	
竣工年		西暦 1997 年 1 月		西暦 1997 年 1 月		西暦 1997 年 1 月	
建築：延床		134.64 ㎡	134.64 ㎡	134.64 ㎡	134.64 ㎡	134.64 ㎡	134.64 ㎡
主な設備		電灯設備 給水設備（水道直結方式） 給湯設備（局所式:ｶﾞｽ湯沸器） ｶﾞｽ設備（液化石油ｶﾞｽ）		電灯設備 給水設備（水道直結方式） 給湯設備（局所式:ｶﾞｽ湯沸器） ｶﾞｽ設備（液化石油ｶﾞｽ）		電灯設備 給水設備（水道直結方式） 給湯設備（局所式:ｶﾞｽ湯沸器） ｶﾞｽ設備（液化石油ｶﾞｽ）	
主な用途		職員公舎 16号棟:入居中 17号棟:空室（H27～）		職員公舎 18号棟:入居中 19号棟:入居中		職員公舎 20号棟:入居中 21号棟:入居中	
老朽化の状況	劣化度調査	目立った劣化は見られない		目立った劣化は見られない		目立った劣化は見られない	
	定期点検	対象外		対象外		対象外	
	修繕工事	—		—		—	
	特記						
優先度	建物性能	高		高		高	
	劣化：年数	高：Ａ異常無	高	高：Ａ異常無	高	高：Ａ異常無	高
	利用度	高		高		高	
	１次評価	維持管理		維持管理		維持管理	
	重要性	40：代替施設あり		45：代替施設あり		45：代替施設あり	
	見通し	△20：代替施設あり		△15：代替施設あり		△15：代替施設あり	
	２次評価	Ⅳ（40点未満）		Ⅳ（40点未満）		Ⅳ（40点未満）	
総合判定		維持管理	優先度６	維持管理	優先度６	維持管理	優先度６
	評価結果	施設機能の維持が必要。		施設機能の維持が必要。		施設機能の維持が必要。	

個別施設計画（個票）

番号	9	策定年月	令和３年３月	最終更新	令和３年３月
施設名	農業研究センター畜産研究所			財産区分	行政財産

１　施設内建物の概要（続き）

番号：名称		43：西公舎22・23号		44：西公舎24・25号		45：西公舎26・27号	
構造		木造		木造		木造	
階数		地上 1 階 地下 － 階		地上 1 階 地下 － 階		地上 1 階 地下 － 階	
竣工年		西暦 1997 年 1 月		西暦 1997 年 1 月		西暦 1997 年 1 月	
建築：延床		134.64 ㎡	134.64 ㎡	134.64 ㎡	134.64 ㎡	134.64 ㎡	134.64 ㎡
主な設備		電灯設備 給水設備（水道直結方式） 給湯設備（局所式：ｶﾞｽ湯沸器） ｶﾞｽ設備（液化石油ｶﾞｽ）		電灯設備 給水設備（水道直結方式） 給湯設備（局所式：ｶﾞｽ湯沸器） ｶﾞｽ設備（液化石油ｶﾞｽ）		電灯設備 給水設備（水道直結方式） 給湯設備（局所式：ｶﾞｽ湯沸器） ｶﾞｽ設備（液化石油ｶﾞｽ）	
主な用途		職員公舎 22号棟：入居中 23号棟：空室 （H28～）		職員公舎 24号棟：空室 （H18～） 25号棟：入居中		職員公舎 26号棟：空室 （H31～） 27号棟：空室 （H24～）	
老朽化の状況	劣化度調査	目立った劣化は見られない		目立った劣化は見られない		目立った劣化は見られない	
	定期点検	対象外		対象外		対象外	
	修繕工事	―		―		―	
	特記						
優先度	建物性能	高		高		高	
	劣化：年数	高：Ａ異常無	高	高：Ａ異常無	高	高：Ａ異常無	高
	利用度	高		高		高	
	１次評価	維持管理		維持管理		維持管理	
	重要性	40：代替施設あり		40：代替施設あり		40：代替施設あり	
	見通し	△20：代替施設あり		△20：代替施設あり		△20：代替施設あり	
	２次評価	Ⅳ（40点未満）		Ⅳ（40点未満）		Ⅳ（40点未満）	
総合判定		維持管理	優先度６	維持管理	優先度６	維持管理	優先度６
	評価結果	施設機能の維持が必要。		施設機能の維持が必要。		施設機能の維持が必要。	

個 別 施 設 計 画 （個 票）

番　号	9	策定年月	令和３年３月	最終更新	令和３年３月
施設名	農業研究センター畜産研究所			財産区分	行政財産

１　施設内建物の概要（続き）

番号：名称	46：西公舎28-30号		47：車庫		48：乾燥舎１号棟（牛）	
構　造	木　造		鉄骨　造		鉄骨　造	
階　数	地上 1 階 地下 － 階		地上 1 階 地下 － 階		地上 1 階 地下 － 階	
竣工年	西暦 1997 年 1 月		西暦 1998 年 3 月		西暦 1998 年 3 月	
建築：延床	135.39 ㎡	135.39 ㎡	198.59 ㎡	187.29 ㎡	448.00 ㎡	360.00 ㎡
主な設備	電灯設備 給水設備（水道直結方式） 給湯設備（局所式：ｶﾞｽ湯沸器） ｶﾞｽ設備（液化石油ｶﾞｽ）		電灯設備 消火設備（粉末消火）			
主な用途	職員公舎 28号棟：入居中 29号棟：空室 （H28～） 30号棟：空室 （H27～）		車庫			
老朽化の状況　劣化度調査	目立った劣化は見られない		目立った劣化は見られない		ﾜｲﾔｰほつれ・開閉不可	
老朽化の状況　定期点検	対象外		ｶﾞｰﾄﾞﾎﾟｰﾙ発錆		ﾜｲﾔｰほつれ	
老朽化の状況　修繕工事	—		—		—	
老朽化の状況　特記						
優先度　建物性能	高		高		高	
優先度　劣化：年数	高：Ａ異常無	高	高：Ａ異常無	高	高：Ａ異常無	高
優先度　利用度	高		高		高	
優先度　１次評価	維持管理		維持管理		維持管理	
優先度　重要性	40：代替施設あり		75：代替施設なし		75：代替施設なし	
優先度　見通し	△20：代替施設あり		△15：多目的利用の可能性なし		△15：多目的利用の可能性なし	
優先度　２次評価	Ⅳ（40点未満）		Ⅰ（60点以上）		Ⅰ（60点以上）	
総合判定	維持管理	優先度６	維持管理	優先度３	維持管理	優先度３
評価結果	施設機能の維持が必要。		計画的な維持管理により、施設機能を維持。		計画的な維持管理により、施設機能を維持。	

個　別　施　設　計　画　（個　票）

番　号	9	策定年月	令和３年３月	最終更新	令和３年３月
施設名	農業研究センター畜産研究所			財産区分	行政財産

１　施設内建物の概要(続き)

番号：名称		49：搾乳棟		50：休息棟		51：庁舎	
構　造		木　　造		木　　造		鉄筋コンクリート　造	
階　数		地上　1　階 地下　－　階		地上　1　階 地下　－　階		地上　2　階 地下　－　階	
竣工年		西暦　1998　年　3　月		西暦　1998　年　3　月		西暦　1998　年　6　月	
建築：延床		138.49　㎡	133.39　㎡	288.00　㎡	288.00　㎡	1,267.77　㎡	2,238.26　㎡
主な設備		電灯設備 給水設備(水道直結方式)		電灯設備		受変電設備(ｷｭｰﾋﾞｸﾙ式) 発電設備(ﾃﾞｨｰｾﾞﾙ)、電灯設備 自動火災報知設備、非常警報設備 構内交換設備 弱電設備(電気時計、拡声他) ｴﾚﾍﾞｰﾀｰ設備(人荷用EV) 冷暖房設備(中央式冷暖房、ｴｱｺﾝ等) 熱源設備(真空式温水発生器、冷却塔(密閉式)) 空調機器(ﾕﾆｯﾄ形) 自動制御設備(個別制御) 給水設備(加圧送水方式) 排水設備(浄化槽) 給湯設備(局所式:ｶﾞｽ湯沸器) ｶﾞｽ設備(液化石油ｶﾞｽ) 消火設備(粉末消火)	
主な用途		作業室		畜舎		事務室	
老朽化の状況	劣化度調査	支柱基部腐蝕、一部ｽｲｯﾁ不良		支柱基部腐蝕、一部ｽｲｯﾁ不良		窓開閉不良、ｷｭｰﾋﾞｸﾙ外壁一部腐蝕他	
	定期点検	対象外		対象外		指摘なし	
	修繕工事	―		―		自動火災報知設備	
	特記						
優先度	建物性能	高		高		高	
	劣化：年数	高：Ａ異常無	高	高：Ａ異常無	高	高：Ａ異常無	高
	利用度	高		高		高	
	１次評価	維持管理		維持管理		維持管理	
	重要性	75：代替施設なし		75：代替施設なし		75：代替施設なし	
	見通し	△15：多目的利用の可能性なし		△15：多目的利用の可能性なし		△15：多目的利用の可能性なし	
	２次評価	Ⅰ(60点以上)		Ⅰ(60点以上)		Ⅰ(60点以上)	
総合判定		修繕・改修	優先度３	修繕・改修	優先度３	修繕・改修	優先度３
	評価結果	建築当時に比べ乳牛の体形が大型化しているため、修繕・改修が必要。		経年劣化による壁、柱等の損耗が見られ、修繕・改修が必要。		計画的な大規模修繕等により、施設機能を維持。	

個 別 施 設 計 画 （個 票）

番　号	9	策定年月	令和３年３月	最終更新	令和３年３月
施設名	農業研究センター畜産研究所			財産区分	行政財産

１　施設内建物の概要（続き）

番号：名称		52：種豚舎		53：乾草庫２号棟（乳）	
構　造		鉄骨　造		鉄骨　造	
階　数		地上　1　階 地下　－　階		地上　1　階 地下　－　階	
竣工年		西暦　1995　年　12　月		西暦　1998　年　3　月	
建築：延床		624.91 ㎡	624.91 ㎡	416.00 ㎡	360.00 ㎡
主な設備		受変電設備（屋内形：ｷｭｰﾋﾞｸﾙ式） 電灯設備 給水設備（水道直結方式） 排水設備（浄化槽）		電灯設備 消火設備（粉末消火）	
主な用途		畜舎（雌豚雄豚を繁養に使用） 約30頭収容		貯蔵庫（乾草及び作業機の保管） 保管供給通年	
老朽化の状況	劣化度調査	内壁ｳﾚﾀﾝ剥がれ、照明器具一部故障他		目立った劣化は見られない	
	定期点検	対象外		外壁材一部欠損、屋根及び柱発錆	
	修繕工事	—		—	
	特記				
優先度	建物性能	高一		高	
	劣化：年数	中：Ｂ異常有（経過観察）	高	高：Ａ異常無	高
	利用度	高		高	
	１次評価	維持管理		維持管理	
	重要性	75：代替施設なし		75：代替施設なし	
	見通し	△15：多目的利用の可能性なし		△15：多目的利用の可能性なし	
	２次評価	Ⅰ（60点以上）		Ⅰ（60点以上）	
総合判定		修繕・改修	優先度３	維持管理	優先度３
	評価結果	計画的な大規模修繕等により、施設機能を維持。		計画的な維持管理により、施設機能を維持。	

２　対応方針

(1)　**基本的な方針**

適切な試験研究環境を確保し、畜産研究所の試験研究の推進に資するため、計画的な大規模修繕等により長寿命化を図り、施設機能を維持する。

(2)　**社会経済情勢等の変化への対応**

家畜の飼養技術開発の拠点となる施設を適切に維持管理し、岩手県の農業産出額の過半を占める畜産業の振興に寄与する。

(3)　**公共施設の有効活用**

有効活用について検討していない。
また、試験研究機関という特殊性から、他用途・多目的の利用には適さない。

３　長寿命化等対策の内容と実施時期

(1)　長寿命化等対策の方向性

経年劣化が見られる箇所のうち、緊急性が高く故障による影響が大きい「堆肥処理施設」や「豚舎及び鶏舎の除糞機」等の修繕、「本館実験室等の空調設備」の更新を優先し対策を図る。
当所開設時に向けて整備された設備でも20年以上経過、旧畜産試験場及び旧農業試験場から引き継いだ設備の中には、50年以上経過しているものもあるため、定期点検や日常点検等により施設の劣化状況の把握に努め、計画的な維持管理により、コスト縮減・財政負担の平準化を図りながら長寿命化を図る。

(2)　対策の内容

区　分	令和２年度(2020年度)	令和３年度(2021年度)	令和４年度(2022年度)	令和５年度(2023年度)	令和６年度(2024年度)
1:大型機械格納庫	維持管理（劣化状況の把握）→				
2:農業機械格納庫	維持管理（劣化状況の把握）→				
3:育苗室	維持管理（劣化状況の把握）→				
4:原種原々種格納庫	維持管理（劣化状況の把握）→				
5:乳牛舎	維持管理（劣化状況の把握）、大規模修繕計画の検討→				
6:種苗生産棟	維持管理（劣化状況の把握）→				
7:成分育種実験棟	維持管理（劣化状況の把握）→				
8:変異拡大実験棟	維持管理（劣化状況の把握）→				
9:搾乳牛舎	維持管理（劣化状況の把握）、大規模修繕計画の検討→				
10:ﾌﾘｰｽﾄｰﾙ牛舎			床・給水機等修繕		
11:ﾌﾘｰｽﾄｰﾙ牛舎			床・給水機等修繕		
12:体外受精技術研究棟（新実験棟）					床 面 修 繕
13:後期世代検定試験棟	維持管理（劣化状況の把握）→				
14:農機具格納庫	維持管理（劣化状況の把握）→				
15:隔離豚舎	維持管理（劣化状況の把握）→				
16:収納舎飼料庫	維持管理（劣化状況の把握）→				

(2)　対策の内容　続き

区　分	令和２年度 (2020年度)	令和３年度 (2021年度)	令和４年度 (2022年度)	令和５年度 (2023年度)	令和６年度 (2024年度)
17:肉牛部管理棟	維持管理（劣化状況の把握）				
18:養鶏施設管理棟	維持管理（劣化状況の把握）				
19:養鶏施設環境育種研究棟		除糞機修繕		床　面　修　繕	
20:養鶏施設育雛研究棟	維持管理（劣化状況の把握）				
21:養鶏施設肉卵調査棟	維持管理（劣化状況の把握）				
22:資材庫	維持管理（劣化状況の把握）				
23:養鶏施設種鶏研究棟		除糞機修繕		床　面　修　繕	
24:養豚施設分娩哺育舎		除糞機修繕			
25:養豚施設環境哺育舎	維持管理（劣化状況の把握）				
26:交配豚舎	維持管理（劣化状況の把握）				
27:養豚施設雄産肉検定舎	維持管理（劣化状況の把握）				
28:養豚施設雌検定舎	維持管理（劣化状況の把握）				
29:円形醗酵槽棟		撹拌機の修繕			
30:堆肥熟成場	維持管理（劣化状況の把握）、大規模修繕計画の検討				
31:製品置場	維持管理（劣化状況の把握）、大規模修繕計画の検討				
32:肉質調査棟（養豚）	維持管理（劣化状況の把握）				
33:種雄牛舎	維持管理（劣化状況の把握）				
34:直接検定牛舎	維持管理（劣化状況の把握）				
35:間接検定牛舎	維持管理（劣化状況の把握）				
36:多胎妊娠牛舎	維持管理（劣化状況の把握）				
37:哺育育成牛舎	維持管理（劣化状況の把握）				
38:肥育試験牛舎					屋　根　修　繕
39:育成試験牛舎	維持管理（劣化状況の把握）				
40:西公舎16.17号	維持管理（劣化状況の把握）				
41:西公舎18.19号	維持管理（劣化状況の把握）				
42:西公舎20.21号	維持管理（劣化状況の把握）				

(2)　対策の内容　続き

区　分	令和２年度（2020年度）	令和３年度（2021年度）	令和４年度（2022年度）	令和５年度（2023年度）	令和６年度（2024年度）
43:西公舎22.23号	維持管理（劣化状況の把握）				
44:西公舎24.25号	維持管理（劣化状況の把握）				
45:西公舎26.27号	維持管理（劣化状況の把握）				
46:西公舎28－30号	維持管理（劣化状況の把握）				
47:車庫	維持管理（劣化状況の把握）				
48:乾草庫１号棟（牛）	維持管理（劣化状況の把握）				
49:搾乳棟	維持管理（劣化状況の把握）、大規模修繕計画の検討				
50:休息棟	維持管理（劣化状況の把握）				
51:庁舎	変圧器更新	空調設備更新ほか	高圧受電盤更新	防水シート更新	冷温水器更新ほか
52:種豚舎		除糞機修繕			
53:乾草庫２号棟（乳）	維持管理（劣化状況の把握）				

４　概算額

211百万円

【概算費用内訳(令和２年度（2020年度）～令和６年度（2024年度））】

	概算額	内　訳
R2	13,887千円	受電設備更新（6,211千円） その他維持補修（7,676千円）
R3	45,613千円	高圧受電設備更新（6,012千円） 空調設備更新（8,130千円） 堆肥化処理施設修繕（11,240千円） 除糞機修繕（9,543千円） その他維持補修（10,688千円）
R4	40,788千円	床・給水機等改修（10,000千円） 高圧受電設備更新（20,100千円） その他維持補修（10,688千円）
R5	51,088千円	防水工事（33,600千円） 床面修繕（6,800千円） その他維持補修（10,688千円）
R6	59,588千円	高圧受電設備更新（10,100千円） 冷温水機更新（17,700千円） 電話交換機更新（2,800千円） パドック屋根修繕（17,300千円） 床面修繕（1,000千円） その他維持補修（10,688千円）

※　試算の一例であること。

個 別 施 設 計 画 （個 票）

番 号	10	策定年月	令和３年３月	最終更新	令和３年３月
施設名	農業研究センター畜産研究所 外山研究室			財産区分	行政財産
所在地	盛岡市薮川字大の平40番			敷地面積	45,164.06 ㎡
都市計画区域	都市計画区域外	防火地域	指定なし	用途地域	用途指定なし
設置目的 業務概要 等	本県農業生産額の過半を占める畜産業の振興及び畜産農家所得向上のため、効率的な家畜飼養技術の開発に直結する試験研究を行うことを目的に設置。 試験研究に用いる肉用牛の飼養管理、農家から寄託された牛馬の放牧、衛生管理を実施。				

１　施設内建物の概要

番号：名称		1: 農具庫及び肥料庫		2: 化学実験室		3: 畜舎	
構造		鉄骨 造		コンクリートブロック 造		木 造	
階数		地上 1 階 地下 － 階		地上 1 階 地下 － 階		地上 1 階 地下 － 階	
竣工年		西暦 1968 年 12 月		西暦 1971 年 3 月		西暦 1978 年 1 月	
建築：延床		283.50 ㎡	283.50 ㎡	220.68 ㎡	220.68 ㎡	224.95 ㎡	224.95 ㎡
主な設備		電灯設備 給水設備 消火設備（粉末消火）		受変電設備（屋外形） 電灯設備 冷暖房設備（FFｽﾄｰﾌﾞ等） 給水設備 給湯設備（ｶﾞｽ湯沸器） ｶﾞｽ設備（液化石油ｶﾞｽ） 消火設備（粉末消火）		受変電設備（屋内形） 電灯設備 給水設備	
主な用途		倉庫（ﾄﾗｸﾀｰ等重要物品の保管等）		実験室（牧草の水分測定） 保管庫（牛馬治療用薬剤）		畜舎（機械類の保管）	
老朽化の状況	劣化度調査	アンカーボルト及びベース発錆		目立った劣化は見られない		目立った劣化は見られない	
	定期点検	屋根裏貼材剥離、鉄骨部材等発錆、ブレースの一部切断		対象外		対象外	
	修繕工事	－		－		－	
	特記						
優先度	建物性能	低＋		高－		高－	
	劣化：年数	中：Ｂ異常有（経過観察）	低	高：Ａ異常無	中	高：Ａ異常無	中
	利用度	高		高		高	
	１次評価	修繕・改修		維持管理		維持管理	
	重要性	75: 代替施設なし		75: 代替施設なし		75: 代替施設なし	
	見通し	△15: 多目的利用の可能性なし		△15: 多目的利用の可能性なし		△15: 多目的利用の可能性なし	
	２次評価	Ⅰ（60点以上）		Ⅰ（60点以上）		Ⅰ（60点以上）	
総合判定		維持管理	優先度１	維持管理	優先度３	維持管理	優先度３
	評価結果	計画的な維持管理により、施設機能を維持。		計画的な維持管理により、施設機能を維持。		計画的な維持管理により、施設機能を維持。	

個 別 施 設 計 画 （個 票）

番 号	10	策定年月	令和３年３月	最終更新	令和３年３月
施設名	農業研究センター畜産研究所 外山研究室			財産区分	行政財産

１　施設内建物の概要（続き）

番号：名称		4: 農具庫		5: 病畜舎		6: 研修館	
構造		鉄骨　造		鉄骨　造		鉄筋コンクリート　造	
階数		地上 1 階 地下 － 階		地上 1 階 地下 － 階		地上 1 階 地下 － 階	
竣工年		西暦 1980 年 3 月		西暦 1980 年 3 月		西暦 1980 年 12 月	
建築：延床		193.50 ㎡	193.50 ㎡	129.60 ㎡	129.60 ㎡	244.00 ㎡	244.00 ㎡
主な設備		電灯設備 給水設備		電灯設備 給水設備 給湯設備（ｶﾞｽ湯沸器） ｶﾞｽ設備（液化石油ｶﾞｽ） 消火設備（粉末消火）		受変電設備（屋内形） 電灯設備 弱電設備（ﾃﾚﾋﾞ共同受信） 冷暖房方式（FFｽﾄｰﾌﾞ等） 給水設備 給湯設備（ｶﾞｽ湯沸器） ｶﾞｽ設備（液化石油ｶﾞｽ） 消火設備（粉末消火）	
主な用途		農具庫（牧草地管理機材や公用車の保管等）		畜舎（病気やけがの放牧牛の隔離施設）		事務室兼研修施設（飼養管理等）	
老朽化の状況	劣化度調査	基礎、鉄骨躯体が劣化、損傷		目立った劣化は見られない		屋根腐食、外壁ｸﾗｯｸ、天井雨漏り	
	定期点検	鉄骨部材等腐蝕、ｼｬｯﾀｰｹｰｽ発錆		対象外		指摘なし	
	修繕工事	―		―		屋根、照明器具（LED化）	
	特記						
優先度	建物性能	中		高－		高－	
	劣化：年数	中：Ｂ異常有（経過観察）	中	高：Ａ異常無	中	高：Ａ異常無	中
	利用度	高		低		高	
	１次評価	維持管理		転用・複合化		維持管理	
	重要性	75: 代替施設なし		65: 需要なし		75: 代替施設なし	
	見通し	△15: 多目的利用の可能性なし		△15: 多目的利用の可能性なし		△15: 多目的利用の可能性なし	
	２次評価	Ⅰ（60点以上）		Ⅱ（60～50点）		Ⅰ（60点以上）	
総合判定		維持管理	優先度２	用途廃止	優先度４	修繕・改修	優先度３
	評価結果	計画的な維持管理により、施設機能を維持。		使用見込がないため、用途廃止が妥当。		計画的な大規模修繕等により、施設機能を維持。	

個 別 施 設 計 画 （個 票）

番　号	10	策定年月	令和３年３月	最終更新	令和３年３月
施設名	農業研究センター畜産研究所 外山研究室			財産区分	行政財産

１　施設内建物の概要（続き）

番号：名称	7: 分娩舎	8: 堆肥舎	9: 乾草庫
構　造	鉄骨　造	木　造	鉄骨　造
階　数	地上 1 階 地下 － 階	地上 1 階 地下 － 階	地上 1 階 地下 － 階
竣工年	西暦 1980 年 12 月	西暦 1980 年 12 月	西暦 1981 年 12 月
建築：延床	146.10 ㎡ / 146.10 ㎡	200.00 ㎡ / 200.00 ㎡	345.00 ㎡ / 345.00 ㎡
主な設備	受変電設備（屋内形） 電灯設備 給水設備（水道直結方式） 給湯設備（ｶﾞｽ湯沸器） ｶﾞｽ設備（液化石油ｶﾞｽ） 消火設備（粉末消火）		電灯設備 消火設備（粉末消火）
主な用途	畜舎（子牛の人工哺乳施設）	堆肥舎	収納舎（粗飼料及び作業機の保管）
老朽化の状況：劣化度調査	目立った劣化は見られない	目立った劣化は見られない	柱の一部発錆、ｵｰﾊﾞｰｽﾗｲﾀﾞｰの一部損傷
老朽化の状況：定期点検	対象外	対象外	外壁破損　他
老朽化の状況：修繕工事	―	―	―
老朽化の状況：特記			
優先度：建物性能	高一	高一	高一
優先度：劣化：年数	高：Ａ異常無 / 中	高：Ａ異常無 / 中	中：Ｂ異常有（経過観察） / 高
優先度：利用度	高	高	高
優先度：１次評価	維持管理	維持管理	維持管理
優先度：重要性	75: 代替施設なし	85: 設置義務あり	75: 代替施設なし
優先度：見通し	△15: 多目的利用の可能性なし	△15: 多目的利用の可能性なし	△15: 多目的利用の可能性なし
優先度：２次評価	Ｉ（60点以上）	Ｉ（60点以上）	Ｉ（60点以上）
総合判定	維持管理 / 優先度３	維持管理 / 優先度３	維持管理 / 優先度３
評価結果	計画的な維持管理により、施設機能を維持。	計画的な維持管理により、施設機能を維持。	計画的な維持管理により、施設機能を維持。

個 別 施 設 計 画 （個 票）

番 号	10	策定年月	令和３年３月	最終更新	令和３年３月
施設名	農業研究センター畜産研究所 外山研究室			財産区分	行政財産

１　施設内建物の概要(続き)

番号：名称	10: 繁殖牛舎	11: 堆肥舎	12: 分娩哺育舎
構 造	木　造	木　造	木　造
階 数	地上 1 階 地下 － 階	地上 1 階 地下 － 階	地上 1 階 地下 － 階
竣工年	西暦 1989 年 3 月	西暦 1989 年 12 月	西暦 1990 年 2 月
建築：延床	526.50 ㎡ / 526.50 ㎡	280.00 ㎡ / 280.00 ㎡	447.12 ㎡ / 447.12 ㎡
主な設備	受変電設備(屋内形) 電灯設備 給水設備 消火設備(粉末消火)	消火設備(粉末消火)	受変電設備(屋内形) 電灯設備 給水設備(水道直結方式) 給湯設備(局所式:ｶﾞｽ湯沸器) ｶﾞｽ設備(液化石油ｶﾞｽ) 消火設備(粉末消火)
主な用途	畜舎（11月～５月に使用)	堆肥舎	畜舎
老朽化の状況：劣化度調査	目立った劣化は見られない	目立った劣化は見られない	目立った劣化は見られない
老朽化の状況：定期点検	対象外	対象外	対象外
老朽化の状況：修繕工事	—	—	—
老朽化の状況：特記			
優先度：建物性能	高	高	高
優先度：劣化：年数	高：Ａ異常無 / 高	高：Ａ異常無 / 高	高：Ａ異常無 / 高
優先度：利用度	高	高	高
優先度：１次評価	維持管理	維持管理	維持管理
優先度：重要性	75: 代替施設なし	85: 設置義務あり	75: 代替施設なし
優先度：見通し	△15: 多目的利用の可能性なし	△15: 多目的利用の可能性なし	△15: 多目的利用の可能性なし
優先度：２次評価	Ⅰ(60点以上)	Ⅰ(60点以上)	Ⅰ(60点以上)
総合判定	維持管理 / 優先度３	維持管理 / 優先度３	維持管理 / 優先度３
評価結果	計画的な維持管理により、施設機能を維持。	計画的な維持管理により、施設機能を維持。	計画的な維持管理により、施設機能を維持。

個　別　施　設　計　画　（個　票）

番　号	10	策定年月	令和３年３月	最終更新	令和３年３月
施設名	農業研究センター畜産研究所 外山研究室			財産区分	行政財産

１　施設内建物の概要(続き)

<table>
<tr><td colspan="2">番号：名称</td><td colspan="2">13: 堆肥舎</td><td colspan="2">14: バンカーサイロ</td><td colspan="2">15: 繁殖牛舎</td></tr>
<tr><td colspan="2">構　造</td><td colspan="2">木　造</td><td colspan="2">木　造</td><td colspan="2">木　造</td></tr>
<tr><td colspan="2">階　数</td><td colspan="2">地上 1 階 地下 - 階</td><td colspan="2">地上 1 階 地下 - 階</td><td colspan="2">地上 1 階 地下 - 階</td></tr>
<tr><td colspan="2">竣工年</td><td colspan="2">西暦 1990 年 2 月</td><td colspan="2">西暦 1990 年 2 月</td><td colspan="2">西暦 1995 年 12 月</td></tr>
<tr><td colspan="2">建築：延床</td><td>134.00 ㎡</td><td>134.00 ㎡</td><td>279.00 ㎡</td><td>279.00 ㎡</td><td>599.88 ㎡</td><td>590.52 ㎡</td></tr>
<tr><td colspan="2">主な設備</td><td colspan="2"></td><td colspan="2"></td><td colspan="2">受変電設備(屋外形)
電灯設備
給水設備
給湯設備(局所式:ｶﾞｽ湯沸器)
ｶﾞｽ設備(液化石油ｶﾞｽ)
消火設備(粉末消火)</td></tr>
<tr><td colspan="2">主な用途</td><td colspan="2">堆肥舎</td><td colspan="2">貯蔵庫(粗飼料の発行貯蔵に使用)</td><td colspan="2">畜舎(繁殖雌牛及び育成牛)</td></tr>
<tr><td rowspan="4">老朽化の状況</td><td>劣化度調査</td><td colspan="2">目立った劣化は見られない</td><td colspan="2">目立った劣化は見られない</td><td colspan="2">目立った劣化は見られない</td></tr>
<tr><td>定期点検</td><td colspan="2">対象外</td><td colspan="2">対象外</td><td colspan="2">対象外</td></tr>
<tr><td>修繕工事</td><td colspan="2">―</td><td colspan="2">―</td><td colspan="2">―</td></tr>
<tr><td>特記</td><td colspan="2"></td><td colspan="2"></td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td rowspan="7">優先度</td><td>建物性能</td><td colspan="2">高</td><td colspan="2">高</td><td colspan="2">高</td></tr>
<tr><td>劣化：年数</td><td>高：Ａ異常無</td><td>高</td><td>高：Ａ異常無</td><td>高</td><td>高：Ａ異常無</td><td>高</td></tr>
<tr><td>利用度</td><td colspan="2">高</td><td colspan="2">高</td><td colspan="2">高</td></tr>
<tr><td>１次評価</td><td colspan="2">維持管理</td><td colspan="2">維持管理</td><td colspan="2">維持管理</td></tr>
<tr><td>重要性</td><td colspan="2">85: 設置義務あり</td><td colspan="2">75: 代替施設なし</td><td colspan="2">75: 代替施設なし</td></tr>
<tr><td>見通し</td><td colspan="2">△15: 多目的利用の可能性なし</td><td colspan="2">△15: 多目的利用の可能性なし</td><td colspan="2">△15: 多目的利用の可能性なし</td></tr>
<tr><td>２次評価</td><td colspan="2">Ⅰ(60点以上)</td><td colspan="2">Ⅰ(60点以上)</td><td colspan="2">Ⅰ(60点以上)</td></tr>
<tr><td colspan="2">総合判定</td><td>維持管理</td><td>優先度３</td><td>維持管理</td><td>優先度３</td><td>維持管理</td><td>優先度３</td></tr>
<tr><td></td><td>評価結果</td><td colspan="2">計画的な維持管理により、施設機能を維持。</td><td colspan="2">計画的な維持管理により、施設機能を維持。</td><td colspan="2">計画的な維持管理により、施設機能を維持。</td></tr>
</table>

個　別　施　設　計　画　（個　票）

番　号	10	策定年月	令和３年３月	最終更新	令和３年３月
施設名	農業研究センター畜産研究所 外山研究室			財産区分	行政財産

１　施設内建物の概要（続き）

番号：名称		16：バンカーサイロ		17：乾草舎		18：職員公舎	
構　造		木　造		鉄骨　造		木　造	
階　数		地上 1 階 地下 － 階		地上 1 階 地下 － 階		地上 1 階 地下 － 階	
竣工年		西暦 1995 年 12 月		西暦 1995 年 12 月		西暦 1995 年 12 月	
建築：延床		332.64 ㎡	332.64 ㎡	350.52 ㎡	348.68 ㎡	135.80 ㎡	133.05 ㎡
主な設備		受変電設備（その他） 電灯設備 消火設備（粉末消火）		受変電設備（その他） 電灯設備 消火設備（粉末消火）		受変電設備（屋外形） 電灯設備 弱電設備（ﾃﾚﾋﾞ共同受信） 給水設備 排水設備（浄化槽） 給湯設備（局所式:ｶﾞｽ湯沸器） ｶﾞｽ設備（液化石油ｶﾞｽ） 消火設備（粉末消火）	
主な用途		貯蔵庫（ﾄｳﾓﾛｺｼｻｲﾚｰｼﾞ）		貯蔵庫（乾草及び作業機の保管）		職員公舎	
老朽化の状況	劣化度調査	目立った劣化は見られない		目立った劣化は見られない		目立った劣化は見られない	
	定期点検	対象外		外壁及びｼｬｯﾀｰ枠破損		対象外	
	修繕工事	—		—		—	
	特記						
優先度	建物性能	高		高		高	
	劣化：年数	高：Ａ異常無	高	高：Ａ異常無	高	高：Ａ異常無	高
	利用度	高		高		高	
	１次評価	維持管理		維持管理		維持管理	
	重要性	75：代替施設なし		75：代替施設なし		55：代替施設あり	
	見通し	△15：多目的利用の可能性なし		△15：多目的利用の可能性なし		△15：代替施設あり	
	２次評価	Ⅰ（60点以上）		Ⅰ（60点以上）		Ⅲ（50～40点）	
総合判定		維持管理	優先度３	維持管理	優先度３	維持管理	優先度５
	評価結果	計画的な維持管理により、施設機能を維持。		計画的な維持管理により、施設機能を維持。		計画的な維持管理により、施設機能を維持。	

個　別　施　設　計　画　（個　票）

番　号	10	策定年月	令和３年３月	最終更新	令和３年３月
施設名	農業研究センター畜産研究所 外山研究室			財産区分	行政財産

１　施設内建物の概要（続き）

番号：名称		19：畜舎			20：堆肥舎		
構　造		木　造			木　造		
階　数		地上 1 階 地下 － 階			地上 1 階 地下 － 階		
竣工年		西暦 1999 年 12 月			西暦 2000 年 12 月		
建築：延床		303.60 ㎡	303.60 ㎡		259.20 ㎡	259.20 ㎡	
主な設備		電灯設備 給水設備（水道直結方式） 消火設備（粉末消火）					
主な用途		畜舎			堆肥舎		
老朽化の状況	劣化度調査	目立った劣化は見られない			目立った劣化は見られない		
	定期点検	対象外			対象外		
	修繕工事	―			―		
	特記						
優先度	建物性能	高			高		
	劣化：年数	高：Ａ異常無		高	高：Ａ異常無		高
	利用度	高			高		
	１次評価	維持管理			維持管理		
	重要性	75：代替施設なし			85：設置義務あり		
	見通し	△15：多目的利用の可能性なし			△15：多目的利用の可能性なし		
	２次評価	Ⅰ（60点以上）			Ⅰ（60点以上）		
総合判定		維持管理	優先度３		維持管理	優先度３	
	評価結果	計画的な維持管理により、施設機能を維持。			計画的な維持管理により、施設機能を維持。		

２　対応方針

(1)　基本的な方針

計画的な大規模修繕等により長寿命化を図り、施設機能を維持する。

(2)　社会経済情勢等の変化への対応

家畜の飼養技術開発の拠点となる施設を適切に維持管理し、岩手県の農業産出額の過半を占める畜産業の振興に寄与する。

(3)　公共施設の有効活用

有効活用について検討していない。
また、試験研究機関という特殊性から、他用途・多目的の利用には適さない。

３　長寿命化等対策の内容と実施時期

(1)　長寿命化等対策の方向性

経年劣化が見られる箇所のうち、雨漏り対策及び労働環境改善のため、屋根塗装及びトイレ改修を優先し対策を図る。
建築後50年以上経過している施設もあることから、定期点検や日常点検等により施設の劣化状況の把握に努め、計画的な維持管理により、コスト縮減・財政負担の平準化を図りながら長寿命化を図る。

(2)　対策の内容

区　分	令和２年度 (2020年度)	令和３年度 (2021年度)	令和４年度 (2022年度)	令和５年度 (2023年度)	令和６年度 (2024年度)
1:農具庫及び肥料庫	維持管理（劣化状況の把握）→				
2:化学実験室	維持管理（劣化状況の把握）→				
3:畜舎	維持管理（劣化状況の把握）→				
4:農具庫	維持管理（劣化状況の把握）→				
5:病畜舎	維持管理（劣化状況の把握）、用途廃止を検討→				
6:研修館		屋根塗装ほか	トイレ改修		
7:分娩舎	維持管理（劣化状況の把握）→				
8:堆肥舎	維持管理（劣化状況の把握）→				
9:乾草庫	維持管理（劣化状況の把握）→				
10:繁殖牛舎	維持管理（劣化状況の把握）→				
11:堆肥舎	維持管理（劣化状況の把握）→				
12:分娩哺育舎	維持管理（劣化状況の把握）→				
13:堆肥舎	維持管理（劣化状況の把握）→				
14:ﾊﾞﾝｶｰｻｲﾛ	維持管理（劣化状況の把握）→				
15:繁殖牛舎	維持管理（劣化状況の把握）→				
16:ﾊﾞﾝｶｰｻｲﾛ	維持管理（劣化状況の把握）→				

(2)　対策の内容　続き

区　分	令和２年度(2020年度)	令和３年度(2021年度)	令和４年度(2022年度)	令和５年度(2023年度)	令和６年度(2024年度)
17:乾草舎	維持管理（劣化状況の把握）				
18:職員公舎	維持管理（劣化状況の把握）				
19:畜舎	維持管理（劣化状況の把握）				
20:堆肥舎	維持管理（劣化状況の把握）				

４　概算額

21百万円

【概算費用内訳(令和２年度（2020年度）～令和６年度（2024年度））】

	概算額	内　訳
R2	ー千円	
R3	7,429千円	屋根塗装（1,519千円） 高圧受電設備更新（3,155千円） その他維持補修（2,755千円）
R4	7,755千円	トイレ改修（5,000千円） その他維持補修（2,755千円）
R5	2,755千円	その他維持補修
R6	2,755千円	その他維持補修

※　試算の一例であること。

個 別 施 設 計 画 （個 票）

番 号	11	策定年月	令和３年３月	最終更新	令和３年３月
施設名	農業研究センター畜産研究所 種山研究室			財産区分	行政財産
所在地	住田町世田米字子飼沢30番地			敷地面積	2,203,199.12 ㎡

都市計画区域	都市計画区域外	防火地域	指定なし	用途地域	指定なし

設置目的業務概要等	１基礎雌牛の管理（種雄牛の母として相応しい繁殖雌牛の把握と計画交配の推進） ２直接検定（計交配で生産された雄子牛飼養して発育等を調査し、種雄牛候補を選抜） ３現場後代検定（種雄牛候補の産子を肥育して枝肉格付等を調査し、基幹種雄牛を選抜） ４凍結精液の販売（基幹種雄牛の凍結精液を生産し、販売）

１ 施設内建物の概要

番号：名称		1: 検定牛舎_３号		2: 避難舎_５号		3: 乾燥調整施設	
構 造		木 造		木 造		鉄骨 造	
階 数		地上 2 階 地下 － 階		地上 1 階 地下 － 階		地上 1 階 地下 － 階	
竣工年		西暦 1959 年 3 月		西暦 1968 年 11 月		西暦 1970 年 3 月	
建築：延床		89.25 ㎡	178.51 ㎡	400.00 ㎡	400.00 ㎡	131.04 ㎡	131.04 ㎡
主な設備		電灯設備 給水設備(水道直結方式) 排水設備(浄化槽) 消火設備(粉末消火)		電灯設備 給水設備(水道直結方式) 排水設備(浄化槽) 消火設備(粉末消火)		消火設備(粉末消火)	
主な用途		畜舎 特別管理産業廃棄物保管場所 （微量PCB廃棄物：変圧器）		避難小屋 物置		その他 乾草調整施設 （未使用）	
老朽化の状況	劣化度調査	屋根金属剥離、軒折損、外壁劣化		屋根金属剥離、軒折損、外壁劣化		金属腐食	
	定期点検	対象外		指摘なし		対象外	
	修繕工事	－		屋根		－	
	特記						
優先度	建物性能	低		低		低	
	劣化：年数	低：Ｃ異常有(要調査)	低	低：Ｃ異常有(要調査)	低	低：Ｃ異常有(要調査)	低
	利用度	低		低		低	
	１次評価	用途廃止		用途廃止		用途廃止	
	重要性	40: 需要なし		50: 需要なし		50: 需要なし	
	見通し	△20: 利活用見込みなし		△20: 利活用見込みなし		△20: 利活用見込みなし	
	２次評価	Ⅳ(40点未満)		Ⅳ(40点未満)		Ⅳ(40点未満)	
総合判定		用途廃止	優先度４	用途廃止	優先度４	用途廃止	優先度４
	評価結果	劣化が著しく、転用不可能であり用途廃止が妥当。		劣化が著しく、転用不可能であり用途廃止が妥当。		劣化が著しく、転用不可能であり用途廃止が妥当。	

個 別 施 設 計 画 （ 個 票 ）

番 号	11	策定年月	令和３年３月	最終更新	令和３年３月
施 設 名	農業研究センター畜産研究所 種山研究室			財産区分	行政財産

１　施設内建物の概要（続き）

番号：名称		4: 避難畜舎_9号		5: 堆肥舎Ａ棟		6: 堆肥舎Ｂ棟	
構 造		木　造		木　造		木　造	
階 数		地上 1 階 地下 － 階		地上 1 階 地下 － 階		地上 1 階 地下 － 階	
竣 工 年		西暦 1981 年 12 月		西暦 1988 年 3 月		西暦 1988 年 3 月	
建築：延床		295.35 ㎡	295.35 ㎡	364.50 ㎡	364.50 ㎡	364.50 ㎡	364.50 ㎡
主な設備		給水設備（水道直結方式） 排水設備（浄化槽） 消火設備（粉末消火）		消火設備（粉末消火）		給水設備（水道直結方式） 消火設備（粉末消火）	
主な用途		畜舎 繁殖雌牛管理 通年使用		堆肥舎 堆肥化（一次貯留、発酵処理）		堆肥舎 堆肥化（一次貯留、発酵処理）	
老朽化の状況	劣化度調査	屋根ｻﾋﾞ、柵・扉腐食		目立った劣化は見られない		目立った劣化は見られない	
	定期点検	指摘なし		指摘なし		指摘なし	
	修繕工事	水飲み箱配管、ﾊﾟﾄﾞｯｸ北柵		―		―	
	特 記						
優先度	建物性能	高		中		高	
	劣化：年数	高：Ａ異常無	高	低：Ｃ異常有（要調査）	高	高：Ａ異常無	高
	利用度	高		高		高	
	１次評価	維持管理		修繕・改修		維持管理	
	重要性	75: 代替施設なし		85: 設置義務あり		85: 設置義務あり	
	見通し	△15: 多目的利用の可能性なし		△15: 多目的利用の可能性なし		△15: 多目的利用の可能性なし	
	２次評価	Ⅰ（60点以上）		Ⅰ（60点以上）		Ⅰ（60点以上）	
総合判定		維持管理	優先度３	維持管理	優先度２	維持管理	優先度３
	評価結果	計画的な維持管理により、施設機能を維持。		計画的な維持管理により、施設機能を維持。		計画的な維持管理により、施設機能を維持。	

個 別 施 設 計 画 （個 票）

番 号	11	策定年月	令和３年３月	最終更新	令和３年３月
施 設 名	農業研究センター畜産研究所 種山研究室			財産区分	行政財産

１　施設内建物の概要(続き)

番号：名称		7: 避難舎（10号牛舎）		8: 間接検定牛舎_11号		9: 直接検定牛舎_12号	
構 造		木　造		木　造		木　造	
階 数		地上　1　階 地下　－　階		地上　1　階 地下　－　階		地上　1　階 地下　－　階	
竣 工 年		西暦　1988　年　11　月		西暦　1990　年　3　月		西暦　1993　年　2　月	
建築：延床		437.23　㎡	437.23　㎡	400.80　㎡	400.80　㎡	545.40　㎡	545.40　㎡
主な設備		電灯設備 給水設備(水道直結方式) 排水設備(浄化槽) 消火設備(粉末消火)		電灯設備 給水設備(水道直結方式) 排水設備(浄化槽) 消火設備(粉末消火)		電灯設備 給水設備(水道直結方式) 排水設備(浄化槽) 給湯設備(局所式:貯湯式電気温水器) 消火設備(粉末消火)	
主な用途		畜舎 種雄牛管理 収容頭数18頭 通年使用		畜舎 現場後代検定 収容頭数　24頭 通年使用		畜舎 直接検定 収容頭数　20頭 通年使用	
老朽化の状況	劣化度調査	扉・床板損耗、給水設備故障		ﾊﾟﾄﾞｯｸ柵腐食		屋根雨漏り、牛房扉の破損、蛍光灯劣化	
	定期点検	指摘なし		指摘なし		指摘なし	
	修繕工事	ﾊﾞｰﾝｸﾘｰﾅｰ、ｳｫｰﾀｰｶｯﾌﾟ		牛房柵		ﾊﾞｰﾝｸﾘｰﾅｰ、屋根	
	特記						
優先度	建物性能	高		高		高	
	劣化：年数	高：Ａ異常無	高	高：Ａ異常無	高	高：Ａ異常無	高
	利用度	高		高		高	
	１次評価	維持管理		維持管理		維持管理	
	重要性	75: 代替施設なし		75: 代替施設なし		75: 代替施設なし	
	見通し	△15: 多目的利用の可能性なし		△15: 多目的利用の可能性なし		△15: 多目的利用の可能性なし	
	２次評価	Ⅰ(60点以上)		Ⅰ(60点以上)		Ⅰ(60点以上)	
総合判定		維持管理	優先度３	維持管理	優先度３	維持管理	優先度３
	評価結果	計画的な維持管理により、施設機能を維持。		計画的な維持管理により、施設機能を維持。		計画的な維持管理により、施設機能を維持。	

個 別 施 設 計 画 （個 票）

番　号	11	策定年月	令和３年３月	最終更新	令和３年３月
施設名	農業研究センター畜産研究所 種山研究室			財産区分	行政財産

1　施設内建物の概要（続き）

番号：名称		10：家畜避難舎		11：種雄牛舎		12：採精場	
構　造		木　造		木　造		木　造	
階　数		地上　1　階 地下　－　階		地上　1　階 地下　－　階		地上　1　階 地下　－　階	
竣工年		西暦　1994　年　1　月		西暦　1995　年　3　月		西暦　1995　年　3　月	
建築：延床		339.72　㎡	339.72　㎡	483.00　㎡	483.00　㎡	467.20　㎡	467.20　㎡
主な設備		給水設備（高置水槽方式） 排水設備（浄化槽） 給湯設備（ｶﾞｽ湯沸器） ｶﾞｽ設備（液化石油ｶﾞｽ） 消火設備（粉末消火）		電灯設備 給水設備（水道直結方式） 排水設備（浄化槽） 消火設備（屋内消火栓）		電灯設備 非常警報設備 冷暖房設備（FFｽﾄｰﾌﾞ・ｴｱｺﾝ等） 空調機器（ﾕﾆｯﾄ形） 給水設備（水道直結方式） 排水設備（浄化槽） 給湯設備（ｶﾞｽ湯沸器） ｶﾞｽ設備（液化石油ｶﾞｽ） 消火設備（屋内消火栓）	
主な用途		畜舎 繁殖雌牛管理 収容頭数　32頭 主に10～５月期使用		畜舎 種雄牛管理 収容頭数　18頭 通年使用		作業室 精液採取に係る作業	
老朽化の状況	劣化度調査	屋根劣化、牛用給水装置故障		支柱基部腐食、高窓開閉不良		屋根雨漏り	
	定期点検	指摘なし		指摘なし		指摘なし	
	修繕工事	―		―		―	
	特　記						
優先度	建物性能	高		高		高	
	劣化：年数	高：Ａ異常無	高	高：Ａ異常無	高	高：Ａ異常無	高
	利用度	高		高		高	
	１次評価	維持管理		維持管理		維持管理	
	重要性	75：代替施設なし		75：代替施設なし		75：代替施設なし	
	見通し	△15：多目的利用の可能性なし		△15：多目的利用の可能性なし		△15：多目的利用の可能性なし	
	２次評価	Ⅰ（60点以上）		Ⅰ（60点以上）		Ⅰ（60点以上）	
総合判定		維持管理	優先度３	維持管理	優先度３	維持管理	優先度３
	評価結果	計画的な維持管理により、施設機能を維持。		計画的な維持管理により、施設機能を維持。		計画的な維持管理により、施設機能を維持。	

個 別 施 設 計 画 （ 個 票 ）

番 号	11	策定年月	令和３年３月	最終更新	令和３年３月
施 設 名	農業研究センター畜産研究所 種山研究室			財産区分	行政財産

１　施設内建物の概要（続き）

番号：名称		13：乾草舎		14：誘導通路		15：精液処理棟	
構 造		木　造		鉄筋コンクリート　造		鉄筋コンクリート　造	
階 数		地上　1　階 地下　－　階		地上　1　階 地下　－　階		地上　1　階 地下　－　階	
竣 工 年		西暦　1995　年　1　月		西暦　1995　年　3　月		西暦　1995　年　3　月	
建築：延床		491.89 ㎡	491.89 ㎡	126.20 ㎡	126.20 ㎡	420.00 ㎡	420.00 ㎡
主な設備		電灯設備 消火設備（粉末消火）		電灯設備 非常警報設備 消火設備（屋内消火栓）		発電設備（屋内形） 電灯設備 非常警報設備 監視カメラ設備 空調機器（ﾊﾟｯｹｰｼﾞ形） 自動制御設備（個別制御） 給水設備（水道直結方式） 排水設備（浄化槽） 給湯設備（局所式:ｶﾞｽ湯沸器） ｶﾞｽ設備（液化石油ｶﾞｽ） 消火設備（屋内消火栓）	
主な用途		収納舎 粗飼料貯蔵 通年使用		渡廊下 採液場と種雄牛舎の間の通路） 通年使用		庁舎・事務所 凍結精液の作成・保管 凍結受精卵の作成・保管 血清生化学検査	
老朽化の状況	劣化度調査	屋根雨漏り、垂木腐蝕		屋根雨漏り		屋根腐食、湿度調節機能停止	
	定期点検	指摘なし		対象外		指摘なし	
	修繕工事	屋根		—		空調設備（ｺﾝﾌﾟﾚｯｻｰ）	
	特記						
優先度	建物性能	高		高		高	
	劣化：年数	高：Ａ異常無	高	高：Ａ異常無	高	高：Ａ異常無	高
	利用度	高		高		高	
	１次評価	維持管理		維持管理		維持管理	
	重要性	75：代替施設なし		75：代替施設なし		75：代替施設なし	
	見通し	△15：多目的利用の可能性なし		△15：多目的利用の可能性なし		△15：多目的利用の可能性なし	
	２次評価	Ⅰ（60点以上）		Ⅰ（60点以上）		Ⅰ（60点以上）	
総合判定		維持管理	優先度３	維持管理	優先度３	維持管理	優先度３
	評価結果	計画的な維持管理により、施設機能を維持。		計画的な維持管理により、施設機能を維持。		計画的な維持管理により、施設機能を維持。	

個　別　施　設　計　画　（個　票）

番　号	11	策定年月	令和３年３月	最終更新	令和３年３月
施設名	農業研究センター畜産研究所 種山研究室			財産区分	行政財産

１　施設内建物の概要（続き）

番号：名称		16：家畜運動舎			17：農機具格納庫			18：供卵牛舎		
構　造		鉄骨　造			鉄骨　造			木　造		
階　数		地上 1 階 地下 － 階			地上 1 階 地下 － 階			地上 1 階 地下 － 階		
竣工年		西暦 1996 年 1 月			西暦 1996 年 2 月			西暦 1996 年 1 月		
建築：延床		156.77 ㎡	156.77 ㎡		370.50 ㎡	370.50 ㎡		166.00 ㎡	166.00 ㎡	
主な設備					電灯設備 給水設備（水道直結方式） 排水設備（浄化槽） 消火設備（粉末消火）			電灯設備 給水設備（水道直結方式） 排水設備（浄化槽）		
主な用途		畜舎 種雄牛の強制歩行 通年使用			農機具格納庫 車両等の格納			畜舎 種雄牛管理、飼料・資材庫		
老朽化の状況	劣化度調査	目立った劣化は見られない			窓ガラス破損			目立った劣化は見られない		
	定期点検	対象外			指摘なし			指摘なし		
	修繕工事	—			—			—		
	特記									
優先度	建物性能	高			高			高		
	劣化：年数	高：Ａ異常無		高	高：Ａ異常無		高	高：Ａ異常無		高
	利用度	低			高			高		
	１次評価	転用・複合化			維持管理			維持管理		
	重要性	75：代替施設なし			75：代替施設なし			75：代替施設なし		
	見通し	△15：多目的利用の可能性なし			△15：多目的利用の可能性なし			△15：多目的利用の可能性なし		
	２次評価	Ⅰ（60点以上）			Ⅰ（60点以上）			Ⅰ（60点以上）		
総合判定		維持管理	優先度３		維持管理	優先度３		維持管理	優先度３	
	評価結果	計画的な維持管理により、施設機能を維持。			計画的な維持管理により、施設機能を維持。			計画的な維持管理により、施設機能を維持。		

個 別 施 設 計 画 （個 票）

番　号	11	策定年月	令和３年３月	最終更新	令和３年３月
施 設 名	農業研究センター畜産研究所 種山研究室			財産区分	行政財産

1　施設内建物の概要（続き）

番号：名称		19：事務所、衛生検査室		20：供卵牛舎Ａ		21：供卵牛舎Ｂ	
構　造		木　造		木　造		木　造	
階　数		地上　1　階 地下　－　階		地上　1　階 地下　－　階		地上　1　階 地下　－　階	
竣工年		西暦　1995　年　10　月		西暦　1997　年　3　月		西暦　1997　年　3　月	
建築：延床		523.35　㎡	523.35　㎡	856.41　㎡	856.41　㎡	533.10　㎡	533.10　㎡
主な設備		受変電設備(ｷｭｰﾋﾞｸﾙ式) 電灯設備 非常警報設備 冷暖房設備(FFｽﾄｰﾌﾞ等) 給水設備(水道直結方式) 排水設備(浄化槽) 給湯設備(局所式:ｶﾞｽ湯沸器) ｶﾞｽ設備(液化石油ｶﾞｽ) 消火設備(粉末消火)		電灯設備 給水設備(水道直結方式) 排水設備(浄化槽) 消火設備(粉末消火)		電灯設備 給水設備(水道直結方式) 排水設備(浄化槽) 給湯設備(ｶﾞｽ湯沸器) ｶﾞｽ設備(液化石油ｶﾞｽ) 消火設備(粉末消火)	
主な用途		庁舎、事務所 執務、衛生検査、薬品等管理		畜舎 現場後代検定 収容頭数　34頭 通年使用		畜舎 繁殖雌牛管理、子牛育成 収容頭数　30頭 通年使用	
老朽化の状況	劣化度調査	外壁一部剥離、トイレ漏水		R1:電灯回路不良		目立った劣化は見られない	
	定期点検	指摘なし		指摘なし		指摘なし	
	修繕工事	－		－		－	
	特記						
優先度	建物性能	高		高		高	
	劣化：年数	高：Ａ異常無	高	高：Ａ異常無	高	高：Ａ異常無	高
	利用度	高		高		高	
	１次評価	維持管理		維持管理		維持管理	
	重要性	75：代替施設なし		75：代替施設なし		75：代替施設なし	
	見通し	△15：多目的利用の可能性なし		△15：多目的利用の可能性なし		△15：多目的利用の可能性なし	
	２次評価	Ⅰ(60点以上)		Ⅰ(60点以上)		Ⅰ(60点以上)	
総合判定		維持管理	優先度３	維持管理	優先度３	維持管理	優先度３
	評価結果	計画的な維持管理により、施設機能を維持。		計画的な維持管理により、施設機能を維持。		計画的な維持管理により、施設機能を維持。	

２　対応方針

(1)　基本的な方針

日常点検による不具合の早期発見と適切な修繕に努め、施設の長寿命化を図る。

(2)　社会経済情勢等の変化への対応

優良種雄牛の凍結精液の販売を通じて本県肉用牛の生産振興に寄与するため、適切に維持管理に努める。

(3)　公共施設の有効活用

試験研究機関という特殊性から、また、家畜伝染病蔓延防止の観点から、他用途・多目的の利用には適さないため、有効活用について検討していない。

３　長寿命化等対策の内容と実施時期

(1)　長寿命化等対策の方向性

凍結精液を生産する精液処理棟、採精場及び種雄牛舎について重点的に対策を行いながら、建築後20年以上経過している家畜飼養施設は日常点検等により施設の劣化状況の把握に努め、計画的な維持管理により、コスト縮減・財政負担の平準化を図りながら長寿命化を図る。

(2)　対策の内容

区　分	令和２年度 (2020年度)	令和３年度 (2021年度)	令和４年度 (2022年度)	令和５年度 (2023年度)	令和６年度 (2024年度)
1:検定牛舎3号	維持管理（劣化状況の把握)、用途廃止を検討				
2:避難舎5号	維持管理（劣化状況の把握)、用途廃止を検討				
3:乾燥調整施設	維持管理（劣化状況の把握)、用途廃止を検討				
4:避難畜舎9号	維持管理（劣化状況の把握）				
5:堆肥舎Ａ棟	維持管理（劣化状況の把握）				
6:堆肥舎Ｂ棟	維持管理（劣化状況の把握）				
7:避難舎(10号牛舎)	維持管理（劣化状況の把握）				
8:間接検定牛舎11号	維持管理（劣化状況の把握）				
9:直接検定牛舎12号	維持管理（劣化状況の把握）				
10:家畜避難舎	維持管理（劣化状況の把握）				
11:種雄牛舎	維持管理（劣化状況の把握）				
12:採精場	維持管理（劣化状況の把握）				
13:乾草舎	維持管理（劣化状況の把握）				
14:誘導通路	維持管理（劣化状況の把握）				
15:精液処理棟	維持管理（劣化状況の把握）				
16:家畜運動舎	維持管理（劣化状況の把握）				
17:農機具格納庫	維持管理（劣化状況の把握）				

(2)　対策の内容　続き

区　分	令和２年度 (2020年度)	令和３年度 (2021年度)	令和４年度 (2022年度)	令和５年度 (2023年度)	令和６年度 (2024年度)
18:供卵牛舎	維持管理（劣化状況の把握）				
19:事務所、衛生検査室	維持管理（劣化状況の把握）				
20:供卵牛舎Ａ	維持管理（劣化状況の把握）				
21:供卵牛舎B	維持管理（劣化状況の把握）				

４　概算額

22百万円

【概算費用内訳(令和２年度（2020年度）～令和６年度（2024年度））】

	概算額	内　訳
R2	5,422千円	その他維持補修
R3	3,945千円	その他維持補修
R4	3,945千円	その他維持補修
R5	3,945千円	その他維持補修
R6	3,945千円	その他維持補修

※　試算の一例であること。

個別施設計画（個票）

番号	12	策定年月	令和３年３月	最終更新	令和３年３月
施設名	林業技術センター			財産区分	行政財産
所在地	紫波郡矢巾町大字煙山第３地割字清水560番11			敷地面積	63,714.00 ㎡

都市計画区域	都市計画区域外	防火地域	指定なし	用途地域	指定なし

設置目的業務概要等	本県における林業の成長産業化を図るため、試験研究、技術の開発と普及及び人材育成業務を実施している。

1　施設内建物の概要

番号：名称	1：事務所棟	2：講義棟	3：木材実験棟
構造	木造	木造	木造
階数	地上 1 階 地下 － 階	地上 1 階 地下 － 階	地上 1 階 地下 － 階
竣工年	西暦 1992 年 12 月	西暦 1992 年 12 月	西暦 1992 年 12 月
建築：延床	850.90 ㎡ / 850.90 ㎡	352.87 ㎡ / 352.87 ㎡	1,137.80 ㎡ / 1,137.80 ㎡
主な設備	受変電設備(ｷｭｰﾋﾞｸﾙ式) 発電設備(ﾃﾞｨｰｾﾞﾙ) 電灯設備 自動火災報知設備、非常警報設備 構内交換設備 弱電設備(拡声設備) 冷暖房設備(蒸気方式、ｴｱｺﾝ等) 熱源設備(無圧式温水発生器) 空調機器(ﾕﾆｯﾄ形) 自動制御設備(中央式監視制御) 給水設備(高置水槽方式) 排水設備(浄化槽) 給湯設備(局所式:ｶﾞｽ湯沸器) ｶﾞｽ設備(液化石油ｶﾞｽ) 消火設備(屋内消火栓、粉末消火)	受変電設備(屋外形) 電灯設備 自動火災報知設備 非常警報設備 弱電設備(拡声設備) 冷暖房設備(蒸気方式、ｴｱｺﾝ等) 熱源設備(小型貫流ﾎﾞｲﾗｰ) 空調機器(ﾕﾆｯﾄ形) 自動制御設備(個別制御) 給水設備(高置水槽方式) 排水設備(浄化槽) 消火設備(屋内消火栓、粉末消火)	受変電設備(屋外形) 電灯設備 自動火災報知設備 非常警報設備 冷暖房設備(FFｽﾄｰﾌﾞ、ｴｱｺﾝ等) 給水設備(高置水槽方式) 排水設備(浄化槽) 給湯設備(局所式:ｶﾞｽ湯沸器) ｶﾞｽ設備(液化石油ｶﾞｽ) 消火設備(粉末消火)
主な用途	事務室	研修施設(林業ｱｶﾃﾞﾐｰ)	事務室
老朽化の状況：劣化度調査	経過観察箇所多数	経過観察箇所多数	経過観察箇所多数
老朽化の状況：定期点検	指摘なし	指摘なし	指摘なし
老朽化の状況：修繕工事	電気設備、中央監視盤、受変電設備	―	―
老朽化の状況：特記			
優先度：建物性能	高－	高－	高－
優先度：劣化：年数	中：Ｂ異常有(経過観察) / 高	中：Ｂ異常有(経過観察) / 高	中：Ｂ異常有(経過観察) / 高
優先度：利用度	高	高	高
優先度：１次評価	維持管理	維持管理	維持管理
優先度：重要性	75：代替施設なし	75：代替施設なし	75：代替施設なし
優先度：見通し	△15：多目的利用の可能性なし	△15：多目的利用の可能性なし	△15：多目的利用の可能性なし
優先度：２次評価	Ⅰ(60点以上)	Ⅰ(60点以上)	Ⅰ(60点以上)
総合判定	修繕・改修 / 優先度３	維持管理 / 優先度３	維持管理 / 優先度３
評価結果	計画的な大規模修繕等により、施設機能を維持。	計画的な維持管理により、施設機能を維持。	計画的な維持管理により、施設機能を維持。

個　別　施　設　計　画　（個　票）

番　号	12	策定年月	令和３年３月	最終更新	令和３年３月
施設名	林業技術センター			財産区分	行政財産

１　施設内建物の概要(続き)

番号：名称		4: 研究棟	5: 苗畑作業舎	6: きのこ作業舎
構　造		鉄筋コンクリート　造	木　造	木　造
階　数		地上　2　階 地下　－　階	地上　1　階 地下　－　階	地上　1　階 地下　－　階
竣工年		西暦　1992　年　12　月	西暦　1993　年　3　月	西暦　1993　年　3　月
建築：延床		840.84　㎡ ┊ 1,442.92　㎡	243.01　㎡ ┊ 231.86　㎡	169.76　㎡ ┊ 162.12　㎡
主な設備		受変電設備(屋外形) 発電設備(ﾃﾞｨｰｾﾞﾙ) 電灯設備 自動火災報知設備、非常警報設備 弱電設備(拡声設備) 冷暖房設備(蒸気方式、ｴｱｺﾝ等) 熱源設備(無圧式温水発生器) 空調機器(ﾕﾆｯﾄ形) 自動制御設備(個別制御) 給水設備(高置水槽方式) 排水設備(浄化槽) 給湯設備(局所式:ｶﾞｽ湯沸器) ｶﾞｽ設備(液化石油ｶﾞｽ) 消火設備(屋内消火栓、粉末消火)	受変電設備(屋外形) 電灯設備 自動火災報知設備 非常警報設備 冷暖房設備(FFｽﾄｰﾌﾞ、ｴｱｺﾝ等) 給水設備(高置水槽方式) 排水設備(浄化槽) 給湯設備(局所式:ｶﾞｽ湯沸器) ｶﾞｽ設備(液化石油ｶﾞｽ) 消火設備(粉末消火)	受変電設備(ｷｭｰﾋﾞｸﾙ式) 電灯設備 自動火災報知設備 非常警報設備 弱電設備(拡声設備) 冷暖房方式(FFｽﾄｰﾌﾞ等) 熱源設備(その他) 給水設備(水道直結方式) 排水設備(浄化槽) 給湯設備(局所式:ｶﾞｽ湯沸器) ｶﾞｽ設備(液化石油ｶﾞｽ) 消火設備(粉末消火)
主な用途		事務室	作業室	作業室
老朽化の状況	劣化度調査	経過観察箇所多数	経過観察箇所多数	経過観察箇所多数
	定期点検	指摘なし	指摘なし	指摘なし
	修繕工事	—	—	—
	特記			
優先度	建物性能	高ー	高ー	高ー
	劣化：年数	中：Ｂ異常有(経過観察)　高	中：Ｂ異常有(経過観察)　高	中：Ｂ異常有(経過観察)　高
	利用度	高	高	高
	１次評価	維持管理	維持管理	維持管理
	重要性	75: 代替施設なし	75: 代替施設なし	75: 代替施設なし
	見通し	△15: 多目的利用の可能性なし	△15: 多目的利用の可能性なし	△15: 多目的利用の可能性なし
	２次評価	Ⅰ(60点以上)	Ⅰ(60点以上)	Ⅰ(60点以上)
総合判定		修繕・改修　優先度３	維持管理　優先度３	維持管理　優先度３
	評価結果	計画的な大規模修繕等により、施設機能を維持。	計画的な維持管理により、施設機能を維持。	計画的な維持管理により、施設機能を維持。

個　別　施　設　計　画　（個　票）

番　号	12	策定年月	令和３年３月	最終更新	令和３年３月
施 設 名	林業技術センター			財産区分	行政財産

１　施設内建物の概要(続き)

番号：名称		7：車庫	8：温室	9：研修宿泊棟
構　造		木　　　造	鉄骨　　　造	木　　　造
階　数		地上　1　階 地下　－　階	地上　1　階 地下　－　階	地上　1　階 地下　－　階
竣工年		西暦　1993　年　3　月	西暦　1993　年　3　月	西暦　1994　年　3　月
建築：延床		159.06 ㎡ ┆ 146.79 ㎡	105.99 ㎡ ┆ 105.99 ㎡	581.92 ㎡ ┆ 837.20 ㎡
主な設備		受変電設備(ｷｭｰﾋﾞｸﾙ式) 電灯設備 非常警報設備	受変電設備(ｷｭｰﾋﾞｸﾙ式) 電灯設備 熱源設備(その他) 給水設備(水道直結方式) 排水設備	受変電設備(屋外形) 電灯設備 自動火災報知設備、非常警報設備 弱電設備(拡声設備) 冷暖房設備(FFｽﾄｰﾌﾞ、ｴｱｺﾝ等) 自動制御設備(個別制御) 給水設備(高置水槽方式) 排水設備(浄化槽) 給湯設備(局所式:無圧式温水発生器、ｶﾞｽ湯沸器) ｶﾞｽ設備(液化石油ｶﾞｽ) 消火設備(屋内消火栓、粉末消火)
主な用途		車庫	温室	宿泊施設 旅館業法対象施設(簡易宿所)
老朽化の状況	劣化度調査	経過観察箇所多数	経過観察箇所多数	経過観察箇所多数
	定期点検	指摘なし	対象外	指摘なし
	修繕工事	―	―	排煙窓
	特記			
優先度	建物性能	高ー	高ー	高ー
	劣化：年数	中：B異常有(経過観察)　高	中：B異常有(経過観察)　高	中：B異常有(経過観察)　高
	利用度	高	高	高
	１次評価	維持管理	維持管理	維持管理
	重要性	75：代替施設なし	75：代替施設なし	65：代替施設なし
	見通し	△15：多目的利用の可能性なし	△15：多目的利用の可能性なし	△ 15 多目的利用の可能性なし
	２次評価	Ⅰ(60点以上)	Ⅰ(60点以上)	Ⅱ(60～50点)
総合判定		維持管理　優先度３	維持管理　優先度３	修繕・改修　優先度４
	評価結果	計画的な維持管理により、施設機能を維持。	計画的な維持管理により、施設機能を維持。	計画的な大規模修繕等により、施設機能を維持。

個　別　施　設　計　画　（個　票）

番　号	12	策定年月	令和３年３月	最終更新	令和３年３月
施設名	林業技術センター			財産区分	行政財産

１　施設内建物の概要（続き）

番号：名称		10：林業機械研修棟	11：機械保管庫	12：チップボイラー室棟
構　造		鉄骨　造	木　造	鉄筋コンクリート　造
階　数		地上　1　階 地下　－　階	地上　1　階 地下　－　階	地上　1　階 地下　－　階
竣工年		西暦　1994　年　3　月	西暦　1995　年　3　月	西暦　2003　年　3　月
建築：延床		314.28　㎡ ┆ 260.28　㎡	251.98　㎡ ┆ 232.69　㎡	103.32　㎡ ┆ 103.32　㎡
主な設備		受変電設備（ｷｭｰﾋﾞｸﾙ式） 電灯設備 自動火災報知設備 非常警報設備 弱電設備（拡声） 給水設備（水道直結方式） 排水設備（浄化槽） 給湯設備（局所式：ｶﾞｽ湯沸器） ｶﾞｽ設備（液化石油ｶﾞｽ） 消火設備（粉末消火）	受変電設備（ｷｭｰﾋﾞｸﾙ式） 電灯設備 自動火災報知設備 非常警報設備 弱電設備（拡声） 冷暖房設備（ｴｱｺﾝ等） 給水設備（水道直結方式） 消火設備（粉末消火）	受変電設備（ｷｭｰﾋﾞｸﾙ式） 電灯設備 消火設備（粉末消火）
主な用途		研修施設	倉庫	ボイラー室
老朽化の状況	劣化度調査	経過観察箇所多数	経過観察箇所多数	経過観察箇所多数
	定期点検	指摘なし	指摘なし	指摘なし
	修繕工事	―	―	―
	特記			
優先度	建物性能	高ー	高ー	高ー
	劣化：年数	中：Ｂ異常有（経過観察）／高	中：Ｂ異常有（経過観察）／高	中：Ｂ異常有（経過観察）／高
	利用度	高	高	高
	１次評価	維持管理	維持管理	維持管理
	重要性	75：代替施設なし	75：代替施設なし	75：代替施設なし
	見通し	△15：多目的利用の可能性なし	△15：多目的利用の可能性なし	△15：多目的利用の可能性なし
	２次評価	Ⅰ（60点以上）	Ⅰ（60点以上）	Ⅰ（60点以上）
総合判定		維持管理／優先度３	維持管理／優先度３	維持管理／優先度３
	評価結果	計画的な維持管理により、施設機能を維持。	計画的な維持管理により、施設機能を維持。	計画的な維持管理により、施設機能を維持。

個別施設計画（個票）

番号	12	策定年月	令和３年３月	最終更新	令和３年３月
施設名	林業技術センター			財産区分	行政財産

１　施設内建物の概要(続き)

番号：名称		13：機材庫（林木育種場）		14：堆肥舎（林木育種場）		15：作業員休憩舎(林木育種場)	
構造		木造		木造		鉄骨造	
階数		地上 2 階 地下 － 階		地上 1 階 地下 － 階		地上 1 階 地下 － 階	
竣工年		西暦 1965 年 12 月		西暦 1967 年 1 月		西暦 1998 年 3 月	
建築：延床		66.12 ㎡	121.92 ㎡	108.00 ㎡	108.00 ㎡	353.83 ㎡	353.83 ㎡
主な設備		受変電設備(ｷｭｰﾋﾞｸﾙ式) 電灯設備 消火設備(粉末消火)				電灯設備 給水設備(水道直結方式) 排水設備(浄化槽) 給湯設備(局所式:ｶﾞｽ湯沸器) ｶﾞｽ設備(液化石油ｶﾞｽ) 消火設備(粉末消火)	
主な用途		倉庫		堆肥舎		休憩舎	
老朽化の状況	劣化度調査	老朽化著しい		経過観察箇所多数		老朽化著しい	
	定期点検	対象外		対象外		対象外	
	修繕工事	―		屋根葺替え		―	
	特記						
優先度	建物性能	低＋		低＋		高－	
	劣化：年数	中：Ｂ異常有(経過観察)	低	中：Ｂ異常有(経過観察)	低	中：Ｂ異常有(経過観察)	高
	利用度	高		高		高	
	１次評価	修繕・改修		修繕・改修		維持管理	
	重要性	75：代替施設なし		75：代替施設なし		75：代替施設なし	
	見通し	△15：多目的利用の可能性なし		△15：多目的利用の可能性なし		△15：多目的利用の可能性なし	
	２次評価	Ⅰ(60点以上)		Ⅰ(60点以上)		Ⅰ(60点以上)	
総合判定		修繕・改修	優先度１	修繕・改修	優先度１	維持管理	優先度３
	評価結果	計画的な大規模修繕等により長寿命化を図り、施設機能を維持。		計画的な大規模修繕等により長寿命化を図り、施設機能を維持。		計画的な維持管理により、施設機能を維持。	

２　対応方針

(1)　基本的な方針

計画的な大規模修繕等により長寿命化を図り、施設機能を維持する。

(2)　社会経済情勢等の変化への対応

岩手県の農林水産業、食品工業等の産業振興に寄与するため、適切な維持管理を行っていく。

(3)　公共施設の有効活用

有効活用について検討していない。
また、試験研究機関という特殊性から、他用途・多目的の利用には適さない。

３　長寿命化等対策の内容と実施時期

(1)　長寿命化等対策の方向性

施設の長寿命化及び屋根の腐食防止のため、屋根の塗装を優先し対策を図る。
建築後25年以上が経過していることから、定期点検や日常点検等により施設の劣化状況の把握に努め、計画的な維持管理により、コスト縮減・財政負担の平準化を図りながら長寿命化を図る。

(2)　対策の内容

区　分	令和２年度 (2020年度)	令和３年度 (2021年度)	令和４年度 (2022年度)	令和５年度 (2023年度)	令和６年度 (2024年度)
1:事務所棟				屋根塗装	
2:講義棟	維持管理（劣化状況の把握）				
3:木材実験棟	維持管理（劣化状況の把握）				
4:研究棟			屋根塗装		
5:苗畑作業舎	維持管理（劣化状況の把握）				
6:きのこ作業舎	維持管理（劣化状況の把握）				
7:車庫	維持管理（劣化状況の把握）				
8:温室	維持管理（劣化状況の把握）				
9:研修宿泊棟					屋根塗装
10:林業機械研修棟	維持管理（劣化状況の把握）				
11:機械保管倉庫	維持管理（劣化状況の把握）				
12:ﾁｯﾌﾟﾎﾞｲﾗｰ室棟	維持管理（劣化状況の把握）				
13:機材庫	維持管理（劣化状況の把握）、大規模修繕計画の検討				
14:堆肥舎	維持管理（劣化状況の把握）、大規模修繕計画の検討				
15:作業員休憩舎	維持管理（劣化状況の把握）				

４　概算額

42百万円

【概算費用内訳(令和２年度（2020年度）～令和６年度（2024年度））】

	概算額	内　訳
R2	684千円	その他維持補修
R3	3,160千円	その他維持補修
R4	11,160千円	屋根塗装修繕（8,000千円） その他維持補修（3,160千円）
R5	16,160千円	屋根塗装修繕（13,000千円） その他維持補修（3,160千円）
R6	10,160千円	屋根塗装修繕（7,000千円） その他維持補修（3,160千円）

※　試算の一例であること。

個　別　施　設　計　画　（個　票）

番　号	13	策定年月	令和３年３月	最終更新	令和３年３月
施設名	水産技術センター			財産区分	行政財産
所在地	釜石市大字平田3-75-3			敷地面積	39,997.18　㎡
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	指定なし	用途地域	準工業地域
設置目的業務概要等	平成６年に水産試験場と南部及び北部栽培漁業センターの研究部門を統合し、水産技術センターと名称を変更して開所。 漁場環境から生産、加工、流通、消費に至るまでの一貫した調査研究と普及指導を実施。				

１　施設内建物の概要

番号：名称	1：公舎	2：海水取水設備ポンプ室	3：研究管理棟
構　造	ブロック　造	コンクリートブロック　造	鉄筋コンクリート　造
階　数	地上　2　階　地下　－　階	地上　1　階　地下　－　階	地上　2　階　地下　－　階
竣工年	西暦　1968　年　3　月	西暦　1992　年　5　月	西暦　1994　年　3　月
建築：延床	79.49　㎡ ／ 158.98　㎡	121.62　㎡ ／ 121.62　㎡	2,138.10　㎡ ／ 4,215.88　㎡
主な設備	弱電設備(ﾃﾚﾋﾞ共同受信) 給水設備(水道直結方式) 排水設備(公共下水道) ｶﾞｽ設備(都市ｶﾞｽ)	受変電設備(ｷｭｰﾋﾞｸﾙ式) 発電設備(ｶﾞｽﾀｰﾋﾞﾝ) 電灯設備 警報設備 構内交換設備 弱電設備 自動制御設備(中央式監視制御) 給水設備(加圧送水方式) 排水設備 消火設備(粉末消火)	受変電設備(ｷｭｰﾋﾞｸﾙ式) 発電設備(ｶﾞｽﾀｰﾋﾞﾝ)、電灯設備 自動火災報知設備、非常警報設備 構内交換設備 弱電設備(拡声、ﾃﾚﾋﾞ共同受信) ｴﾚﾍﾞｰﾀｰ設備(人荷用EV) 冷暖房設備(中央式冷暖房) 熱源設備(直吸収冷温水器) 空調機器(ﾌｧﾝｺｲﾙﾕﾆｯﾄ) 自動制御設備(中央式監視制御) 給水設備(加圧送水方式) 排水設備(浄化槽) 給湯設備(中央式:真空式温水発生器) 消火設備(屋内消火栓、粉末消火)
主な用途	4/5戸　入居中	ポンプ室	庁舎・事務所 研究室

老朽化の状況		1：公舎	2：海水取水設備ポンプ室	3：研究管理棟
	劣化度調査	建物外部全般において劣化	天井・壁にシミ	排水設備のｾﾝｻｰ不良
	定期点検	指摘なし	対象外	対象外
	修繕工事	―	海水取水管	海水ﾎﾟﾝﾌﾟ、自家発電設備、公共下水道接続他
	特記		2014年3月：災害復旧工事	2014年3月：災害復旧工事

優先度		1：公舎	2：海水取水設備ポンプ室	3：研究管理棟
	建物性能	低	高	高ー
	劣化：年数	低：Ｃ異常有(要調査) ／ 低	高：Ａ異常無 ／ 高	中：Ｂ異常有(経過観察) ／ 高
	利用度	中	高	高
	１次評価	修繕・改修	維持管理	維持管理
	重要性	35：代替施設あり	75：代替施設なし	75：代替施設なし
	見通し	△15：代替施設あり	△15：多目的利用の可能性なし	△15：多目的利用の可能性なし
	２次評価	Ⅳ(40点未満)	Ⅰ(60点以上)	Ⅰ(60点以上)

総合判定	用途廃止 ／ 優先度４	維持管理 ／ 優先度３	維持管理 ／ 優先度３
評価結果	劣化著しく、転用不可能なことから、用途廃止が妥当。	計画的な維持管理により、施設機能を維持。	計画的な維持管理により、施設機能を維持。

個 別 施 設 計 画 （個 票）

番 号	13	策定年月	令和３年３月	最終更新	令和３年３月
施 設 名	水産技術センター			財産区分	行政財産

１　施設内建物の概要（続き）

		4：水産加工解放実験棟		5：ろ過棟		6：種苗開発棟	
番号：名称		4：水産加工解放実験棟		5：ろ過棟		6：種苗開発棟	
構 造		鉄筋コンクリート　造		鉄筋コンクリート　造		鉄筋コンクリート　造	
階 数		地上　1　階 地下　－　階		地上　1　階 地下　－　階		地上　1　階 地下　－　階	
竣 工 年		西暦　1994　年　3　月		西暦　1994　年　3　月		西暦　1994　年　3　月	
建築：延床		791.98 ㎡	791.98 ㎡	201.73 ㎡	201.73 ㎡	2,419.73 ㎡	2,419.73 ㎡
主な設備		受変電設備（屋内形） 発電設備（ｶﾞｽﾀｰﾋﾞﾝ） 電灯設備 自動火災報知設備、非常警報設備 構内交換設備 弱電設備（拡声） 冷暖房設備（中央式冷暖房） 熱源設備（直吸収冷温水機） 空調機器（ﾌｧﾝｺｲﾙﾕﾆｯﾄ） 自動制御設備（中央式監視制御） 給水設備（加圧送水方式） 排水設備（浄化槽） 給湯設備（中央式：真空式温水発生器） 消火設備（屋内消火栓）		給水設備（加圧送水方式）		受変電設備（ｷｭｰﾋﾞｸﾙ式） 発電設備（ｶﾞｽﾀｰﾋﾞﾝ） 電灯設備 自動火災報知設備、非常警報設備 弱電設備（拡声） 冷暖房設備（ｴｱｺﾝ等） 自動制御設備（中央式監視制御） 給水設備（加圧送水方式） 排水設備（浄化槽） 給湯設備（局所式） ｶﾞｽ設備（LPG） 消火設備（粉末消火）	
主な用途		実験室		機械室（研究用種苗等の育成に使用する海水をろ過）		種苗生産棟	
老朽化の状況	劣化度調査	室内雨水管水漏れ		側溝に欠損、金物に錆あり		自家発電設備雨漏れ、換気扇不具合あり	
	定期点検	対象外		外壁白華、錆汁、亀裂。屋根塗膜防水劣化。配管架台腐食ほか		壁の亀裂、換気扇固定ボルトの欠損ほか	
	修繕工事	－		海水ろ過器ろ材交換		自動火災報知設備	
	特 記	2014年3月：災害復旧工事				2014年3月：災害復旧工事	
優先度	建物性能	高		高－		高－	
	劣化：年数	高：Ａ異常無	高	中：Ｂ異常有（経過観察）	高	中：Ｂ異常有（経過観察）	高
	利用度	高		高		高	
	１次評価	維持管理		維持管理		維持管理	
	重要性	75：代替施設なし		75：代替施設なし		75：代替施設なし	
	見通し	△15：多目的利用の可能性なし		△15：多目的利用の可能性なし		△15：多目的利用の可能性なし	
	２次評価	Ⅰ（60点以上）		Ⅰ（60点以上）		Ⅰ（60点以上）	
総合判定		維持管理	優先度３	維持管理	優先度３	維持管理	優先度３
	評価結果	計画的な維持管理により、施設機能を維持。		計画的な維持管理により、施設機能を維持。		計画的な維持管理により、施設機能を維持。	

個 別 施 設 計 画 （個 票）

番　号	13	策定年月	令和３年３月	最終更新	令和３年３月
施 設 名	水産技術センター			財産区分	行政財産

１　施設内建物の概要（続き）

番号：名称		7：漁具倉庫棟		8：サケ大規模実証試験施設	
構　造		鉄筋コンクリート　造		鉄骨　造	
階　数		地上　1　階 地下　－　階		地上　1　階 地下　－　階	
竣工年		西暦　1994　年　3　月		西暦　2014　年　11　月	
建築：延床		1,078.95 ㎡	1,078.95 ㎡	120.06 ㎡	120.06 ㎡
主な設備		受変電設備(ｷｭｰﾋﾞｸﾙ式) 発電設備(ｶﾞｽﾀｰﾋﾞﾝ) 電灯設備 自動火災報知設備 非常警報設備 弱電設備(拡声) 消火設備(粉末消火)		電灯設備 給水設備(高置水槽方式) 排水設備	
主な用途		倉庫		孵化室	
老朽化の状況	劣化度調査	内装			
	定期点検	土間床亀裂		対象外	
	修繕工事	ｼｰﾘﾝｸﾞ補修		－	
	特記	2014年3月：災害復旧工事			
優先度	建物性能	高		高	
	劣化：年数	高：Ａ異常無	高	高：Ａ異常無	高
	利用度	高		高	
	１次評価	維持管理		維持管理	
	重要性	75：代替施設なし		75：代替施設なし	
	見通し	△15：多目的利用の可能性なし		△15：多目的利用の可能性なし	
	２次評価	Ⅰ（60点以上）		Ⅰ（60点以上）	
総合判定		維持管理	優先度３	維持管理	優先度３
	評価結果	計画的な維持管理により、施設機能を維持。		施設機能を維持。	

２　対応方針

(1)　基本的な方針

計画的な維持管理により長寿命化を図る。

(2)　社会経済情勢等の変化への対応

岩手県の漁業及び水産流通加工業の発展に寄与するため、適切な維持管理を行っていく。

(3)　公共施設の有効活用

有効活用について検討していない。
また、試験研究機関という特殊性から、他用途・多目的の利用には適さない。

３　長寿命化等対策の内容と実施時期

(1)　長寿命化等対策の方向性

震災復旧工事で新替していない機械設備等については、現時点において大きな故障等は見られないが、設置後25年以上が経過していることから、定期点検や日常点検等により施設の劣化状況の把握に努め、計画的な維持管理により、コスト縮減・財政負担の平準化を図りながら長寿命化を図る。

(2)　対策の内容

区　分	令和２年度 (2020年度)	令和３年度 (2021年度)	令和４年度 (2022年度)	令和５年度 (2023年度)	令和６年度 (2024年度)
1:公舎	維持管理(劣化状況の把握)、用途廃止を検討				
2:海水取水設備ﾎﾟﾝﾌﾟ室	維持管理(劣化状況の把握)、大規模修繕計画の検討				
3:研究管理棟	維持管理（劣化状況の把握）				
4:水産加工開放実験棟	維持管理（劣化状況の把握）				
5:ろ過棟	維持管理(劣化状況の把握)、大規模修繕計画の検討				
6:種苗開発棟	維持管理（劣化状況の把握）				
7:漁具倉庫	維持管理（劣化状況の把握）				
8:ｻｹ大規模実証試験施設	維持管理（劣化状況の把握）				

４　概算額

43百万円

【概算費用内訳(令和２年度（2020年度）～令和６年度（2024年度））】

	概算額	内　訳
R2	24,844千円	その他維持補修
R3	4,463千円	その他維持補修
R4	4,463千円	その他維持補修
R5	4,463千円	その他維持補修
R6	4,463千円	その他維持補修

※　試算の一例であること。

個 別 施 設 計 画 （個 票）

番 号	14	策定年月	令和３年３月	最終更新	令和３年３月
施設名	水産技術センター大船渡研究室			財産区分	行政財産
所在地	大船渡市末崎町字鶴巻120番			敷地面積	28,411.00 ㎡
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	指定なし	用途地域	指定なし
設置目的 業務概要 等	昭和56年に県営栽培漁業センターとして設置。平成6年に同センターの研究部門を水産技術センターに統合し、大船渡研究室に名称変更。 現在は（一社）岩手県栽培漁業協会がアワビ、ヒラメ等の種苗生産を実施。				

１　施設内建物の概要

番号：名称		1：管理棟		2：機械棟１		3：アワビ棟	
構造		鉄筋コンクリート　造		鉄筋コンクリート　造		鉄筋コンクリート　造	
階数		地上　2　階 地下　－　階		地上　1　階 地下　－　階		地上　1　階 地下　－　階	
竣工年		西暦　1979　年　3　月		西暦　1980　年　3　月		西暦　1980　年　3　月	
建築：延床		458.22 ㎡	860.88 ㎡	112.50 ㎡	112.50 ㎡	798.60 ㎡	798.60 ㎡
主な設備		受変電設備(屋内形) 電灯設備 自動火災報知設備、非常警報設備 弱電設備(拡声、ﾃﾚﾋﾞ共同受信) 冷暖房設備(FFｽﾄｰﾌﾞ、ｴｱｺﾝ等) 空調機器(ﾊﾟｯｹｰｼﾞ形) 自動制御設備(中央式監視制御) 給水設備(加圧送水方式) 排水設備(浄化槽) 給湯設備(局所式:ｶﾞｽ湯沸器) ｶﾞｽ設備(液化石油ｶﾞｽ) 消火設備(粉末消火)		受変電設備(ｷｭｰﾋﾞｸﾙ式) 発電設備(ﾃﾞｨｰｾﾞﾙ) 電灯設備 非常警報設備 消火設備(粉末消火)		受変電設備(屋内形) 電灯設備 非常警報設備 弱電設備(ﾃﾚﾋﾞ共同受信) 冷暖房設備(ｴｱｺﾝ等) 熱源設備(真空式温水発生機) 空調機器(ﾊﾟｯｹｰｼﾞ形) 自動制御設備(個別制御) 給水設備(加圧送水方式) 排水設備(浄化槽) 給湯設備(局所式:ｶﾞｽ湯沸器) ｶﾞｽ設備(液化石油ｶﾞｽ) 消火設備(粉末消火)	
主な用途		事務室、資材倉庫、 小会議室、休憩室、 研究室		機械室		親貝飼育室、産卵誘発室、 幼生管理室、採苗室、 機械室、顕微鏡室	
老朽化の状況	劣化度調査	目立った劣化は見られない		目立った劣化は見られない		目立った劣化は見られない	
	定期点検	対象外		対象外		対象外	
	修繕工事	－		海水ﾋｰﾀｰ設備、ﾙｰﾂﾌﾞﾛﾜｰ設備		ﾙｰﾂﾌﾞﾛﾜｰ設備	
	特記						
優先度	建物性能	高－		高－		高－	
	劣化：年数	高：Ａ異常無	中	高：Ａ異常無	中	高：Ａ異常無	中
	利用度	高		高		高	
	１次評価	維持管理		維持管理		維持管理	
	重要性	75：代替施設なし		75：代替施設なし		75：代替施設なし	
	見通し	△15：多目的利用の可能性なし		△15：多目的利用の可能性なし		△15：多目的利用の可能性なし	
	２次評価	Ⅰ(60点以上)		Ⅰ(60点以上)		Ⅰ(60点以上)	
総合判定		維持管理	優先度３	維持管理	優先度３	維持管理	優先度３
	評価結果	計画的な維持管理により、施設機能を維持。		計画的な維持管理により、施設機能を維持。		計画的な維持管理により、施設機能を維持。	

個別施設計画（個票）

番号	14	策定年月	令和３年３月	最終更新	令和３年３月
施設名	水産技術センター大船渡研究室			財産区分	行政財産

1　施設内建物の概要(続き)

番号：名称		4: 魚類飼育棟		5: 倉庫棟		6: アワビ作業棟	
構造		鉄筋コンクリート　造		鉄骨　造		鉄骨　造	
階数		地上　1　階 地下　－　階		地上　1　階 地下　－　階		地上　1　階 地下　－　階	
竣工年		西暦　1980　年　3　月		西暦　1981　年　3　月		西暦　1981　年　3　月	
建築：延床		2,715.00 ㎡	2,715.00 ㎡	528.60 ㎡	528.60 ㎡	349.92 ㎡	349.92 ㎡
主な設備		受変電設備(屋内形:ｷｭｰﾋﾞｸﾙ式) 電灯設備 非常警報設備 弱電設備(ﾃﾚﾋﾞ共同受信) 冷暖房設備(ｴｱｺﾝ等) 熱源設備(真空式温水発生機) 空調機器(ﾊﾟｯｹｰｼﾞ形) 自動制御設備(個別制御) 給水設備(加圧送水方式) 給湯設備(局所式:ｶﾞｽ湯沸器) ｶﾞｽ設備(液化石油ｶﾞｽ) 消火設備(粉末消火)		電灯設備		受変電設備(屋内形) 電灯設備 非常警報設備 弱電設備(電気時計) 給水設備(加圧送水方式) 給湯設備(局所式:ｶﾞｽ湯沸器、貯湯式電気温水器) 消火設備(粉末消火)	
主な用途		魚類飼育管理 機械室 配合餌料室		資器材保管倉庫		アワビ稚貝の剥離・選別・計測等	
老朽化の状況	劣化度調査	天井鉄骨ｻﾋﾞ腐食		目立った劣化は見られない		屋根、外壁の腐食	
	定期点検	対象外		はり、けたの鉄骨部材の錆		対象外	
	修繕工事	海水ﾋｰﾀｰ、ﾙｰﾂﾌﾞﾛﾜｰ設備、自動給餌装置		―			
	特記						
優先度	建物性能	中		高－		中	
	劣化：年数	中：Ｂ異常有(経過観察)	中	高：Ａ異常無	中	中：Ｂ異常有(経過観察)	中
	利用度	高		高		高	
	１次評価	修繕・改修		維持管理		修繕・改修	
	重要性	75: 代替施設なし		75: 代替施設なし		75: 代替施設なし	
	見通し	△15: 多目的利用の可能性なし		△15: 多目的利用の可能性なし		△15: 多目的利用の可能性なし	
	２次評価	Ⅰ(60点以上)		Ⅰ(60点以上)		Ⅰ(60点以上)	
総合判定		修繕・改修	優先度２	維持管理	優先度３	修繕・改修	優先度２
	評価結果	計画的な大規模修繕等により長寿命化を図り、施設機能を維持。		計画的な維持管理により、施設機能を維持。		計画的な大規模修繕等により長寿命化を図り、施設機能を維持。	

個別施設計画（個票）

番号	14	策定年月	令和３年３月	最終更新	令和３年３月
施設名	水産技術センター大船渡研究室			財産区分	行政財産

1　施設内建物の概要(続き)

	番号：名称	7：親魚棟		8：ポンプ棟１		9：ポンプ棟２	
	構造	鉄骨　造		鉄筋コンクリート　造		鉄筋コンクリート　造	
	階数	地上　1　階	地下　－　階	地上　2　階	地下　1　階	地上　3　階	地下　1　階
	竣工年	西暦　1982　年　3　月		西暦　2013　年　10　月		西暦　2013　年　10　月	
	建築：延床	736.80　㎡	736.80　㎡	168.58　㎡	168.58　㎡	177.99　㎡	177.99　㎡
	主な設備	受変電設備(屋内形) 電灯設備 非常警報設備 給水設備(加圧送水方式) 消火設備(粉末消火)		受変電設備(屋内形) 電灯設備 非常警報設備 自動制御設備(個別制御) 給水設備 消火設備(粉末消火)		受変電設備(屋内形) 電灯設備 非常警報設備 給水設備 消火設備(粉末消火)	
	主な用途	産卵用親魚及び成魚の周年飼育		水槽への海水供給 逆洗用大型海水プール		水槽への海水供給 倉庫 逆洗用大型海水プール	
老朽化の状況	劣化度調査	屋根、外壁の腐食		屋根、外壁の腐食		屋根、外壁の腐食	
	定期点検	対象外		対象外		対象外	
	修繕工事	—		—		—	
	特記						
優先度	建物性能	高－		高－		高－	
	劣化：年数	中：Ｂ異常有(経過観察)	高	中：Ｂ異常有(経過観察)	高	中：Ｂ異常有(経過観察)	高
	利用度	高		高		高	
	１次評価	維持管理		維持管理		維持管理	
	重要性	75：代替施設なし		75：代替施設なし		75：代替施設なし	
	見通し	△15：多目的利用の可能性なし		△15：多目的利用の可能性なし		△15：多目的利用の可能性なし	
	２次評価	Ⅰ(60点以上)		Ⅰ(60点以上)		Ⅰ(60点以上)	
総合判定		維持管理	優先度３	維持管理	優先度３	維持管理	優先度３
	評価結果	計画的な維持管理により、施設機能を維持。		計画的な維持管理により、施設機能を維持。		計画的な維持管理により、施設機能を維持。	

２　対応方針

(1)　基本的な方針

計画的な維持管理により長寿命化を図る。

(2)　社会経済情勢等の変化への対応

岩手県の栽培漁業の振興に寄与するため、適切な維持管理を行っていく。

(3)　公共施設の有効活用

有効活用について検討していない。
また、試験研究機関という特殊性から、他用途・多目的の利用には適さない。

３　長寿命化等対策の内容と実施時期

(1)　長寿命化等対策の方向性

現時点において大きな故障等は見られないが、築40年以上経過している施設もあることから、定期点検や日常点検等により施設の劣化状況の把握に努め、計画的な維持管理により、コスト縮減・財政負担の平準化を図りながら長寿命化を図る。

(2)　対策の内容

区　分	令和２年度(2020年度)	令和３年度(2021年度)	令和４年度(2022年度)	令和５年度(2023年度)	令和６年度(2024年度)
1:管理棟	維持管理（劣化状況の把握）→				
2:機械棟１	維持管理（劣化状況の把握）→				
3:ｱﾜﾋﾞ棟	維持管理（劣化状況の把握）→				
4:魚類飼育棟	維持管理（劣化状況の把握）、大規模修繕計画の検討→				
5:倉庫棟(旧研究棟)	維持管理（劣化状況の把握）→				
6:ｱﾜﾋﾞ作業棟	維持管理（劣化状況の把握）、大規模修繕計画の検討→				
7:親魚棟	維持管理（劣化状況の把握）→				
8:ﾎﾟﾝﾌﾟ棟1	維持管理（劣化状況の把握）→				
9:ﾎﾟﾝﾌﾟ棟2	維持管理（劣化状況の把握）→				

４　概算額

13百万円

【概算費用内訳(令和２年度（2020年度）～令和６年度（2024年度））】

	概算額	内　訳
R2	－千円	
R3	3,160千円	その他維持補修
R4	3,160千円	その他維持補修
R5	3,160千円	その他維持補修
R6	3,160千円	その他維持補修

※　試算の一例であること。

個別施設計画（個票）

番号	15	策定年月	令和３年３月	最終更新	令和３年３月
施設名	水産技術センター種市研究室			財産区分	行政財産
所在地	九戸郡洋野町種市20地割荒津内172番3			敷地面積	26,778.00 ㎡
都市計画区域	都市計画区域外	防火地域	指定なし	用途地域	指定なし
設置目的 業務概要 等	昭和61年に県営北部栽培漁業センターとして設置。平成6年に同センターの研究部門を水産技術センターに統合し、種市渡研究室に名称変更。 現在は（一社）岩手県栽培漁業協会がウニ、ナマコ等の種苗生産を実施。				

１　施設内建物の概要

番号：名称		1：採苗棟		2：ろ過器棟		3：電気室	
構造		鉄筋コンクリート　造		鉄筋コンクリート　造		鉄筋コンクリート　造	
階数		地上　1　階	地下　－　階	地上　1　階	地下　－　階	地上　1　階	地下　－　階
竣工年		西暦　1986　年　3　月		西暦　1987　年　3　月		西暦　1987　年　3　月	
建築：延床		1,391.60 ㎡	1,296.00 ㎡	340.00 ㎡	340.00 ㎡	111.00 ㎡	111.00 ㎡
主な設備		受変電設備(屋内形) 電灯設備 自動火災報知設備、非常警報設備 構内交換設備 弱電設備(拡声) 冷暖房設備(FFｽﾄｰﾌﾞ等) 熱源設備(真空式温水発生機、ﾁﾘﾝｸﾞﾕﾆｯﾄ) 空調機器(ﾕﾆｯﾄ形) 給水設備(加圧送水方式) 排水設備(浄化槽) 給湯設備(局所式:ｶﾞｽ湯沸器) ｶﾞｽ設備(液化石油ｶﾞｽ) 消火設備(粉末消火)		受変電設備(屋内形) 電灯設備 給水設備(加圧送水方式) 排水設備(浄化槽) 消火設備(粉末消火)		受変電設備(ｷｭｰﾋﾞｸﾙ式) 発電設備(ﾃﾞｨｰｾﾞﾙ) 電灯設備 消火設備(粉末消火)	
主な用途		種苗生産		機械室		機械室	
老朽化の状況	劣化度調査	金属屋根腐食		ｺﾝｸﾘｰﾄ劣化、埋没配管等発錆		目立った劣化は見られない	
	定期点検	対象外		対象外		対象外	
	修繕工事	―		海水ろ過器ろ材交換		―	
	特記	2013.3震災復旧工事				2013.3震災復旧工事	
優先度	建物性能	高－		高－		高	
	劣化：年数	中：Ｂ異常有(経過観察)	高	中：Ｂ異常有(経過観察)	高	高：Ａ異常無	高
	利用度	高		高		高	
	１次評価	維持管理		維持管理		維持管理	
	重要性	75：代替施設なし		75：代替施設なし		75：代替施設なし	
	見通し	△15：多目的利用の可能性なし		△15：多目的利用の可能性なし		△15：多目的利用の可能性なし	
	２次評価	Ⅰ(60点以上)		Ⅰ(60点以上)		Ⅰ(60点以上)	
総合判定		維持管理	優先度３	維持管理	優先度３	維持管理	優先度３
	評価結果	計画的な維持管理により、施設機能を維持。		計画的な維持管理により、施設機能を維持。		計画的な維持管理により、施設機能を維持。	

個　別　施　設　計　画　（個　票）

番　号	15	策定年月	令和３年３月	最終更新	令和３年３月
施設名	水産技術センター種市研究室			財産区分	行政財産

１　施設内建物の概要（続き）

		4: ポンプ室		5: 管理棟		6: 作業棟	
番号：名称		4: ポンプ室		5: 管理棟		6: 作業棟	
構　造		鉄筋コンクリート　造		鉄筋コンクリート　造		鉄骨　造	
階　数		地上　1　階 地下　2　階		地上　1　階 地下　－　階		地上　1　階 地下　－　階	
竣工年		西暦　1987　年　1　月		西暦　1987　年　3　月		西暦　1987　年　3　月	
建築：延床		161.00　㎡	161.00　㎡	279.00　㎡	279.00　㎡	352.00　㎡	352.00　㎡
主な設備		受変電設備（屋内形） 電灯設備 構内交換設備 弱電設備（拡声） 給水設備（加圧送水方式） 排水設備 消火設備（粉末消火）		電灯設備 非常警報設備 構内交換設備 弱電設備（拡声、ﾃﾚﾋﾞ共同受信） 冷暖房設備（FFｽﾄｰﾌﾞ等） 自動制御設備（中央式監視制御） 給水設備（加圧送水方式） 排水設備（浄化槽） 給湯設備（局所式:ｶﾞｽ湯沸器） ｶﾞｽ設備（液化石油ｶﾞｽ） 消火設備（粉末消火）		電灯設備 非常警報設備 構内交換設備 弱電設備（拡声） 給水設備（加圧送水方式） 排水設備（浄化槽） 消火設備（粉末消火）	
主な用途		ポンプ室		事務室		作業室	
老朽化の状況	劣化度調査	屋根、外壁、屋外設備の腐食		目立った劣化は見られない		屋根、外壁の腐食	
	定期点検	対象外		対象外		対象外	
	修繕工事	海水取水設備、採水ﾎﾟﾝﾌﾟ配管		—		—	
	特　記	2013.3震災復旧工事		2013.3震災復旧工事		2013.3震災復旧工事	
優先度	建物性能	高－		高		高	
	劣化：年数	中：Ｂ異常有（経過観察）	高	高：Ａ異常無	高	高：Ａ異常無	高
	利用度	高		高		高	
	１次評価	維持管理		維持管理		維持管理	
	重要性	75: 代替施設なし		75: 代替施設なし		75: 代替施設なし	
	見通し	△15: 多目的利用の可能性なし		△15: 多目的利用の可能性なし		△15: 多目的利用の可能性なし	
	２次評価	Ⅰ（60点以上）		Ⅰ（60点以上）		Ⅰ（60点以上）	
総合判定		維持管理	優先度３	維持管理	優先度３	維持管理	優先度３
	評価結果	計画的な維持管理により、施設機能を維持。		計画的な維持管理により、施設機能を維持。		計画的な維持管理により、施設機能を維持。	

個別施設計画（個票）

番号	15	策定年月	令和３年３月	最終更新	令和３年３月
施設名	水産技術センター種市研究室			財産区分	行政財産

１　施設内建物の概要（続き）

番号：名称		7：倉庫棟		8：波板収納庫	
構造		鉄骨　造		木　造	
階数		地上　1　階 地下　－　階		地上　1　階 地下　－　階	
竣工年		西暦　1988　年　3　月		西暦　2013　年　3　月	
建築：延床		239.00　㎡	239.00　㎡	115.93　㎡	115.93　㎡
主な設備		電灯設備 構内交換設備 弱電設備(拡声、ﾃﾚﾋﾞ共同受信) 冷暖房設備(FFｽﾄｰﾌﾞ等) 給水設備(加圧送水方式) 排水設備(浄化槽) 給湯設備(局所式:ｶﾞｽ湯沸器) ｶﾞｽ設備(液化石油ｶﾞｽ) 消火設備(粉末消火)		受変電設備(屋内形) 電灯設備 弱電設備(拡声) 消火設備(粉末消火)	
主な用途		倉庫		倉庫	
老朽化の状況	劣化度調査	屋根、外壁の腐食		屋根、外壁の腐食	
	定期点検	指摘なし		対象外	
	修繕工事	―		―	
	特記				
優先度	建物性能	高－		高	
	劣化：年数	中：Ｂ異常有(経過観察)	高	高：Ａ異常無	高
	利用度	高		高	
	１次評価	維持管理		維持管理	
	重要性	75：代替施設なし		75：代替施設なし	
	見通し	△15：多目的利用の可能性なし		△15：多目的利用の可能性なし	
	２次評価	Ⅰ（60点以上）		Ⅰ（60点以上）	
総合判定		維持管理	優先度３	維持管理	優先度３
	評価結果	計画的な維持管理により、施設機能を維持。		計画的な維持管理により、施設機能を維持。	

２　対応方針

(1)　**基本的な方針**

計画的な維持管理により長寿命化を図る。

(2)　**社会経済情勢等の変化への対応**

岩手県の栽培漁業の振興に寄与するため、適切な維持管理を行っていく。

(3)　**公共施設の有効活用**

有効活用について検討していない。
また、試験研究機関という特殊性から、他用途・多目的の利用には適さない。

３　長寿命化等対策の内容と実施時期

(1)　長寿命化等対策の方向性

現時点において大きな故障等は見られないが、築30年以上経過している施設もあることから、定期点検や日常点検等により施設の劣化状況の把握に努め、計画的な維持管理により、コスト縮減・財政負担の平準化を図りながら長寿命化を図る。

(2)　対策の内容

区　分	令和２年度 (2020年度)	令和３年度 (2021年度)	令和４年度 (2022年度)	令和５年度 (2023年度)	令和６年度 (2024年度)
1:採苗棟	維持管理（劣化状況の把握）→				
2:ろ過器棟	維持管理（劣化状況の把握）→				
3:電気室	維持管理（劣化状況の把握）→				
4:ﾎﾟﾝﾌﾟ室	維持管理（劣化状況の把握）→				
5:管理棟	維持管理（劣化状況の把握）→				
6:作業棟	維持管理（劣化状況の把握）→				
7:倉庫棟	維持管理（劣化状況の把握）→				
8:波板収納庫	維持管理（劣化状況の把握）→				

４　概算額

６百万円

【概算費用内訳(令和２年度（2020年度）～令和６年度（2024年度））】

	概算額	内　訳
R2	－千円	
R3	1,418千円	その他維持補修
R4	1,418千円	その他維持補修
R5	1,418千円	その他維持補修
R6	1,418千円	その他維持補修

※　試算の一例であること。

個 別 施 設 計 画 （個 票）

番号	16	策定年月	令和３年３月	最終更新	令和３年３月
施設名	内水面水産技術センター			財産区分	行政財産
所在地	八幡平市松尾寄木第１地割474番１			敷地面積	56,655.24 ㎡
都市計画区域	都市計画区域外	防火地域	指定なし	用途地域	指定なし
設置目的業務概要等	内水面漁業・内水面養殖振興の中核機関として、淡水魚の種苗生産・配布及び内水面養殖技術の開発やその普及、魚類防疫指導等を目的に設置。				

1　施設内建物の概要

番号：名称		1: 庁舎		2: 魚病センター本館		3: 孵化場	
構造		コンクリートブロック 造		鉄筋コンクリート 造		鉄骨 造	
階数		地上 1 階 地下 － 階		地上 2 階 地下 － 階		地上 1 階 地下 － 階	
竣工年		西暦 1970 年 9 月		西暦 1982 年 3 月		西暦 1977 年 12 月	
建築：延床		269.13 ㎡	269.13 ㎡	205.12 ㎡	385.12 ㎡	187.00 ㎡	187.00 ㎡
主な設備		受変電設備(ｷｭｰﾋﾞｸﾙ式) 電灯設備 冷暖房設備(FFｽﾄｰﾌﾞ等) 給水設備 排水設備(浄化槽) 給湯設備(局所式:ｶﾞｽ湯沸器) ｶﾞｽ設備(液化石油ｶﾞｽ) 消火設備(粉末消火) 空調機器		受変電設備(ｷｭｰﾋﾞｸﾙ式) 電灯設備 冷暖房設備(FFｽﾄｰﾌﾞ等) 給水設備 排水設備(浄化槽) 給湯設備(局所式:ｶﾞｽ湯沸器) ｶﾞｽ設備(石油液化ｶﾞｽ) 消火設備(粉末消火) 空調機器		受変電設備(ｷｭｰﾋﾞｸﾙ式) 電灯設備 給水設備 消火設備(粉末消火)	
主な用途		事務室		作業室		種苗生産	
老朽化の状況	劣化度調査	壁ひび割れ、ｷｭｰﾋﾞｸﾙ腐食他		屋根破損、外壁崩落部分あり		鉄骨部ｻﾋﾞあり	
	定期点検	電気設備指摘多数あり		対象外		対象外	
	修繕工事	—		—		—	
	特記						
優先度	建物性能	高ー		高		高ー	
	劣化：年数	高：Ａ異常無	中	高：Ａ異常無	高	高：Ａ異常無	中
	利用度	高		高		高	
	１次評価	維持管理		維持管理		維持管理	
	重要性	80: 代替施設なし		75: 代替施設なし		75: 代替施設なし	
	見通し	0: 多目的利用の可能性なし		0: 多目的利用の可能性なし		△15: 多目的利用の可能性なし	
	２次評価	Ⅰ(60点以上)		Ⅰ(60点以上)		Ⅰ(60点以上)	
総合判定		修繕・改修	優先度３	修繕・改修	優先度３	修繕・改修	優先度３
	評価結果	計画的な大規模改修等により、長寿命化を図り施設機能を維持。		計画的な大規模改修等により、長寿命化を図り施設機能を維持。		計画的な大規模改修等により、長寿命化を図り施設機能を維持。	

個別施設計画（個票）

番号	16	策定年月	令和３年３月	最終更新	令和３年３月
施設名	内水面水産技術センター			財産区分	行政財産

１　施設内建物の概要（続き）

番号：名称		4：産卵調節棟		5：ふ化室兼飼育棟		6：試験棟(111-213)	
構造		鉄骨造		鉄骨造		鉄骨造	
階数		地上 1 階 地下 － 階		地上 1 階 地下 － 階		地上 1 階 地下 － 階	
竣工年		西暦 1985 年 3 月		西暦 1985 年 3 月		西暦 1991 年 1 月	
建築：延床		780.00 ㎡	780.00 ㎡	350.40 ㎡	350.40 ㎡	222.20 ㎡	222.20 ㎡
主な設備		受変電設備(ｷｭｰﾋﾞｸﾙ式) 電灯設備 給水設備 消火設備(粉末消火)		受変電設備(ｷｭｰﾋﾞｸﾙ式) 電灯設備 給水設備 消火設備(粉末消火)		受変電設備(ｷｭｰﾋﾞｸﾙ式) 電灯設備 給水設備 消火設備(粉末消火)	
主な用途		作業室		作業室		実験室	
老朽化の状況	劣化度調査	鉄骨ｻﾋﾞ、床亀裂、給水ﾊﾟｲﾌﾟ水漏れ他		屋根・外壁破損個所あり、鉄骨ｻﾋﾞ		屋根破損、鉄骨ｻﾋﾞ	
	定期点検	対象外		対象外		対象外	
	修繕工事	―		―		―	
	特記						
優先度	建物性能	高		高		高	
	劣化：年数	高：Ａ異常無	高	高：Ａ異常無	高	高：Ａ異常無	高
	利用度	高		高		高	
	１次評価	維持管理		維持管理		維持管理	
	重要性	75：代替施設なし		75：代替施設なし		75：代替施設なし	
	見通し	△15：多目的利用の可能性なし		△15：多目的利用の可能性なし		△15：多目的利用の可能性なし	
	２次評価	Ⅰ(60点以上)		Ⅰ(60点以上)		Ⅰ(60点以上)	
総合判定		修繕・改修	優先度３	修繕・改修	優先度３	修繕・改修	優先度３
	評価結果	計画的な大規模改修等により、長寿命化を図り施設機能を維持。		計画的な大規模改修等により、長寿命化を図り施設機能を維持。		計画的な大規模改修等により、長寿命化を図り施設機能を維持。	

個別施設計画（個票）

番号	16	策定年月	令和３年３月	最終更新	令和３年３月
施設名	内水面水産技術センター			財産区分	行政財産

１　施設内建物の概要（続き）

番号：名称		7：試験棟(111-214)		8：試験棟(111-215)		9：試験棟(111-216)	
構造		鉄骨　造		鉄骨　造		鉄骨　造	
階数		地上　1　階 地下　－　階		地上　1　階 地下　－　階		地上　1　階 地下　－　階	
竣工年		西暦　1991　年　3　月		西暦　1991　年　3　月		西暦　1991　年　3　月	
建築：延床		257.44　㎡	257.44　㎡	141.24　㎡	141.24　㎡	165.24　㎡	165.24　㎡
主な設備		受変電設備(ｷｭｰﾋﾞｸﾙ式) 電灯設備 給水設備 消火設備(粉末消火)		受変電設備(ｷｭｰﾋﾞｸﾙ式) 電灯設備 給水設備 消火設備(粉末消火)		受変電設備(ｷｭｰﾋﾞｸﾙ式) 電灯設備 給水設備 消火設備(粉末消火)	
主な用途		実験室		実験室		実験室	
老朽化の状況	劣化度調査	屋根破損、外壁崩落、鉄骨ｻﾋﾞ		屋根破損、鉄骨ｻﾋﾞ		屋根破損、鉄骨ｻﾋﾞ	
	定期点検	対象外		対象外		対象外	
	修繕工事	―		―		―	
	特記						
優先度	建物性能	高		高		高	
	劣化：年数	高：Ａ異常無	高	高：Ａ異常無	高	高：Ａ異常無	高
	利用度	高		高		高	
	１次評価	維持管理		維持管理		維持管理	
	重要性	75：代替施設なし		75：代替施設なし		75：代替施設なし	
	見通し	△15：多目的利用の可能性なし		△15：多目的利用の可能性なし		△15：多目的利用の可能性なし	
	２次評価	Ⅰ(60点以上)		Ⅰ(60点以上)		Ⅰ(60点以上)	
総合判定		修繕・改修	優先度３	修繕・改修	優先度３	修繕・改修	優先度３
	評価結果	計画的な大規模改修等により、長寿命化を図り施設機能を維持。		計画的な大規模改修等により、長寿命化を図り施設機能を維持。		計画的な大規模改修等により、長寿命化を図り施設機能を維持。	

個　別　施　設　計　画　（個　票）

番　号	16	策定年月	令和３年３月	最終更新	令和３年３月
施設名	内水面水産技術センター			財産区分	行政財産

１　施設内建物の概要(続き)

番号：名称		10：稚魚飼育棟	
構　造		鉄骨　　造	
階　数		地上　1　階 地下　－　階	
竣工年		西暦　1992　年　3　月	
建築：延床		1,080.64　㎡	988.57　㎡
主な設備		受変電設備(ｷｭｰﾋﾞｸﾙ式) 電灯設備 給水設備 消火設備(粉末消火)	
主な用途		種苗生産	
老朽化の状況	劣化度調査	鉄骨ｻﾋﾞ	
	定期点検	対象外	
	修繕工事	－	
	特記		
優先度	建物性能	高	
	劣化：年数	高：Ａ異常無	高
	利用度	高	
	１次評価	維持管理	
	重要性	75：代替施設なし	
	見通し	△15：多目的利用の可能性なし	
	２次評価	Ⅰ(60点以上)	
総合判定		維持管理	優先度３
	評価結果	計画的な維持管理により、長寿命化を図り施設機能を維持。	

２　対応方針

(1)　基本的な方針

計画的な大規模改修等により長寿命化を図る。

(2)　社会経済情勢等の変化への対応

岩手県の内水面漁業及び内水面養殖振興に寄与するため、適切な維持管理を行っていく。

(3)　公共施設の有効活用

有効活用について検討していない。
また、試験研究機関という特殊性から、他用途・多目的の利用には適さない。

３　長寿命化等対策の内容と実施時期

(1)　長寿命化等対策の方向性

庁舎（管理棟）は築50年以上が経過しており老朽化が著しいため、今後、耐震診断を行い、耐震補強等の維持管理修繕を行い、長寿命化を図る。

その他の施設についても定期点検や日常点検等により施設の劣化状況の把握に努め、計画的な維持管理により、コスト縮減・財政負担の平準化を図りながら長寿命化を図る。

(2)　対策の内容

区　分	令和２年度 (2020年度)	令和３年度 (2021年度)	令和４年度 (2022年度)	令和５年度 (2023年度)	令和６年度 (2024年度)
1:庁舎		耐震診断ほか	修繕ほか	修繕ほか	修繕ほか
2:魚病ｾﾝﾀｰ本館			屋根修繕		
3:孵化場			屋根塗装		
4:産卵調節棟			屋根塗装		
5:ふ化室兼飼育棟				屋根塗装	
6:試験棟					屋根塗装
7:試験棟				屋根塗装	
8:試験棟					屋根塗装
9:試験棟					屋根塗装
10:稚魚飼育棟	維持管理（劣化状況の把握）→				

４　概算額

157百万円

【概算費用内訳(令和２年度（2020年度）～令和６年度（2024年度））】

	概算額	内　訳
R2	7,595千円	9℃曝気槽整備設計（864千円） その他維持補修（6,731千円）
R3	23,268千円	9℃曝気槽整備（8,848千円） 管理棟耐震診断及び修繕（2,354千円） 魚病棟屋根崩落部分工事（753千円） 養殖池補修工事（9,477千円） その他維持補修（1,836千円）
R4	64,652千円	管理棟修繕（5,500千円） 養殖池補修工事（11,016千円） 旧公舎解体撤去（1,727千円） 屋根修繕及び塗装（15,093千円） 場内アスファルト舗装（1,672千円） 焼却炉解体撤去（539千円） ネットフェンス修繕（27,269千円） その他維持補修（1,836千円）
R5	15,939千円	養殖池補修工事（6,187千円） 屋根修繕及び塗装（7,916千円） その他維持補修（1,836千円）
R5	45,331千円	養殖池補修工事（33,552千円） 屋根修繕及び塗装（9,943千円） その他維持補修（1,836千円）

※　試算の一例であること。

個 別 施 設 計 画 （個 票）

番 号	17	策定年月	令和３年３月	最終更新	令和３年３月
施 設 名	八幡平農業改良普及センター旧岩手町駐在			財産区分	行政財産
所 在 地	岩手町大字五日市９－４８－１			敷地面積	1,310.32 ㎡

都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	指定なし	用途地域	第一種住居地域

設置目的業務概況等	主に岩手町、葛巻町の農業振興に向け、豊かな産地や活気のある地域づくり、経営発展に取り組む農業者等を支援することを目的として設置。

1　施設内建物の概要

番号：名称		1: 庁舎等	
構 造		木 造	
階 数		地上 1 階 地下 － 階	
竣 工 年		西暦 1974 年 3 月	
建築：延床		447.17 ㎡	447.17 ㎡
主な設備		受変電設備(屋内形) 電灯設備 構内交換設備 冷暖房設備(FFｽﾄｰﾌﾞ・ｴｱｺﾝ等) 自動制御設備(個別制御) 給水設備(水道直結方式) 排水設備(浄化槽) 給湯設備(局所式:ｶﾞｽ湯沸器) ｶﾞｽ設備(液化石油ｶﾞｽ) 消火設備(粉末消火)	
主な用途		実験室、倉庫	
老朽化の状況	劣化度調査	老朽化著しい	
	定期点検	指摘なし	
	修繕工事	－	
	特記		
優先度	建物性能	高－	
	劣化：年数	高：Ａ異常無	中
	利用度	低	
	１次評価	転用・複合化	
	重要性	40: 代替施設なし	
	見通し	△15: 利活用見込みなし	
	２次評価	Ⅳ(40点未満)	
総合判定		用途廃止	優先度６
	評価結果	耐震基準を満たしておらず老朽化も著しい。今後解体の検討を進める必要がある。	

２　対応方針

(1)　基本的な方針

現在は実験室や倉庫として使用しており、当面は維持管理を行う。

(2)　社会経済情勢等の変化への対応

岩手県の農業振興に寄与するため、適切な維持管理を行っていく。

(3)　公共施設の有効活用

有効活用について検討していない。
また、耐震基準を満たしておらず老朽化も著しいため、他用途・多目的の利用には適さない。

３　長寿命化等対策の内容と実施時期

(1)　長寿命化等対策の方向性

建築後45年以上が経過していることから、定期点検や日常点検等により施設の劣化状況の把握に努め、維持管理を行う。

(2)　対策の内容

区　分	令和２年度 (2020年度)	令和３年度 (2021年度)	令和４年度 (2022年度)	令和５年度 (2023年度)	令和６年度 (2024年度)
1:庁舎	維持管理　(劣化状況の把握)、用途廃止を検討				

４　概算額

１百万円

【概算費用内訳(令和２年度（2020年度）～令和６年度（2024年度））】

	概算額	内　訳
R2	30千円	その他維持補修
R3	219千円	その他維持補修
R4	219千円	その他維持補修
R5	219千円	その他維持補修
R6	219千円	その他維持補修

※　試算の一例であること。

個別施設計画（個票）

番号	18	策定年月	令和３年３月	最終更新	令和３年３月
施設名	中部農業改良普及センター西和賀普及サブセンター			財産区分	行政財産
所在地	西和賀町川尻40-40-235			敷地面積	1,246.80 ㎡
都市計画区域	都市計画区域外	防火地域	指定なし	用途地域	指定なし
設置目的業務概要等	西和賀地域の農業振興のため、特色を生かした産地づくり並びに農業経営の発展・改善に取り組む農業者等への支援拠点として設置。				

１　施設内建物の概要

番号：名称		1: 庁舎		2: 職員公舎	
構造		木造		鉄骨造	
階数		地上 3 階 地下 - 階		地上 2 階 地下 - 階	
竣工年		西暦 1991 年 2 月		西暦 2002 年 3 月	
建築：延床		269.17 ㎡	452.26 ㎡	149.00 ㎡	296.00 ㎡
主な設備		電灯設備 非常警報設備 弱電設備(ﾃﾚﾋﾞ共同受信) 冷暖房設備(温水方式) 給水設備(加圧送水方式) 排水設備(公共下水道) 給湯設備(局所式:ｶﾞｽ湯沸器) ｶﾞｽ設備(液化石油ｶﾞｽ)		給水設備(水道直結方式) 排水設備(公共下水道) 給湯設備(局所式:ｶﾞｽ湯沸器) ｶﾞｽ設備(液化石油ｶﾞｽ)	
主な用途		事務所		公舎（３室）	
老朽化の状況	劣化度調査	屋内壁ヒビ、屋根庇穴		目立った劣化は見られない	
	定期点検	指摘なし		指摘なし	
	修繕工事	―		―	
	特記				
優先度	建物性能	高		高	
	劣化：年数	高：Ａ異常無	高	高：Ａ異常無	高
	利用度	高		高	
	１次評価	維持管理		維持管理	
	重要性	85: 設置義務有り		55: 代替施設あり	
	見通し	△5: 多目的利用の可能性なし		△15: 代替施設あり	
	２次評価	Ⅰ(60点以上)		Ⅲ(50～40点)	
総合判定		維持管理	優先度３	維持管理	優先度５
	評価結果	計画的な維持管理により、施設機能を維持。		当該地域における民間の賃貸住宅が僅少であり、維持管理が妥当。	

2　対応方針

(1)　基本的な方針

計画的な維持管理に努め、長寿命化を図っていく。

(2)　社会経済情勢等の変化への対応

管轄地域の農業振興に最大限寄与するため、拠点である当該施設機能の維持保全を継続して行う。

(3)　公共施設の有効活用

有効活用等について未検討である。
現状では（施設構成、目的の観点から）他用途への転換及び多目的利用には適していない。

3　長寿命化等対策の内容と実施時期

(1)　長寿命化等対策の方向性

現況の劣化箇所の修繕等について早期に対策していく。
また、定期点検や日常点検等により施設の劣化状況の把握に努め、計画的な維持管理により、コスト縮減・財政負担の平準化を図りながら長寿命化を図る。

(2)　対策の内容

区　分	令和２年度 (2020年度)	令和３年度 (2021年度)	令和４年度 (2022年度)	令和５年度 (2023年度)	令和６年度 (2024年度)
1:庁舎	維持管理（劣化状況の把握）	→	→	→	→
2:職員公舎	維持管理（劣化状況の把握）	→	→	→	→

4　概算額

２百万円

【概算費用内訳(令和２年度（2020年度）～令和６年度（2024年度））】

	概算額	内　訳
R2	－千円	
R3	367千円	その他維持補修
R4	367千円	その他維持補修
R5	367千円	その他維持補修
R6	367千円	その他維持補修

※　試算の一例であること。

個別施設計画（個票）

番号	19	策定年月	令和３年３月	最終更新	令和３年３月
施設名	旧久慈土地改良事業所庁舎			財産区分	行政財産
所在地	久慈市天神堂第37地割198番地２			敷地面積	1,425.25 ㎡

都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	指定なし	用途地域	第二種中高層住居専用地域
設置目的 業務概況 等	平成５年に県北農村整備室の単独公所として建設した。 単独公所としての利用は平成10年までであり、現在は久慈市土地改良区に行政財産使用許可にて貸付けている。 老朽化により危険ため、久慈市土地改良区が令和２年度中に久慈職業能力開発センター（商工労働部所管）に移転することとなったため、令和３年度に解体工事を予定。				

1　施設内建物の概要

番号：名称		1：庁舎	
構造		木造	
階数		地上 1 階 地下 － 階	
竣工年		西暦 1993 年 11 月	
建築：延床		446.34 ㎡	429.78 ㎡
主な設備		電灯設備 非常警報設備 冷暖房設備（FFストーブ、エアコン） 自動制御設備(個別制御) 給水設備（水道直結方式） 排水設備（浄化槽） 給湯設備（ガス湯沸器） ガス設備（液化石油ガス） 消火設備（屋内消火栓）	
主な用途		久慈市土地改良区事務所（令和2年度まで） 書庫	
老朽化の状況	劣化度調査	玄関の幕板（鋼製）が剥がれ落ちている。	
	定期点検	指摘なし	
	修繕工事	－	
	特記		
優先度	建物性能	高	
	劣化：年数	高：Ａ異常無	高
	利用度	低	
	１次評価	維持管理	
	重要性	40：需要なし	
	見通し	△20：利活用見込なし	
	２次評価	Ⅳ(40点未満)	
総合判定		用途廃止	優先度１
	評価結果	老朽化が進み、今後の利用見込みもない。	

２　対応方針

(1)　基本的な方針

平成10年から久慈市土地改良区に貸付けているが、老朽化により危険なため平成30年に移転先の検討と５年を目安とした退去を求めていたところ。

令和２年８月18日に移転先の目途が立ったことから（久慈市職業能力開発センター）、令和２年９月16日に地権者に土地返還時の敷地の状態について確認したところ、更地返還を求められたため、用途廃止を行い、解体工事に着手する。

(2)　社会経済情勢等の変化への対応

周辺地が宅地として分譲されている。地権者も土地返還を受けたあとは宅地としての売却を希望している。

(3)　公共施設の有効活用

地権者が更地返還を求めていることから、公共施設としての活用はできない。

３　長寿命化等対策の内容と実施時期

(1)　長寿命化等対策の方向性

令和３年度に解体工事を予定しているため、修繕を行う予定はない。

(2)　対策の内容

区　分	令和２年度 (2020年度)	令和３年度 (2021年度)	令和４年度 (2022年度)	令和５年度 (2023年度)	令和６年度 (2024年度)
1:庁舎		解体工事			

４　概算額

28百万円

【概算費用内訳(令和２年度（2020年度）～令和６年度（2024年度））】

	概算額	内　訳
R2	－千円	
R3	27,443千円	解体撤去工事

※　試算の一例であること。